

誌 上 発 表 論 文 等

1 赤痢菌バクテリオファージの研究, 特にその増殖について

福田武夫: 医学研究, 21(5), 1951.

2 赤痢に関する統計的並実験的研究

坂本さつき: 臨床と研究, 28(7), 1951.

3 福岡県下に於ける人の *Br.abortus* に対する血清反応について

中西恭生, 大塚悟: 獣医畜産新報, 59, 1951.

4 简单なる擬膿肉鑑定法(特に牛肉, 馬肉について)

中西恭生: 獣医畜産新報, 71, 1951.

5 邦製 S.S. 寒天培地による赤痢菌検索成績に就て

福田武夫, 二宮克巳, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, I, 1951.

6 赤痢菌の培養に関する知見

坂本さつき, 山下敏則^{*50}: 福岡県衛生研究所報, I, 1951.

7 牛顎下腺浸出液を用いた淋菌培地について

二宮克巳: 福岡県衛生研究所報, I, 1951.

8 最近の駆虫薬の効力と使用法

小野蘇牧, 山本嘉人: 臨床と研究, 29(12), 1952.

9 葡萄状球菌による蒲鉾中毒に就いて

中西恭生: 獣医畜産新報, 79, 1952.

10 原発性肺放線状菌症の一例

小野蘇牧, 二宮克巳, その他: 福岡医学雑誌, 43(3), 72, 1952.

11 テルール酸加里及び亜セレン酸の *Brucella* 菌属の生長に及ぼす影響, 並びに各菌種の還元力の比較について

中西恭生: 獣医畜産新報, 88, 89, 1952.

12 抗結核剤の抵抗性に関する研究

佐伯清美^{*85}, 古賀行雄^{*85}, 中溝利幸^{*85}, 中山瑛一^{*85}, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, II, 28-29, 1952.

13 赤痢保菌者とその排菌状況

小野蘇牧: 臨床と研究, 29(7), 1952.

14 ジフテリア毒素産生に関する研究

山本嘉人: 福岡医学雑誌, 43(8), 1952.

15 チフス菌及びコレラ菌の共生による変異に関する研究

中西恭生: 獣医畜産新報, 92, 93, 97, 1952.

16 福岡県に於ける人のブルセラ症 第1報, 農村及び都会在住者血清の凝集反応並に補体結合反応

大塚悟, 中西恭生: 公衆衛生, 12(2), 1952.

17 細菌のオキシダーゼ反応に関する研究

高橋克巳: 福岡医学雑誌, 43(9), 1952.

18 赤痢に関する研究

福田武夫, 坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之, 操担道^{*85}, 木村光雄^{*85}, 沖和貴^{*44}: 福岡県衛生研究所報, II, 8-13, 1952.

19 昭和27年分離赤痢菌のサルファ剤及びクロロマイセチン耐性について

坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之, 浜本汪: 福岡県衛生研究所報, II, 13-15, 1952.

20 一炭坑に発生した水系爆発赤痢流行に際しての細菌学的成績

福田武夫, 坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, II, 16-22, 1952.

21 *Leptospira* の生物学的性状に関する研究(其の一)

武原雄平: 福岡県衛生研究所報, II, 24-26, 1952.

22 Cardiolipin を使用する梅毒血清反応

大塚悟: 福岡県衛生研究所報, II, 31-33, 1952.

23 福岡県下の犬のレプトスピラ症に就いて

大塚悟: 福岡県衛生研究所報, II, 37-39, 1952.

24 赤痢菌の検査によって得た知見の総括

小野蘇牧: 福岡県衛生研究所報, II, 22-23, 1952.

25 筑豊地方の豆炭製造工場周辺の空気汚濁
秋山高, その他: 科学, 23, 1953.

26 昭和28年9月行われた赤痢実態調査の細菌学的調査成績について
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之, 浜本汪: 福岡県衛生研究所報, III, 9-12, 1953.

27 嘉穂郡山田町に発生せる水系爆発赤痢に関する細菌学的調査成績
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, III, 12-16, 1953.

28 *Proteus morganii* に由ると思われる集団中毒について
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, III, 16-20, 1953.

29 福岡県下の犬のレプトスピラ症の観察 第1報 血清学的並に細菌学的観察
大塚悟: 福岡県衛生研究所報, III, 33-35, 1953.

30 飲料水の水質についての知見
秋山高, 守田和子: 科学, 24, 1954.

31 昭和28年福岡県下に流行せるインフルエンザに関する研究
小野蘇牧, 坂本さつき, 大友信也, 高橋克巳, 山本嘉人: 福岡医学雑誌, 44(11), 1954.

32 犬のレプトスピラ症における補体結合反応
大塚悟: 医学と生物学, 32(5), 236, 1954.

33 犬のレプトスピラ症に関する研究, 特に無症状型による病理解剖所見並に血清反応との関係
大塚悟: 福岡医学雑誌, 45(11), 703, 1954.

34 最近の駆虫剤の効果と使用法
山本嘉人, 住江直: 治療, 37(7), 1955.

35 鶏卵内ニワトリ蛔虫の一例
住江直, 山本嘉人: 医学と生物学, 34(2), 1955.

36 Cardiolipin 抗原による梅毒反応, 特に妊娠による非特異反応について
大塚悟: 医学と生物学, 36(17), 1955.

37 最近4年間の福岡県下に発生した食中毒の概況
中西恭生: 公衆衛生, 18(3), 1955.

38 四エチル鉛による飲料水の汚染について
秋山高, 守田和子, 脇元作郎, 森彬, 松尾和彦^{*44}: 福岡県衛生研究所報, IV, 31-32, 1956.

39 人工甘味料製品検査試験法の検討(1)
中村幸男: 福岡県衛生研究所報, IV, 32-33, 1956.

40 都市空気汚染に関する研究.(福岡県下の各都市に於ける汚染状態について)
脇元作郎, 秋山高: 福岡県衛生研究所報, IV, 34-35, 1956.

41 昭和29年添田町に発生せる集団赤痢について
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之, 安蘇晋^{*44}: 福岡県衛生研究所報, IV, 9-10, 1956.

42 昭和29年福岡県下に流行せるインフルエンザについて
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, IV, 11, 1956.

43 昭和29,30年福岡県の赤痢菌型並に薬剤耐性について
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, IV, 12-14, 1956.

44 昭和30年福岡県下に発生した所謂流行性腎炎について
真子憲治, 坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之, 古野秀雄^{*44}, 古賀武^{*44}, 石田昌平^{*44}, 山下敏則^{*50}: 福岡県衛生研究所報, IV, 20-22, 1956.

45 昭和30年海老津炭坑に発生せる集団赤痢について
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之, 渋谷有明^{*44}: 福岡県衛生研究所報, IV, 14-16, 1956.

46 膿瘍よりの *Salmonella typhimurium* の一分離例
坂本さつき, 高橋克巳, 西見保之: 福岡県衛生研究所報, IV, 16-17, 1956.

47 The bone marrow in experimental Brucellosis
Satoru Otsuka: Kyushu J. Med. Sci, 7(4), 1956.

- 48** 実験的ブルセラ症の長期観察例に於ける骨髓所見について
橋本美智雄^{*85}，大塚悟：九州血液研究同好会誌，63(3, 4)，1956.
- 49** フッ素の比色定量法 第1報
脇元作郎：日本化学会誌，17，1956.
- 50** 鶏卵と細菌について，特に細菌の卵殻通過について
中西恭生：公衆衛生，20(5)，1956.
- 51** 人工甘味料製品検査法の検討(Ⅱ)重金属の試験について
中村幸男：福岡県衛生研究所報，V，28-29，1957.
- 52** ポーラログラフによるサッカリンの定量について
中村幸男：福岡県衛生研究所報，V，29-30，1957.
- 53** 豆炭工場のCO₂の測定について
秋山高，脇元作郎：福岡県衛生研究所報，V，30-32，1957.
- 54** 井戸水及び温泉水中のフッ素の定量法について
脇元作郎：福岡県衛生研究所報，V，32，1957.
- 55** 昭和31年福岡県下に流行したインフルエンザについて
坂本さつき，西見保之，武原雄平，石田昌平^{*44}，馬島雄二郎^{*44}：福岡県衛生研究所報，V，9-12，1957.
- 56** 昭和31年福岡県下に発生した流行性腎炎について
坂本さつき，西見保之，武原雄平，石田昌平^{*44}，馬島雄二郎^{*44}：福岡県衛生研究所報，V，12-16，1957.
- 57** 福岡県下における犬の結核菌保有分布について 第1報
真子憲治，坂本さつき，大塚悟，武原雄平：福岡県衛生研究所報，V，20-21，1957.
- 58** 好冷細菌汚染による保存血の輸血事故例
高橋克巳，黒岩耕^{*85}：福岡県衛生研究所報，V，37-38，1957.
- 59** 犬から分離せられた抗酸菌の研究 第1報 福岡県下に於ける犬の抗酸菌保有状況について
戸田忠雄^{*85}，真子憲治，坂本さつき，武原雄平，大塚悟：東京医事新誌，74(12)，723-724，1957.
- 60** 狂犬病の発症阻止に関する研究 第1報
中西恭生：福岡医学雑誌，48(3)，394-410，1957.
- 61** 黄疸出血性スピロヘータの生物学的性状に関する研究，血清又は肝臓浸出液の栄養素としての意義
小野蘇牧，武原雄平：医学と生物学，43(3)，90-94，1957.
- 62** 血液より分離された *Bacterium Anitratum* と思われる細菌について
坂本さつき，高橋克巳：総合医学，14(3)，169-174，1957.
- 63** 狂犬病の発症阻止に関する研究 第2報
中西恭生：福岡医学雑誌，48(8)，1286-1290，1957.
- 64** 福岡県に於けるレプトスピラ症の分布調査 第1報
野イヌに於けるレプトスピラ保有状況
真子憲治，大塚悟，辻川広一^{*176}，西川成之^{*44}，香月弘己^{*44}：医学と生物学，45(5)，183-187，1957.
- 65** 結核菌菌株及培地成分とツベルクリン産生との関係 第1報
武原雄平：結核，32(2)，101，1957.
- 66** 結核菌菌株及培地成分とツベルクリン産生との関係 第2報
武原雄平：結核，32(9)，477-480，1957.
- 67** 結核菌菌株及培地成分とツベルクリン産生との関係 第3報
武原雄平：結核，32(11)，629-634，1957.
- 68** レプトスピラの培養に関する研究.(1)組織液を基礎とする新培地について
真子憲治，大塚悟：日本細菌学雑誌，12(10)，763-767，1957.
- 69** 福岡県に於けるレプトスピラ症の分布調査(Ⅱ)ネズミ族のレプトスピラ保有状況
真子憲治，大塚悟，その他：医学と生物学，46(5)，24-26，1957.

70 蟯虫症に関する研究

高橋克巳, 野田英世, 文屋春栄: 福岡県衛生研究所報, VI, 40-43, 1958.

71 水歯磨中の EDTA のポーラログラフ的定量について
中村幸男, 脇元作郎: 福岡県衛生研究所報, VI, 31-32, 1958.

72 豆炭工場の SO₂の測定について

脇元作郎: 福岡県衛生研究所報, VI, 33-34, 1958.

73 患者より分離した抗生物質高濃度に耐性を示す赤痢菌に関する研究 第1報 特にアミノ酸要求について
坂本さつき, 武原雄平, 田崎晃^{*176}: 東京医事新誌, 75(6), 327-330, 1958.

74 昭和32年秋冬に於ける福岡県下のインフルエンザについての調査

坂本さつき, 西見保之, 武原雄平, 武井守正: 福岡県衛生研究所報, VI, 8-12, 1958.

75 喀痰及尿から検出した黄色色素を産生する抗酸性菌について 第1報

真子憲治, 坂本さつき, 西見保之, 武原雄平, 武井守正, 茅島孝一^{*176}, 吉田誠一^{*176}: 福岡県衛生研究所報, VI, 16-23, 1958.

76 犬から分離せられた抗酸性菌の研究 第2報 福岡県下に於ける犬の抗酸菌保有分布について
戸田忠雄^{*85}, 真子憲治, 坂本さつき, 武原雄平, 大塚悟: 福岡県衛生研究所報, VI, 23-25, 1958.

77 福岡県におけるレプトスピラ症の分布調査 第3報 福岡市における家鼠のレプトスピラ保有状況
大塚悟, 佐藤ハルエ, 植田貞三^{*50}: 福岡県衛生研究所報, VI, 47-48, 1958.

78 南福岡地区汚染の現況について(四エチル鉛による浄水汚染の問題)

真子憲治, 脇元作郎: 福岡医学雑誌, 49(1), 11-13, 1958.

79 結核菌菌株及び培地成分とツベルクリン産生との関係 第4報, 第5報

武原雄平: 福岡医学雑誌, 49(10), 2538-2543, 1958.

80 ゼフテリア菌の一新同時染色法

真子憲治, 高橋克巳: 日本伝染病学会雑誌, 32(8), 589, 1958.

81 蟯虫症に関する研究 第2報 特に駆虫法についての検討

高橋克巳, 野田英世, 文屋春栄: 福岡県衛生研究所報, VII, 52-59, 1959.

82 銅の比色法による還元糖の定量について

中村幸男: 福岡県衛生研究所報, VII, 45-46, 1959.

83 遠賀川水質汚濁調査について

脇元作郎, 中西恭生, 小串寿明: 福岡県衛生研究所報, VII, 46-47, 1959.

84 患者より分離した抗生物質高濃度に耐性を示す赤痢菌に関する研究 第2報 特に Transformation について

真子憲治, 坂本さつき, 武原雄平: 福岡県衛生研究所報, VII, 12-17, 1959.

85 福岡県における結核実態調査

坂本さつき, 西見保之, 武原雄平, 武井守正, 土井敏男^{*44}: 福岡県衛生研究所報, VII, 17-21, 1959.

86 福岡県下の流行赤痢菌株の耐性に関する観察

真子憲治, 坂本さつき, 西見保之, 武井守正, 常盤寛: 福岡県衛生研究所報, VII, 21-26, 1959.

87 福岡県に於けるゼフテリアの疫学的調査 第1報

真子憲治, 坂本さつき, 高橋克巳, 野田英世, 西見保之, 武原雄平, 常盤寛, 武井守正: 福岡県衛生研究所報, VII, 26-36, 1959.

88 福岡県に於けるレプトスピラ症の分布調査 第4報 昭和33年における検索成績について

大塚悟, 佐藤春江, 植田貞三^{*50}: 福岡県衛生研究所報, VII, 59-60, 1959.

89 九州地方におけるブルセラ症の分布調査

大塚悟, 三原敏夫^{*85}: 福岡県衛生研究所報, VII, 60-61, 1959.

90 石炭ガス工場排水による井水汚染

松本久男: 衛生化学, 7(1), 69, 1959.

- 91** レプトスピラの凍結乾燥に関する研究(予報)
大塚悟, 真子憲治: 福岡県衛生研究所報, VII, 62-65, 1959.
- 92** 合成甘味料混合製剤中のサッカリン, ズルチン, チクロヘキシルスルファミン酸ナトリウム定量(1)
中村幸男: 衛生化学, 7(2), 161, 1959.
- 93** 昭和34年福岡県に於て分離した赤痢菌の薬剤耐性
坂本さつき, 西見保之, 武原雄平, 武井守正: 福岡県衛生研究所報, VIII, 45-48, 1961.
- 94** 細菌 DNA の型質転換並びに抗原性について(予報)
真子憲治, 坂本さつき, 武原雄平: 福岡県衛生研究所報, VIII, 49-52, 1961.
- 95** 福岡県におけるヂフテリアの疫学的調査 第2報 細菌学的事項
坂本さつき, 高橋克巳, 常盤寛: 福岡県衛生研究所報, VIII, 52-54, 1961.
- 96** 敗血症症状を呈する一患者から分離した *Diphtheroid Bacillus* について
坂本さつき, 常盤寛, 古賀重久^{*44}: 福岡県衛生研究所報, VIII, 55-57, 1961.
- 97** 犬から分離せられた抗酸性菌の研究 第3報
真子憲治, 坂本さつき, 武原雄平, 戸田忠雄^{*85}, 武谷健二^{*85}: 福岡県衛生研究所報, VIII, 57-58, 1961.
- 98** ギフテリア菌の分離培地に関する研究
真子憲治, 坂本さつき, 高橋克巳, 常盤寛: 福岡県衛生研究所報, VIII, 58-61, 1961.
- 99** 有毒鱗翅類, ホソバ属(*Eilema*)(*Lepidoptera*, *Arctiidae*)の研究, 第1報 九州産の種について
山本英穂: 福岡県衛生研究所報, VIII, 89-91, 1961.
- 100** 陸水及び食品の放射能調査
森木昌宏, 森彬: 福岡県衛生研究所報, VIII, 67-69, 1961.
- 101** D.D.V.P. 散布による毒性調査について
大田寿: 福岡県衛生研究所報, VIII, 69-70, 1961.
- 102** 清涼飲料水中の銅量の調査について
大田寿: 福岡県衛生研究所報, VIII, 71-72, 1961.
- 103** 遠賀川水質汚濁調査について
脇元作郎, 小串寿明: 福岡県衛生研究所報, VIII, 73-74, 1961.
- 104** 合成甘味料製剤中のサッカリン・ズルチン・サイクラミン酸ナトリウムの定量について
中村幸男: 福岡県衛生研究所報, VIII, 74-75, 1961.
- 105** 石炭ガス工場排水による井水汚染
松本久男: 福岡県衛生研究所報, VIII, 76-78, 1961.
- 106** P-ローザニリン, ホルマリン法による大気中の亜硫酸ガス測定について
松本久男: 福岡県衛生研究所報, VIII, 78-81, 1961.
- 107** レプトスピラの凍結乾燥に関する研究
大塚悟, 真子憲治: 日本細菌学雑誌, 16(9), 814-818, 1961.
- 108** Studies on the preservation of leptospirae by freeze drying
Satoru Otuka, Kenji Manako: Japan. J. Microbiology, 5(2), 141-148, 1961.
- 109** 醗酵乳(原液)および乳酸菌飲料に関する研究
中西恭生, 久保清乃: 畜産の研究, 15(9), 17-21, 1961.
- 110** 乳酸菌数測定用培地に関する検討
中西恭生, 久保清乃: 畜産の研究, 16(1), 47-48, 1961.
- 111** 日本産 *Eilema* 属数種のシノニミックノート
井上寛^{*94}, 山本英穂: 昆虫, 29(1), 72-78, 1961.
- 112** 蟻虫の Schotch-tape 検査法に於ける蟻虫体の附着検出率について
高橋克巳, 灘波豊愛: 日本衛生検査技師会雑誌, 10(2), 39-43, 1961.
- 113** Gibbs 法による水道水中のフェノールの測定について
松本久男: 水道協会雑誌, 321, 62-66, 1961.

114 蟯虫症に関する研究 第4報 piperazin, dithiazanin の単独, 併用投与による蟯虫の駆除成績について
高橋克巳, 難波豊愛, 阿部輝明^{*50}: 公衆衛生, 25(3), 179-182, 1961.

115 蟯虫症に関する研究 第5報 蟯虫症の自覚症状調査について
高橋克巳, 難波豊愛, 阿部輝明^{*50}: 公衆衛生, 25(4), 241-248, 1961.

116 Gibbs 法による水道水中のフェノールの測定について
松本久男: 九州薬学会会報, 16, 15-19, 1961.

117 α -ピリジルオキシムによる水中溶存鉄の吸光度定量法
脇元作郎: 分析化学, 10(9), 968-971, 1961.

118 EDTA の比色定量法, Co(III)-EDTA 錯塩による方法の検討
脇元作郎, 秋山高: 分析化学, 10(9), 971-974, 1961.

119 都市塵芥焼却処理場に関する調査研究. 2. 循環洗煙廃水の凝集沈澱処理法の検討
松本久男: 福岡県衛生研究所研究報告, 第1集, 34-38, 1962.

120 パラオキシ安息香酸エステル類の比色定量法
中村幸男: 福岡県衛生研究所研究報告, 第1集, 1-4, 1962.

121 Nankor 乳剤の残留処理によるイエバエ駆除実験
山本英穂: 福岡県衛生研究所研究報告, 第1集, 39-46, 1962.

122 ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究. 1. ジルコニウム-ギニザリン-2-スルホン酸ナトリウムレーキによる方法について
脇元作郎: 福岡県衛生研究所研究報告, 第1集, 5-8, 1962.

123 ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究. 2. トリウム-クリサジン-2-スルホン酸ナトリウムレーキによる方法について

脇元作郎: 福岡県衛生研究所研究報告, 第1集, 9-12, 1962.

124 ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究. 3. ジルコニウム-プルプリンスルホン酸ナトリウムレーキによる方法について

脇元作郎: 福岡県衛生研究所研究報告, 第1集, 13-16, 1962.

125 ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究. 4. トリウム-プルプリンスルホン酸ナトリウムレーキによる方法について

脇元作郎: 福岡県衛生研究所研究報告, 第1集, 17-21, 1962.

126 都市塵芥焼却処理場に関する調査研究. 1. 排煙の実態と循環水方式による洗煙効果について

松本久男: 福岡県衛生研究所研究報告 第1集, 22-23, 1962.

127 腸管内における赤痢菌の耐性獲得についての観察
坂本サツキ, 武原雄平, 西見保之: 福岡県衛生研究所研究報告, 第2集, 47-55, 1962.

128 ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究 5. ジルコニウム-キナリザン-7(6)-スルホン酸ナトリウムレーキによる方法について

脇元作郎: 福岡県衛生研究所研究報告, 第2集, 1-5, 1962.

129 ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究 6. ジルコニウム-1,2,4,5,8-ペンタオキシアントラキノ-6(7)-スルホン酸ナトリウムレーキによる方法について

脇元作郎: 福岡県衛生研究所研究報告, 第2集, 6-10, 1962.

130 ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究 7. ジルコニウム-1,2,4,5,8-ペンタオキシアントラキノ-6(7)-スルホン酸ナトリウムレーキによる方法について

脇元作郎: 福岡県衛生研究所研究報告, 第2集, 11-15, 1962.

- 131** ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究 8.ジルコニウム-1,2,4,5,7,8-ヘキサオキシアントラキノ-3-スルホン酸ナトリウムレーキによる方法について
脇元作郎：福岡県衛生研究所研究報告，第2集，16-19，1962.
- 132** ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムによるフッ素の比色定量法の研究.9.ポリオキシアントラキノンスルホン酸ナトリウムのジルコニウムレーキ，トリウムレーキによる各方法の比較検討
脇元作郎：福岡県衛生研究所研究報告，第2集，20-23，1962.
- 133** 汚染飲料水中の微量テトラエチル鉛定量法の検討(Ⅰ)テトラエチル鉛の抽出および分解について
松本久男：衛生化学，9(2)，32-36，1963.
- 134** 汚染飲料水中の微量テトラエチル鉛定量法の検討(Ⅱ)ジチゾン新単色法による微量鉛の定量法
松本久男：衛生化学，9(1)，36-41，1963.
- 135** 汚染飲料水中の微量テトラエチル鉛定量法の検討(Ⅲ)ジチゾン新混色法による微量鉛の定量法
松本久男：衛生化学，9(1)，42-43，1963.
- 136** スルファニル酸による亜硝酸イオンの分解と Griess Romijn 硝酸試薬による硝酸イオンの検出
森本昌宏，平古場朗：分析化学，13(5)，466-468，1964.
- 137** ビルビニウムパモエイト2mg/kg1回投与による蟯虫の集談駆虫成績
高橋克巳，山本英穂，阿部輝明^{*50}：福岡県衛生研究所研究報告，第3集，1-3，1965.
- 138** キレート滴定法によるピペラジンの定量.(1)
森彬：福岡県衛生研究所研究報告，第3集，4-5，1965.
- 139** キレート滴定法によるピペラジンの定量.(2)
森彬：福岡県衛生研究所研究報告，第3集，6-7，1965.
- 140** 福岡県における温泉の泉質調査
中村俊夫：福岡県衛生研究所研究報告，第3集，8-20，1965.
- 141** 福岡県における水道水質の検討.原水と総水の水質関係および各成分含有量の分布について
松本久男：福岡県衛生研究所研究報告，第3集，21-47，1965.
- 142** デヒドロ酢酸の鉄ミョウバン溶液による比色定量法と水蒸気蒸溜による分離法について 第1報 デヒドロ酢酸の鉄ミョウバン溶液による比色定量法について
中村幸男：食品衛生学雑誌，6(2)，148-150，1965.
- 143** *Bactrium Antratum* 感染症に関する研究
常盤寛，坂本サツキ：日本伝染病学会雑誌，39(9)，323-329，1965.
- 144** デヒドロ酢酸の鉄ミョウバン溶液による比色定量法と水蒸気蒸溜による分離法について 第2報 デヒドロ酢酸の水蒸気蒸溜による分離法について
中村幸男：食品衛生学雑誌，6(2)，151-153，1965.
- 145** チオセミカルバジドによる水中の銅(Ⅱ)の吸光度定量
森本昌宏，平古場朗：分析化学，14(11)，1059-1061，1965.
- 146** 水蒸気蒸溜によるソルビン酸の分離法について
中村幸男，大崎靖彦，大庭真紗子：衛生化学，12，21-24，1966.
- 147** 非定型ならびに非病原性抗酸菌に関する研究.1. ヒトおよびツベルクリン陽性乳牛からの分離
常盤寛，大塚悟，梶栗ミホ：福岡県衛生研究所研究報告，第4集，1-4，1966.
- 148** 水中の微量ペンタクロルフェノールの定量について
森彬：福岡県衛生研究所研究報告，第4集，26-28，1966.
- 149** 溶連菌感染症としての抗ストレプトリジン O (ASL0)価の測定
坂本サツキ，常盤寛：福岡県衛生研究所研究報告，第4集，30-32，1966.
- 150** 醗酵乳の防腐に関する検討
田中恭生，久保清乃：畜産の研究，20(10)，1377-1378，1966.

151 過去5年間の福岡県におけるインフルエンザ流行の推移

坂本サツキ, 武原雄平, 長谷川孝志: 福岡県衛生研究所研究報告, 第4集, 29-30, 1966.

152 福岡市近郊におけるコガタアカイエカ-シロハシイエカ複合群からの日本脳炎ウィルスの分離

高橋克巳, 山本英穂, 大塚悟, 灘波豊愛: 福岡県衛生研究所研究報告, 第4集, 5-12, 1966.

153 Seasonal prevalence and Japanese encephalitis virus infection of *Culex tritaeniorhynchus* complex in the suburbs of Fukuoka City in 1963

Hideho Yamamoto, Katsumi Takahasi, Kenzi Manako: 福岡県衛生研究所研究報告, 第4集, 13-25, 1966.

154 福岡県筑紫郡一農村におけるカ調査成績

山本英穂: 福岡県衛生研究所研究報告, 第4集, 32, 1966.

155 抗日本脳炎ウィルスブタ血清の2-Mercaptoethanol (2ME)感受性に関する研究(第1報)

大塚悟, 真子憲治, 森良一^{*85}, 国広英文^{*44}, 本村一郎^{*44}: 日本細菌学雑誌, 21(12), 724-730, 1966.

156 *Shigella sonnei* のコリシン型別とコリシン原性

常盤寛, 坂本サツキ, 梶栗ミホ: 日本細菌学雑誌, 22(3), 141-145, 1967.

157 亜硝酸イオンの共存下における硝酸イオンの吸光度定量

森本昌宏, 平古場朗, 石橋龍吾: 分析化学, 16(12), 1335-1340, 1967.

158 抗日本脳炎ウィルス血清の2-Mercaptoethanol 感受性に関する研究(Ⅱ)

大塚悟, 真子憲治, 森良一^{*85}, 国広英文^{*44}, 本村一郎^{*44}: 日本細菌学雑誌, 22(4), 250-255, 1967.

159 抗日本脳炎ウィルス血清の2-Mercaptoethanol 感受性に関する研究 第3報 日本脳炎患者血清の2-Mercaptoethanol 感受性について

大塚悟, 真子憲治, 森良一^{*85}: 日本細菌学雑誌, 22(5,6), 321-325, 1967.

160 抗日本脳炎ウィルス血清の2-Mercaptoethanol 感

受性に関する研究 第4報 ブタ感染実験例におけるウィルス量と抗体産生との関係

大塚悟, 真子憲治, 森良一^{*85}, 国広英文^{*44}, 本村一郎^{*44}: 日本細菌学雑誌, 23(3), 200-204, 1968.

161 Seasonal prevalence and natural infection of the vector mosquitoes of Japanese encephalitis virus in the Fukuoka area, 1964 and 1965

Hideho Yamamoto, Kenzi Manako: 衛生動物, 19(1), 4-14, 1968.

162 生物化学的酸素要求量(BOD)測定における溶存酸素分析計の利用法

平古場朗, 森本昌宏: 九州薬学会会報, 22, 65-67, 1968.

163 抗日本脳炎ウィルス血清の2-Mercaptoethanol 感受性に関する研究 第5報 ブタ血清の Sephadex G-200 による分画

大塚悟, 真子憲治, 森良一^{*85}, 木元浩一^{*85}: 日本細菌学雑誌, 23(5), 366-369, 1968.

164 多々良川水系の水質調査

森本昌宏, 平古場朗, 石飛昭汎: 用水と廃水, 10(12), 847-855, 1968.

165 福岡県における日本脳炎流行状況と住民の免疫度調査

真子憲治, 大塚悟, 長谷川孝志, 中川正幸^{*44}, 岩下泉^{*44}, 岡原哲爾^{*44}, 大竹譲一^{*44}, 重松南生子^{*44}, 安西康輔^{*44}: 臨床と研究, 45(4), 817-821, 1968.

166 初生ブタにおける日本脳炎ウィルス血症の証明と蛍光抗体法による組織内ウィルス抗原の検索

大塚悟, 真子憲治, 那須正義^{*44}, 青山友三^{*73}: ウィルス, 18(4), 317-322, 1968.

167 Isolation of Japanese encephalitis virus from mosquitoes by means of the plaque formation method with chick embryo fibroblast monolayers

Takasi Hasegawa, Hideho Yamamoto: Japan. J. Med. Sci. Biol., 21(3), 209-213, 1968.

168 日本脳炎媒介蚊の出現消長と汚染の関係およびそのヒト流行への影響(予報)

山本英穂: 医学のあゆみ, 65(5), 239-244, 1968.

169 福岡市金武における日本脳炎媒介カに関する調査成績

山本英穂, 真子憲治, 中島義雄^{*50}, 伊藤達也^{*50}, 小見田達穂^{*50}, 八尋憲治^{*50}: 日本公衆衛生雑誌, 15(7), 669-676, 1968.

170 石炭化学工場排水の浄化法に関する予備実験
森本昌宏, 平古場朗: 用水と廃水, 11(3), 189-191, 1969.

171 福岡県における1966年および1967年のインフルエンザ B 型の流行

長谷川孝志, 武原雄平: 福岡県衛生研究所研究報告, 第5集, 1-7, 1969.

172 遊離塩素によるペンタクロルフェノールの分解
森彬: 福岡県衛生研究所研究報告, 第5集, 54, 1969.

173 福岡県の放射能調査

森彬, 森本昌宏: 福岡県衛生研究所研究報告, 第5集, 18-24, 1969.

174 Griess Romijn 硝酸試薬による硝酸イオンの簡易定量法の検討

森本昌宏, 平古場朗: 福岡県衛生研究所研究報告, 第5集, 13-17, 1969.

175 特殊構造し尿浄化槽の機能調査結果

平古場朗, 森本昌宏: 福岡県衛生研究所研究報告, 第5集, 25-45, 1969.

176 団地に設置された標準型し尿浄化槽の実態調査結果

平古場朗, 森本昌宏: 福岡県衛生研究所研究報告, 第5集, 46-53, 1969.

177 日本とその近隣諸国で分離された *Shigella sonnei* のコリシン型, 生化学型及び薬剤耐性パターン

青木義勇^{*88}, 元木義信^{*158}, 常盤寛: 熱帯医学, 11(2), 57-75, 1969.

178 1964年ー1967年福岡県におけるブタの日本脳炎ウイルス感染の時期と感染状況について

大塚悟, 真子憲治, 佐藤ハルエ, 本村一郎^{*44}, 国広英文^{*44}, 永川弥寿夫^{*44}: ウイルス, 19(6), 325-335, 1969.

179 那珂川及び御笠川についての水質汚濁に関する調査

森本昌宏, 脇元作郎, 平古場朗: 用水と廃水, 11(12), 1002-1020, 1969.

180 日本脳炎ウイルスのウシ血液からの分離

大塚悟, 真子憲治, 本村一郎^{*44}, 国広英文^{*44}: ウイルス, 19(6), 336-339, 1969.

181 福岡県下の水道水質について, 筑豊地区の水質について

石飛昭汎, 庄籠徹也: 九州薬学会会報, 23, 97-101, 1969.

182 油症患者が使用したライスオイル中の有毒物質の化学的検索

真子憲治, 中村幸男: 福岡医学雑誌, 60(6), 496-512, 1969.

183 Janovsky 変法による安息香酸の比色定量法

中村幸男: 食品衛生学雑誌, 10(4), 272-276, 1969.

184 バター, マーガリン中のデヒドロ酢酸の分離, 回収法の検討

大崎靖彦, 中村幸男, 榊洋子^{*50}, 堀治治元^{*50}: 九州薬学会会報, 23, 89-92, 1969.

185 北部九州地域における公共水汚濁の現況分析とその対策に関する研究

森本昌宏: 医学研究, 40(1), 77-104, 1970.

186 Seasonal prevalence and natural infection of the vector mosquitoes of Japanese encephalitis virus in the Fukuoka area, 1966

Hideho Yamamoto, Kenzi Manako: 衛生動物, 21(2), 90-102, 1970.

187 クロラニル酸とスズ(IV)との醋体による硫酸イオンの比色定量法(二酸化鉛法による大気中の硫黄酸化物の定量への応用)

大田寿, 石橋龍吾: 衛生化学, 16(5), 241-245, 1970.

188 福岡県下の水質について, その2

石飛昭汎, 庄籠徹也: 九州薬学会会報, 24, 77-85, 1970.

- 189** 敗血症を呈する患者血液から分離した *Genus Acinetobacter* について
常盤寛, 井上洋子, 武吉広明: 医学と生物学, 82(1), 47-51, 1971.
- 190** 日本脳炎媒介蚊の出現消長と汚染-疫学的な視点からー
山本英穂, 佐々学編: 衛生動物学の進歩 第1集(東京, 学術出版会), 77-103, 1971.
- 191** 貯水池の水質の季節変動(Ⅰ)福岡県筑紫郡春日町上水道貯水池
石飛昭汎, 小串寿明, 庄籠徹也: 水道協会雑誌, 443, 17-34, 1971.
- 192** 昭和45年夏田川地区に流行した無菌性髄膜炎について
武原雄平, 有吉陽一^{*52}, 坂東文明^{*52}, 松田静宗^{*88}, 遠山幸治^{*88}, 富増邦夫^{*52}, 伊藤正宣^{*88}: 福岡の国保, 140, 29-32, 1971.
- 193** 貯水池の水質の季節的変動(Ⅱ)福岡県鞍手町上水道小牧クリーク
石飛昭汎, 小串寿明, 庄籠徹也: 水道協会雑誌, 445, 10-23, 1971.
- 194** レプトスピラの凍結乾燥による保存
大塚悟, 根井外喜男編: 凍結・乾燥と保護物質(東京, 東京大学出版会), 134-145, 1972.
- 195** クロム(Ⅲ)-ジェチルジチオカルバミン酸酯体の溶媒抽出を利用する微量クロム(VI)の原子吸光分析法
深町和美, 森本昌宏, 柳川正男: 分析化学, 21(1), 26-31, 1972.
- 196** 食品中に含まれる抗生物質残留調査
常盤寛, 武吉広明, 古賀洋一^{*44}: 医学と生物学, 85(1), 17-21, 1972.
- 197** メチルイソブチルケトンによるオスミウム-チオ尿素錯体の抽出
林謙次郎^{*83}, 佐々木義明^{*83}, 舛田光枝: 分析化学, 21(6), 793-798, 1972.
- 198** 水中の微量アンモニア窒素の吸光光度定量
平古場朗, 森木弘樹, 石橋龍吾, 森本昌宏: 衛生化学, 18(4), 342-346, 1972.
- 199** 置換反応を利用した水銀の間接原子吸光分析
深町和美, 森本昌宏, 徳永隆司: 分析化学, 21(9), 1173-1178, 1972.
- 200** 日本脳炎ウイルスの越冬に関する研究へのアプローチ
山本英穂: 日本脳炎ウイルス生態学会会報, 5, 9-10, 1973.
- 201** スズ-フェニルフルオロン錯体分解法による微量スズの比色定量法
中村幸男, 上和田幸子: 食品衛生学雑誌, 14(4), 352-356, 1973.
- 202** ゼフィラミンによるクロム(VI)の溶媒抽出を利用する微量クロム(VI)の原子吸光分析法
深町和美, 古田直子, 柳川正男, 森本昌宏: 分析化学, 23(2), 187-192, 1974.
- 203** 無機水銀の原子吸光分析法の検討(1)還元気化・開放通気法による測定条件の検討
中村幸男, 森木弘樹: 衛生化学, 20(5), 300-304, 1974.
- 204** Natural and experimental infection of Japanese tree sparrows with *Japanese Encephalitis virus*
Takashi Hasegawa, Yuhei Takehara, Katsumi Takahashi: Archives of Virology, 49(4), 373-376, 1975.
- 205** メチルエフェドリン電極及びエフェドリン電極の試作とその特性
深町和美, 中川礼子, 森本昌宏, 石橋信彦^{*85}: 分析化学, 24(7), 428-432, 1975.
- 206** 福岡県新宮町におけるアクリルアミド混入井戸水に起因する中毒患者の発生(1)ー原因究明調査ー
森本昌宏, 森彬, 中村周三, 深町和美, 高尾真一, 森田邦正, 永淵義孝, 森木弘樹, 江義憲, 岸川昭夫, 田上四郎, 木藤壽正, 高橋克巳, 猿田南海雄, 松尾和彦^{*44}: 用水と廃水, 17(10), 1307-1318, 1975.
- 207** けい光光度法による食品中のサッカリンの定量
中村幸男: 食品衛生学雑誌, 16(6), 368-374, 1975.

208 アクリルアミド中毒事件
中村周三：ファルマシア，11(10)，821-823，1975.

209 *Acinetobacter* ‘*Anitoratus*’ 分離例
常盤寛：臨床と細菌，3(1)，71-75，1976.

210 アクリルアミドによる環境汚染とその毒性
森彬：全国公害研会誌，1(1)，59-65，1976.

211 ブタインフルエンザウィルス A/NJ/9/76に対する抗体保有調査
福吉成典，武原雄平，杉島伸禄^{*174}，森良一^{*85}，小田紘^{*85}：
福岡医学雑誌，67(8)，301-303，1976.

212 Detection of mutagenic activity in urban air pollutants.
Hiroshi Tokiwa, Hiroaki Takeyoshi, Kunimasa Morita, Katsumi Takahashi, Namio Saruta, Yoshinari Ohnishi^{*89}：
Mutation Research，38(5)，351，1976.

213 ホテイアオイのカドミウム蓄積
徳永隆司，古田直子，森本昌宏：衛生化学，22(4)，234-239，1976.

214 結核菌のマイコバクテリオシン型別
常盤寛，武谷健二^{*85}：結核，52(1)，11-15，1977.

215 PVC マトリックス膜型塩素酸イオン電極
深町和美，石橋信彦^{*85}：分析化学，26(1)，69-71，1977.

216 福岡県における農作物中の残留農薬の推移とその考察
大崎靖彦，中村幸男：日本公衆衛生雑誌，24(9)，592-598，1977.

217 環境変異原物質による大気汚染
常盤寛，武吉広明，高橋克巳，大西克成^{*84}：公害と対策，13(11)，1259-1264，1977.

218 溶媒抽出—原子吸光法による微量アンチモンの定量—
永淵義孝，深町和美：分析化学，26(10)，729-731，1977.

219 クロロフェニラミン感応電極の試作とその性能

深町和美，石橋信彦^{*85}：分析化学，27(3)，152-155，1978.

220 血液，尿等の重金属及びウイルス抗体価から見た地域住民の健康評価に関する研究Ⅲパラインフルエンザ HI 抗体
高橋克巳：地方衛生研究所全国協議会誌，92-100，1978.

221 Arbovirus infections in the mosquitoes of Fukuoka area, Kyushu, Japan. 1. Preparatory studies: Critical examinations of field-caught mosquitoes for arbovirus isolation attempts
Hideho Yamamoto：衛生動物，29(4)，273-278，1978.

222 九州の大気汚染と変異原性
常盤寛，北森成治，大西克成^{*84}：環境変異原研究，1(1)，13-14，1978.

223 1977年12月から1978年3月にかけて福岡県において流行したインフルエンザについて
福吉成典，武原雄平，長谷川孝志，多田俊助，高橋克巳，堀徹^{*27}，甲斐田健次郎^{*44}：感染症学雑誌，52(8)，307-311，1978.

224 人体組織中のジエチルヘキシルフタレート及びジブチルフタレートについて
大崎靖彦：全国公害研会誌，3(2)，69-73，1978.

225 水中の直鎖型ドデシルベンゼンスルホン酸塩の吸光光度定量法へのメチルイソブチルケトン抽出法の応用
中村幸男，上和田幸子，北直子：衛生化学，24(3)，149-154，1978.

226 カドミウム汚染米の有効利用に関する研究 第1報 酒造の原料として用いた場合
江崎義憲，永淵義孝，高尾真一，森本昌宏：全国公害研会誌，3(2)，109-113，1978.

227 オキシ処理活性炭による金属イオンの吸着挙動
松枝隆彦，森本昌宏：分析化学，27(5)，312-314，1978.

228 ホテイアオイの生長と無機栄養元素の貯蔵
徳永隆司，北喜代志，北直子，森本昌宏：日本水処理生物学会誌，14(1)，1-8，1978.

229 垂鉛カラム法を用いた水中の ppb レベルのヒ素の原子吸光分析
深町和美, 徳永隆司: 衛生化学, 24(5), 265-269, 1978.

230 道路の修復舗装工事に伴う井戸水のマンガン汚染—鉍滓バラスの特殊性状について—
近藤紘之, 松枝隆彦, 高尾真一, 森本昌宏: 水質汚濁研究, 1(3), 209-215, 1978.

231 けい光 X 線分析法による汚水, 燃えがら中のクロム, マンガン, ニッケル, 銅の定量
武藤博昭, 田上四郎: 環境技術, 7(8), 786-790, 1978.

232 家兎におけるアクリルアミドの血中及び尿中濃度の推移
小河章, 芥野岑男, 高橋克巳: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 71-73, 1979.

233 県内における固定発生源からのばいじん及び重金属の排出と集じん装置の効率
岩本眞二, 石橋龍吾, 高田智, 中村又善, 永瀬誠: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 76-78, 1979.

234 福岡県における日本脳炎流行のわい小化要因に関する考察 第1報 日本脳炎流行規模の年次変化とブタの日本脳炎 HI 抗体保有状況との相関について
多田俊助, 武原雄平, 福吉成典, 長谷川孝志, 高橋克巳: 福岡県獣医師会報, 7, 37-40, 1979.

235 GC-MS による大気浮遊粉じん中の変異原物質の分析
森田邦正, 森彬, 常盤寛: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 73-76, 1979.

236 福岡県における日本脳炎流行のわい小化要因に関する考察 第2報 日本脳炎流行規模の年次変化と豚の飼育状況との相関について
福吉成典, 武原雄平, 長谷川孝志, 多田俊助, 高橋克巳: 福岡県獣医師会報, 7, 40-45, 1979.

237 瓦工場周辺のふっ素化合物による植物被害 1) 発生源及び周辺環境大気調査
中村又善, 高田智, 石橋龍吾, 岩本眞二, 永瀬誠: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 78-80, 1979.

238 瓦工場周辺のふっ素化合物による植物被害 2) 工場周辺栽培イ (イグサ科) の変色
中村又善: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 80-81, 1979.

239 Griess-Romijin 亜硝酸試薬の改良と分析への適用
中川礼子, 森本昌宏: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 82-83, 1979.

240 アルカリ性プレカラムを用いる PCB の簡易分析法
重江伸也, 近藤紘之, 森本昌宏: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 83-85, 1979.

241 簡易検圧法と希釈法で測定した BOD 値の関係
徳永隆司, 森本昌宏: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 85-87, 1979.

242 クロブチノール感応電極の試作とその性能
深町和美, 石橋信彦^{*85}: 薬学雑誌, 99(2), 126-130, 1979.

243 回転電極法による産業廃棄物中の金属成分の定量
北森成治: 福岡県衛生公害センター年報, 5, 88-90, 1979.

244 福岡県におけるパラインフルエンザの流行について
多田俊助, 武原雄平, 高橋克巳, 有吉陽一^{*52}: 臨床とウイルス, 7(2), 71-73, 1979.

245 都市汚染予測のための長期平均パフモデル
武藤直彦: 大気汚染学会誌, 14(8), 30-42, 1979.

246 福岡地方におけるコガタアカイエカとシロハシイエカ 1. 両種の識別: 両種雌成虫における後胸脚節白帯幅の測定結果
山本英穂: 福岡県衛生公害センター年報, 6, 86-88, 1979.

247 筑後6市大気汚染調査
中村周三, 石橋龍吾, 高田智, 中村又善, 永瀬誠, 岩本眞二: 福岡県衛生公害センター年報, 6, 96-99, 1979.

- 248** 福岡地方におけるコガタアカイエカとシロハシイエカ 2. 野外採集標本におけるシロハシイエカとコガタアカイエカの比率
山本英穂：福岡県衛生公害センター年報，6，89-90，1979.
- 249** 改良アルカリろ紙円筒によるふっ素化合物の測定
中村又善：福岡県衛生公害センター年報，6，100-101，1979.
- 250** 福岡地方におけるコガタアカイエカとシロハシイエカ 3. シロハシイエカ捕集個体数の季節消長と総括
山本英穂：福岡県衛生公害センター年報，6，91-93，1979.
- 251** 大気汚染物質の変異原性—その生物学的検出と化学分析—
常盤寛，北森成治，大西克成^{*84}：変異原と毒性，6，15-24，1979.
- 252** 台所用合成洗剤の成分分析とその経年変化
上和田幸子，北直子，中村幸男：九州薬学会会報，33，89-94，1979.
- 253** 梅製品中のシアンの濃度と存在形態
古賀けい子：福岡県衛生公害センター年報，6，94-95，1979.
- 254** 大気汚染に由来する環境汚染物質の陸生節足動物に及ぼす影響 1. ある工業汚染地における陸生節足動物の虫体重金属濃度
山本英穂，柳川正男，山崎正敏，杉泰昭，杉妙子：全国公害研会誌，4(2)，111-117，1979.
- 255** カドミウム汚染米の有効利用に関する研究 第2報 鶏飼料として用いた場合の鶏体内へのカドミウム蓄積
柳川正男，杉妙子，稲益建夫，芥野岑男，小河章：全国公害研会誌，4(1)，35-41，1979.
- 256** ある酸化池におけるプランクトン相と優占する2属緑藻個体数の季節消長
村田敦子：福岡県衛生公害センター年報，6，102-104，1979.
- 257** 在来線鉄道の下路鉸桁による騒音の影響について
八尋正幹，木本行雄：環境技術，8(10)，986-991，1979.
- 258** くい打ち作業に伴う騒音，振動調査
木本行雄，八尋正幹：福岡県衛生公害センター年報，6，105-106，1979.
- 259** 野菜，果実中のカルバリルの透析による分離について
大崎靖彦，中村幸男：九州薬学会会報，33，83-87，1979.
- 260** Arbovirus infections in the mosquitoes of Fukuoka area, Kyushu, Japan. 2. Natural infection of mosquitoes with the viruses of Getah complex in the period from 1963 to 1972
Hideho Yamamoto：衛生動物，31(1)，23-30，1980.
- 261** Mutagenic and chemical assay of extracts of airborne particulates.
Hiroshi Tokiwa, Shigeji Kitamori, Katsumi Takahashi, Yoshinari Ohnishi^{*84}：Mutation Research，77(2)，99-108，1980.
- 262** Detection of mutagenic activity in automobile exhaust.
Yoshinari Ohnishi^{*84}，Kosei Kachi^{*176}，Kayo Sato^{*176}，Isao Tahara^{*84}，Hiroaki Takeyoshi, Hiroshi Tokiwa：Mutation Research，77(3)，229-240，1980.
- 263** クロロアニリン分析法
森田邦正，稲益建夫：化学物質環境分析手法(環境庁保健調査室監修，東京，講談社)，321，217-220，1980.
- 264** 塩化ベンジル分析法
北森成治，稲益建夫：化学物質環境分析手法(環境庁保健調査室監修，東京，講談社)，321，221-225，1980.
- 265** ドデカクロロドデカヒドロジメタジベンゾシクロオクテン分析法
深町和美：化学物質環境分析手法(環境庁保健調査室監修，東京，講談社)，321，239-243，1980.
- 266** クロロベンゼン分析法
岩本眞二，稲益建夫：化学物質環境分析手法(環境庁保健調査室監修，東京，講談社)，321，253-356，1980.

267 活性炭による水中微量水銀の濃縮とゼーマン効果原子吸光分析

松枝隆彦：分析化学，29(2)，110-115，1980.

268 テレメータシステムによる収集データの誤差要因

松家繁，田辺敏久，黒木重則，武藤直彦：福岡県衛生公害センター年報，7，91-93，1980.

269 福岡県における最近の A 型インフルエンザ H₃N₂ 及び H₁N₁ 型の混合流行について

福吉成典，多田俊助，武原雄平，乙藤千壽，千々和勝己，簗原巖，高橋克巳：臨床とウイルス，8(4)，93-96，1980.

270 酒石酸塗布ガラスビーズ法による空気中のトリメチルアミンの分析法の検討

永瀬誠：分析化学，26(5)，293-297，1980.

271 固定発生源からの窒素酸化物排出原単位量調査
岩本眞二，石橋龍吾，近藤紘之，柳川正男，永瀬誠，森彬：福岡県衛生公害センター年報，7，94-97，1980.

272 コガタアカイエカの昼間潜伏場所におけるサンプリング 1. 水田における昼間潜伏個体採集量の採集時刻による相違及び各種昼間潜伏場所における個体密度

山本英穂：福岡県衛生公害センター年報，7，78-80，1980.

273 コガタアカイエカの昼間潜伏場所におけるサンプリング 2. 昼間潜伏吸血雌の中腸内残留血の外観による吸血後経過時間の判定

山本英穂：福岡県衛生公害センター年報，7，81-82，1980.

274 コガタアカイエカの昼間潜伏場所におけるサンプリング 3. 水田における昼間潜伏個体の密度及び構成の吸血源からの距離による変動

山本英穂：福岡県衛生公害センター年報，7，83-86，1980.

275 大牟田市及びその周辺における着生植物の分布による大気汚染図示

杉泰昭，増田昭子：全国公害研会誌，5(2)，33-37，1980.

276 マーケットバスケット方式による日常食品中の汚染物質摂取量調査

高田智，北直子，毛利隆美，飯田隆雄，芥野岑男，中村周三：福岡県衛生公害センター年報，7，87-90，1980.

277 大気汚染に由来する環境汚染物質の陸生節足動物に及ぼす影響 2. オオミノガ幼虫の虫体重金属濃度とその宿主植物との関係

山本英穂，柳川正男，山崎正敏，杉泰昭，杉妙子：全国公害研会誌，5(1)，51-55，1980.

278 大気汚染に由来する環境汚染物質の陸生節足動物に及ぼす影響 3. 工業汚染地における大気汚染とクスノキの潜葉蛾の分布

山崎正敏，杉妙子：全国公害研会誌，5(2)，67-70，1980.

279 西川における異常 pH 調査－休廃止石炭鉱山における坑水について－

宇都宮彬，永淵義孝，桜木建治：福岡県衛生公害センター年報，7，98-100，1980.

280 Flow injection-atomic absorption spectrometry with organic solvents.

Kazumi Fukamachi, Nobuhiko Ishibashi^{*85}: Anal. Chim. Acta, 119(2), 383-387, 1980.

281 ドデシルベンゼンスルホン酸による微量クロム(III)の溶媒抽出－原子吸光分析－

岸川昭夫，深町和美：福岡県衛生公害センター年報，7，104-106，1980.

282 原子吸光法による水中の直鎖型アルキルベンゼンスルホン酸塩の間接定量

松枝隆彦，森本昌宏：分析化学，29(11)，769-774，1980.

283 ピロリジンジチオカルバミン酸アンモニウム-ジイソブチルケトン抽出による水中の微量重金属類の原子吸光分析

永淵義孝，深町和美：分析化学，29(12)，98-103，1980.

284 鉱油による井水汚染の事例

重江伸也，近藤紘之，森田邦正，大石興弘，森本昌宏：福岡県衛生公害センター年報，7，101-103，1980.

285 藻類培養試験による福岡県内河川水の富栄養化の評価

村田敦子, 岸川昭夫: 福岡県衛生公害センター年報, 7, 107-109, 1980.

286 燃えがら,ばいじん中のシアン化合物及び重金属の定量

大崎真紗子, 武藤博昭: 福岡県衛生公害センター年報, 7, 110-111, 1980.

287 航空機騒音の評価に関する一考察

八尋正幹, 木本行雄: 福岡県衛生公害センター年報, 7, 112-113, 1980.

288 水生植物の水質汚濁防止への利用

徳永隆司: 用水と廃水, 23(2), 3-11, 1981.

289 *Capmpylobacter jejuni* による食中毒について

小石二郎, 常盤寛, 小河章, 乙藤武志, 松尾和美, 中村幸男, 高橋克巳: 福岡県獣医師会報, 9, 37-42, 1981.

290 The incidence of antibody to Aino virus in animals and humans in Fukuoka

Shigenori Fukuyoshi, Yuhei Takehara, Katsmi Takahashi, Ryoichi Mori^{*85}: Japan.J.Med.Sci.Biol., 34(1), 41-43, 1981.

291 Mutagenicity of nitro derivatives induced by exposure of aromatic compounds to nitrogen dioxide.

Hiroshi Tokiwa, Reiko Nakagawa, Kunimasa Morita, Yoshinari Ohnishi^{*84}: Mutation Research, 85(4), 195-205, 1981.

292 Arbovirus infections in the mosquitoes of Fukuoka area, Kyushu, Japan. 3. Natural infection of mosquitoes with Japanese *encephalitis* virus in the period from 1963 to 1972. Hideho Yamamoto: 衛生動物, 32(1), 37-46, 1981.

293 A morphological comparison in the genitalia among pine moths of the Ryukyu I slands, the Main Islands of Japan and Taiwan (Lepidoptera, Lasiocampidae).

Hideho Yamamoto: 昆虫, 東京, 49(1), 1-11, 1981.

294 面煙源拡散式の具体的な計算方法の比較

松家繁, 黒木重則, 田辺敏久, 武藤直彦: 福岡県衛生

公害センター年報, 8, 84-87, 1981.

295 福岡県における血液中重金属について

芥野岑男, 北森成治, 片岡恭一郎, 小河章: 九州薬学会会報, 35, 137-143, 1981.

296 ヒトの血液中におけるポリ塩化ビフェニル及びポリ塩化クアテルフェニル

飯田隆雄, 芥野岑男, 高田智, 中村周三, 高橋克巳, 増田義人^{*103}: 福岡医学雑誌, 72(4), 185-191, 1981.

297 ガスクロマトグラフィーによる大気中の芳香族ニトロ化合物の分析

森田邦正, 深町和美: 衛生化学, 27(3), 169-174, 1981.

298 某精錬工場における従業員の尿の突然変異原性テスト

稲益建夫, 北森成治, 石沢実^{*85}, 久永明^{*85}, 石西伸^{*85}: 産業医学, 23(6), 640-641, 1981.

299 大気汚染に由来する環境汚染物質の陸生節足動物に及ぼす影響 4. 工場周辺の粘管目(昆虫綱)群集にみられる環境汚染物質の影響

杉泰昭, 北森成治, 柳川正男: 全国公害研会誌, 6(2), 7-10, 1981.

300 Mutagenic assay of aromatic nitro compounds with *Salmonella typhimurium*.

Hiroshi Tokiwa, Reiko Nakagawa, Yoshinari Ohnishi^{*84}: Mutation Research, 91, 321-325, 1981.

301 保持指数を用いた水中有機化合物の同定

森田邦正, 深町和美: 福岡県衛生公害センター年報, 8, 88-95, 1981.

302 FK phage for differentiating the classical and El tor groupes of cholerae.

Kenji Takeya^{*85}, Takeshi Otofujii, Hiroshi Tokiwa: J.Clin. Microbiol., 14(2), 222-224, 1981.

303 ガスクロマトグラフィー質量分析計による環境水中微量有機化合物の検索 1 河川水と海水

深町和美, 森田邦正: 福岡県衛生公害センター年報, 8, 96-102, 1981.

304 ガスクロマトグラフィー質量分析計による環境水中微量有機化合物の検索 2 工場排水と下水放流水ー深町和美, 森田邦正: 福岡県衛生公害センター年報, 8, 103-109, 1981.

305 赤血球凝集至適 pH が著しくアルカリ側に偏したコガタアカイエカからの日本脳炎ウイルス分離株の一例
山本英穂: 福岡県衛生公害センター年報, 8, 73-77, 1981.

306 食品中のヘキサクロロベンゼン
高田智, 北直子, 毛利隆美, 芥野岑男, 飯田隆雄, 中村周三: 福岡県衛生公害センター年報, 8, 78-80, 1981.

307 ホルマリン液浸標本による50年前の有明海産魚類の水銀濃度
森木弘樹, 深町和美, 高尾真一, 森本昌宏: 福岡県衛生公害センター年報, 8, 81-83, 1981.

308 有明海産タイラギによる食中毒の発生
乙藤武志, 小河章, 小石二郎, 堀川和美, 常盤寛, 安元恒文^{*44}, 西原研二^{*44}, 山本英子^{*44}, 最所正光^{*44}, 栗原羊一^{*44}, 林田公夫^{*44}: 食品衛生研究, 31(9), 790-797, 1981.

309 炎光光度法による水中の陰イオン界面活性剤の間接定量
松枝隆彦: 分析化学, 30(6), 375-379, 1981.

310 浄水処理プロセスにおけるトリハロメタンの生成
北喜代志, 近藤紘之: 全国公害研会誌, 6(2), 89-93, 1981.

311 市街地河川の汚濁負荷調査
桜木建治, 大石興弘, 宇都宮彬, 中村又善: 福岡県衛生公害センター年報, 8, 110-113, 1981.

312 某中毒患者の尿中タリウムの検出
北森成治: 産業医学, 24(2), 184-185, 1982.

313 最近の都市大気汚染物質の変異原活性
北森成治, 堀川和美, 片岡恭一郎, 常盤寛: 日本公衆衛生雑誌, 29(1), 37-42, 1982.

314 日本脳炎ウイルス中和抗体の年齢層別分布
千々和勝己, 武原雄平, 高橋克巳, 森良一^{*85}: 臨床とウイルス, 10(1), 75-78, 1982.

315 高速液体クロマトグラフィーによる水中の直鎖型アルキルベンゼンスルホン酸塩の迅速定量
松枝隆彦, 大崎靖彦, 重江伸也: 分析化学, 31(2), 59-63, 1982.

316 タイラギによる腸炎ビブリオ食中毒(昭和50年)
乙藤武志: 食品衛生学雑誌, 23, 201-203, 1982.

317 大気中の芳香族ニトロ化合物に関する研究 第2報 ガスクロマトグラフィーによる大気汚染物質芳香族ニトロ化合物の定量
森田邦正, 深町和美, 常盤寛: 分析化学, 31(5), 255-260, 1982.

318 タイラギによる腸炎ビブリオ食中毒(昭和55年)
乙藤武志: 食品衛生学雑誌, 23, 493-496, 1982.

319 衛生害虫としてのシバンムシアリガタバチの生活史
山崎正敏: 衛生動物, 33(3), 221-226, 1982.

320 環境指標としての着生蘚苔類中の重金属濃度
石橋龍吾, 杉泰昭, 木藤壽正: 大気汚染学会誌, 17(1), 63-69, 1982.

321 Carcinogenicity in rats of the mutagenic compounds 1-nitropyrene and 3-nitrofluoranthene
Hiroko Ohgaki^{*23}, Norio Matsukura^{*23}, Kazuhide Morino^{*23}, Takashi Kawachi^{*23}, Takashi Sugimura^{*23}, Kunimasa Morita, Hiroshi Tokiwa, Teruyuki Hirota^{*23}: Cancer Lett., 15(1), 1-7, 1982.

322 陸水中の有機ハロゲン化合物の分析手法に関する研究ー水中のクロロベンゼン類及びポリクロロナフタリンのガスクロマトグラフィーによる分析についてー
松浦聰朗, 松枝隆彦, 北喜代志, 檜崎幸範: 昭和56年度環境保全研究成果集(I), 12-1, 3-12-15, 1982.

323 水質汚染物質による沈水性水生植物の急性可視及び不可視障害
徳永隆司, 岸川昭夫: 生態化学, 5(1), 23-30, 1982.

324 スピードアップに伴う新幹線鉄道騒音・振動調査
木本行雄，八尋正幹：福岡県衛生公害センター年報，
9，79-82，1982.

325 “ いけす ” (海水水槽)における腸炎ビブリオの
消長について
斉藤正夫^{*44}，小川卓司^{*44}，白木則子^{*44}，橋本義信^{*44}，乙
藤武志：福岡県獣医師会報，11，65-68，1983.

326 福岡県における主要死因の分析(昭和50年－昭和
54年)
篠原志郎，片岡恭一郎，大久保彰人，高橋克巳：福岡
県衛生公害センター，1-142，1983.

327 塩化水素の付加反応を利用した大気中エチレン
オキシドのガスクロマトグラフィーによる間接定量
永瀬誠，近藤紘之，森彬：分析化学，32(11)，633-
636，1983.

328 サーベイランス北から南からIX九州ブロック
福吉成典：臨床とウイルス，11(3)，43-44，1983.

329 原子吸光法によるシアン化物イオンの間接定量
松枝隆彦：分析化学，32(6)，373-377，1983.

330 福岡県における油症検診データの統計解析
片岡恭一郎，大久保彰人，篠原志郎，高橋克巳，増田
義人^{*103}：福岡医学雑誌，74(5)，296-301，1983.

331 陸水域の有機ハロゲン化合物の分析手法に関す
る研究－四塩化炭素法による塩化物イオンの測定－
松浦聰朗，久富啓次，石黒靖尚，檜崎幸範：昭和57年
度環境保全研究成果集(Ⅰ)，11-8－11-9，1983.

332 腸炎ビブリオ食中毒
乙藤武志：臨床栄養，63(1)，24-28，1983.

333 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物質の制御
に関する研究 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物
質の発生源負荷原単位
高橋克巳，松浦聰朗，永淵義孝，北喜代志，上和田幸
子，松尾宏：昭和57年度環境保全研究成果集(Ⅰ)，12
-4－12-9，1983.

334 環境における農業に関する研究 第1報 有明海産
魚貝類，海水，底質への除草剤 NIP，GNP，クロメト

キシニルの残留

大崎靖彦，中村又善：全国公害研究会誌，8(2)，29-34，
1983.

335 ニトロアレーンの変異原性と発癌性
常盤寛：代謝，20(臨時増刊号「癌'83」)，3-11，
1983.

336 大気及びディーゼル排ガス中ニトロアレーンの
変異原性
常盤寛：環境変異原研究，5(2)，50-53，1983.

337 クアテルフェニル、ポリ塩化クアテルフェニル
及び十八塩化クアテルフェニルの合成
高田智，毛利隆美，飯田隆雄，中村周三，高橋克巳，
増田義人^{*103}：福岡医学雑誌，74(5)，193-201，1983.

338 大気中の芳香族ニトロ化合物に関する研究 第3
報 大気浮遊粉じん及び自動車排出物中の1-ニトロピ
レニンの定量
森田邦正，深町和美，常盤寛：衛生化学，29(4)，199
-205，1983.

339 ディーゼル排ガス中のニトロピレン
常盤寛：環境と人体Ⅱ，東京大学出版会，21-41，1983.

340 Scanning electron-microscopic and X-ray micro
analytic observation of diesel-emission particles associated
with mutagenicity
Koichi Nakashima^{*105}，Kunio Yoshitsugu^{*105}，Hiroshi
Tokiwa：Mutation Research，122，251-255，1983.

341 航空機騒音常時測定データの解析
松家繁，黒木重則，木本行雄：福岡県衛生公害センタ
ー年報，10，65-67，1983.

342 Some findings on mutagenicity in airborne particulate
pollutants
Hiroshi Tokiwa，Shigeji Kitamori，Kazumi Horikawa，
Reiko Nakagawa：Environ.Mutagen.，5，87-100，1983.

343 着生地衣千藓苔植生による福岡県内都市地域の
環境汚染指標 (1)北九州及び大牟田地区における大気
清浄度指数
小村精，村田敦子：全国公害研究会誌，8(2)，87-90，
1983.

- 344** Mutagens in airborne particulate pollutants and nitro derivatives produced by exposure of aromatic compounds to gaseous pollutants
Hiroshi Tokiwa, Shigeji Kitamori, Reiko Nakagawa, Yoshinari Ohnishi^{*84}: Short-Term Bioassays in the Analysis of Complex Environmental Mixtures, III, 555-567, 1983.
- 345** Demonstration of a powerful mutagenic dinitropyrene in airborne particulate matter
Hiroshi Tokiwa, Shigeji Kitamori, Reiko Nakagawa, Kazumi Horikawa, Luis Matamala^{*2}: Mutation Research, 121, 107-116, 1983.
- 346** Arbovirus infections in the mosquitoes of Fukuoka area, Kyushu, Japan 4. The epidemiological relations among the seasonal prevalence of the vector mosquitoes of Japanese encephalitis virus, thenatural infection of the mosquitoes and the epidemic sizes of Japanese encephalitis
Hideho Yamamoto: 衛生動物, 35(1), 47-55, 1984.
- 347** Identification of dinitropyrenes in diesel-exhaust particles. Their probable presence as the major mutagens
Reiko Nakagawa, Shigeji Kitamori, Kazumi Horikawa, Koichi Nakashima^{*105}, Hiroshi Tokiwa: Mutation Research, 124, 201-211, 1984.
- 348** 1,6-Dinitropyrene: Mutagenicity in salmonella and carcinogenicity in BALB/c Mice
Hiroshi Tokiwa, Takeshi Otofui, Kazumi Horikawa, Shigeji Kitamori, Hisashi Otsuka^{*84}, Yoshiki Manabe^{*84}, Takemi Kinouchi^{*84}, Yoshinari Ohnishi^{*84}: J. Natl. Cancer Inst., 73(6), 1359-1363, 1984.
- 349** 大気中のアンモニア自動測定装置の試作
石橋龍吾: 大気汚染学会誌, 19(3), 222-227, 1984.
- 350** 大気汚染指標としての着生地衣・蘚苔植生 福岡県内工業地域における近年の推移
小村精, 村田敦子: 大気汚染学会誌, 19(6), 462-472, 1984.
- 351** 福岡県民の栄養摂取調査(I) コレステロールの1日摂取量について
森田邦正, 大野健治, 毛利隆美: 福岡県衛生公害センター年報, 11, 73-77, 1984.
- 352** 燃焼生成物中ニトロアレーンの変異原性と1,6-ジニトロピレンの発がん性
黒本三男, 中川礼子, 堀川和美, 乙藤武志, 常盤寛, 大塚久^{*84}, 大西克成^{*84}: 環境変異原研究, 6, 49-56, 1984.
- 353** 着生地衣・蘚苔植生による福岡県内都市地域の環境汚染指標 (2)福岡地区における大気清浄度指数
小村精, 村田敦子: 全国公害研会誌, 9(1), 31-34, 1984.
- 354** 野菜中のプロチオフォスの残留
竹中重幸, 飯田隆雄, 永瀬誠, 深町和美: 食品衛生学雑誌, 25(3), 268-271, 1984.
- 355** タキフグの毒性
竹中重幸, 永瀬誠, 高田智: 福岡県衛生公害センター年報, 11, 86-88, 1984.
- 356** 環境における農薬に関する研究 第2報 筑後平野の河川水系における農薬の実態調査
中村又善, 大崎靖彦: 全国公害研会誌, 9(1), 35-39, 1984.
- 357** 福岡県民の栄養摂取調査(II) 脂肪及び脂肪酸の1日摂取量について
大野健治, 森田邦正, 毛利隆美: 福岡県衛生公害センター年報, 11, 78-81, 1984.
- 358** 陸水域の有機ハロゲン化合物の分析手法に関する研究 B. TOX 計に代る分析方法の検討 1. CHX3法による TOX 測定—
松浦聡朗, 久富啓次, 檜崎幸範: 昭和58年度環境保全研究成果集(I), 9-8-9-12, 1984.
- 359** 福岡県民の栄養摂取調査(III) 食塩及び無機質の1日摂取量について
毛利隆美, 森田邦正, 大野健治, 北直子: 福岡県衛生公害センター年報, 11, 82-85, 1984.
- 360** 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物質の制御に関する研究 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物質の発生源負荷原単位
高橋克巳, 松浦聡朗, 永淵義孝, 北喜代志, 上和田幸子, 松尾宏: 昭和58年度環境保全研究成果集(I), 10-1-10-10, 1984.

361 コプロスタノールを指標とした河川のし尿汚染
高尾真一：水質汚濁研究, 7(8), 510-516, 1984.

362 Indirect determination of thiocyanate ion by atomic
absorption spectrophotometry
Takahiko Matsueda：分析化学, 33(9), E389-E392, 1984.

363 福岡県における「大気中浮遊粉じん汚染解析プ
ログラム」の概要について
岩本眞二：地方自治コンピュータ, 14(12), 50-57,
1984.

364 Mutagenicity and carcinogenicity of nitroarenes and
their distribution in the environment
Hiroshi Tokiwa, Reiko Nakagawa：Environmental Science
Research Report, B233-R20-1(Experimental Studies on
Health Effects of Nitrogen Oxides), 45-60, 1985.

365 福岡県におけるムカシトンボの産地追加
山本英穂, 杉泰昭：Pulex(日本昆虫学会九州支部会
報), 71, 332-333, 1985.

366 福岡県における最近のインフルエンザの流行お
よび A ソ連型(H₁N₁)変異株に対する一般住民の抗体
保有状況
芥野岑男, 福吉成典, 高橋克巳, 西尾重行^{*176}：臨床と
ウイルス, 13(2), 222-226, 1985.

367 浮遊粉じん中多量成分による発生源寄与の推定
と評価
岩本眞二, 宇都宮彬, 石橋龍吾, 武藤博昭：大気汚染
学会誌, 20(4), 286-350, 1985.

368 福岡地区における腎症候性出血熱ウイルスの血
清学的調査
毛利資郎^{*85}, 半田純雄^{*85}, 竹中章^{*85}, 森良一^{*85}, 福吉成
典：福岡医学雑誌, 76(7), 376-381, 1985.

369 福岡都市域における春季高濃度オキシダントに
ついて
宇都宮彬, 田辺敏久, 岩本眞二, 石橋龍吾, 武藤博昭
：全国公害研会誌, 10(2), 41-47, 1985.

370 Mutagenic/carcinogenic agents in indoor pollutants;
the dinitropyrenes generated by kerosene heaters and fuel
gas and liquified petroleum gas burners

Hiroshi Tokiwa, Reiko Nakagawa, Kazumi Horikawa：
Mutation Research, 157(1), 39-47, 1985.

371 青年男子における喫煙者と非喫煙者の尿の変異
原性
河野博己^{*85}, 稲益建夫^{*85}, 石沢実^{*85}, 北森成治, 石西
伸^{*85}：産業医学, 27(3), 166-167, 1985.

372 河川水及び海水中における殺菌剤イソプロチオ
ランの残存
大崎靖彦, 中村又善：水質汚濁研究, 8(10), 676-682,
1985.

373 Accumulation, excretion and effects on hepatic
enzymes of polychlorinated quaterphenyl congeners in rats
Shigeyuki Takenaka, Takao Iida, Makoto Nagase,
Satoshi Takata, Yoshito Masuda^{*103}, Nobuyuki Koga^{*85},
Jun Kuroki^{*85}, Yumiko Hokama^{*85}, Hidetoshi Yoshimura^{*85}
：J.Pharmacobio-Dyn., 8(7), 571-577, 1985.

374 健常者の血液中 PCB 濃度及びガスクロマトグラ
ムピークパターンの経年変化
飯田隆雄, 深町和美, 高橋克巳, 増田義人^{*103}：福岡医
学雑誌, 76(15), 137-144, 1985.

375 福岡県の河川, 海域における水及び底質中のヒ
素含量
徳永隆司：福岡県衛生公害センター年報, 12, 53-56,
1985.

376 油症原因油および油症患者血液中の PCB, PCQ
および PCT
飯田隆雄, 深町和美, 高橋克巳, 増田義人^{*103}：福岡医
学雑誌, 76(5), 126-131, 1985.

377 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物質の制御
に関する研究 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物
質の発生源負荷原単位
高橋克巳, 松浦聡朗, 永淵義孝, 北森成治, 松尾宏,
櫻井利彦(他1機関)：昭和59年度環境保全研究成果集
(I), 8-2-8-3, 1985.

378 福岡県における日常食品中の汚染物摂取量調査
毛利隆美, 森田邦正, 大野健治, 深町和美：九州薬学
会会報, 39, 77-87, 1985.

379 福岡県民の栄養摂取量 第4報 日本食品標準成分表と実測による栄養摂取量の比較

森田邦正, 毛利隆美, 大野健治, 深町和美: 九州薬学会会報, 39, 69-76, 1985.

380 福岡県におけるキョウトゴキブリの分布再確認
山本英穂, 山崎正敏, 玉田幸生^{*176}: 衛生動物, 36(2), 115-116, 1985.

381 Extension of the CNDO/S Method to the Calculation of Aromatic and Heterocyclic Compounds Containing Si, P, S and Cl
Satoshi Takada, Yukio Ono^{*85}, Yo Ueda^{*85}: Chem. Pharm. Bull., 33(8), 3077-3091, 1985.

382 Carbonization of coals into anisotropic cokes 8. Carbonization of a Canadian weathered coal into anisotropic coke
Isao Mochida^{*85}, Kenji Itoh^{*85}, Yozo Korai^{*85}, Takaaki Shimohara: FUEL, 65, 429-432, 1986.

383 福岡県の河川水の水銀濃度
松枝隆彦, 森木弘樹^{*44}: 水処理技術, 27(2), 109-115, 1986.

384 福岡県における手足口病及びヘルパンギーナ患者からのウイルス分離(昭和57-60年の感染症サーベイランス検査成績)
千々和勝己, 多田俊助, 大久保彰人, 片岡恭一郎, 福吉成典, 高橋克己: 福岡県衛生公害センター年報, 13, 55-58, 1986.

385 浮遊粉じん中の特定成分による発生源の推定
岩本眞二, 宇都宮彬, 石橋龍吾, 武藤博昭: 環境技術, 15(5), 404-409, 1986.

386 2種の風化カナダ炭の共炭化と共予熱成型コーラス化
持田勲^{*85}, 伊藤研二^{*85}, 光来要三^{*85}, 藤津博^{*85}, 奥原捷晃^{*176}, 松原健次^{*176}, 下原孝章: 燃料協会誌, 65(9), 769-777, 1986.

387 Mutagenicity and carcinogenicity of nitroarenes and their sources in the environment
Hiroshi Tokiwa, Yoshinari Ohnishi: CRC Critical Rev. Toxicol., 17(1), 23-60, 1986.

388 低石炭化度炭の水素移動液化における前処理効果

持田勲^{*85}, 油布淳^{*85}, 坂西欣也^{*85}, 光来要三^{*85}, 下原孝章: 燃料協会誌, 65(12), 1020-1026, 1986.

389 Results of the rec-assay of nitropyrenes in the Bacillus subtilis test system
Kazumi Horikawa, Nobuyuki Sera, Hiroshi Tokiwa, Tsuneo Kada^{*22}: Mutation Research, 174(4), 89-92, 1986.

390 Dinitro derivatives of pyrene and fluoranthene in diesel emission particulates and their tumorigenicity in mice and rats
Hiroshi Tokiwa, Takeshi Otofugi, Reiko Nakagawa, Kazumi Horikawa, Toshiharu Maeda^{*84}, Nobuya Sano^{*84}, Keisuke Izumi^{*84}, Hisashi Otsuka^{*84}: Carcinogenic and Mutagenic Effects of Diesel Engine Exhaust, Elsevier Science Publishers B. V. (Eds. Ishinishi N., Koizumi A., McClellan R. O., Stober W), 253-270, 1986.

391 新簡易二酸化窒素捕集器の開発とその性能
近藤紘之, 柳川正男: 全国公害研会誌, 11(1), 7-16, 1986.

392 Mercury concentration change in human hair after the ingestion of canned tuna fish
Takeo Inamasu^{*85}, Akira Ogo, Masao Yanagawa, Mineo Kesino^{*44}, Akira Hirakoba^{*44}, Katsumi Takahashi, Noboru Ishinishi^{*85}: Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology, 37, 475-481, 1986.

393 福岡県における大気環境濃度の推移
松家繁, 黒木重則: 全国公害研会誌, 11(3), 147-151, 1986.

394 Pharmacokinetics of polychlorinated quaterphenyl congeners in rats after an oral dose
Shigeyuki Takenaka, Katsumi Takahashi, Yoshito Masuda^{*103}: Chemosphere, 15(6), 739-745, 1986.

395 三点比較式臭袋法に関する検討調査(1)ーパネル選定試験結果についてー
柳川正男, 近藤紘之, 大崎真紗子, 櫻井利彦, 武藤博昭: 福岡県衛生公害センター年報, 13, 59-61, 1986.

396 テトラクロロエチレンによる地下水汚染
北森成治, 古賀けい子, 松家繁, 松浦聡朗, 北喜代志^{*44},
原和信^{*44}: 全国公害研会誌, 11(2), 93-96, 1986.

397 コレステロール摂取量の年次推移
森田邦正: 九州薬学会会報, 40, 53-60, 1986.

398 福岡県内の地下水についてのトリハロメタン生成能の比較
北森成治, 古賀けい子, 松家繁, 黒川陽一, 原和信^{*44}: 日本公衆衛生雑誌, 21(9), 589-593, 1986.

399 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物質の制御に関する研究 低沸点有機塩素系化合物の生成要因物質の発生源負荷原単位
高橋克巳, 松浦聡朗, 近藤紘之, 永淵義孝, 松尾宏, 中村又善, 三成滋夫: 昭和60年度環境保全研究成果集 (I), 6-1-6-7, 1986.

400 ホテイアオイの重金属含有量
徳永隆司: ホテイアオイ研究会誌, 8, 1-4, 1986.

401 微生物の代謝能を利用した水環境の評価方法に関する研究 - MBAS 分解能の指標化 -
高田智, 徳永隆司, 小河章, 大石興弘, 古賀けい子, 桜木建治: 昭和60年度環境保全研究成果集 (II), 107-25-107-26, 1987; Environmental Research in Japan, 1985, 240-241, 1986.

402 ユスリカ(双翅目, ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 - 福岡県那珂川における水域環境とユスリカ幼虫分布との関係 -
山本英穂, 山崎正敏, 杉泰昭, 徳永隆司, 村田敦子, 小河章: 昭和60年度環境保全研究成果集 (II), 107-21-107-22, 1987; Environmental Research in Japan, 1985, 238, 1986.

403 ユスリカ(双翅目, ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 - 水質判定のためのユスリカ幼虫サンプリングの基礎的研究, 河川底におけるユスリカ幼虫の分布 -
杉泰昭, 山崎正敏, 山本英穂: 昭和60年度環境保全研究成果集 (II), 107-22-107-23, 1987; Environmental Research in Japan, 1985, 239, 1986.

404 付着珪藻による河川水質の評価法の検討

小村精: 昭和60年度環境保全研究成果集 (II), 107-24-107-25, 1987; Environmental Research in Japan, 1985, 239-240, 1986.

405 酢酸あるいは酢酸アンモニウム水溶液室温処理による褐炭からの効率的二価イオン除去法
下原孝章, 持田勲^{*85}: 燃料協会誌, 66(2), 134-142, 1987.

406 ハムスターにおける1-nitropyrene と benzo(a)pyrene の呼吸器官に対する発がん性の比較
山本昭代^{*85}, 稲益建夫^{*85}, 久永明^{*85}, 北森成治, 石西伸^{*85}: 大気汚染学会誌, 22(1), 29-35, 1987.

407 食生活状況調査
篠原志郎, 大久保彰人, 片岡恭一郎: 福岡県衛生部発行冊子, 1-149, 1987.

408 日本における食物繊維摂取量と大腸がん死亡率との関連について
森田邦正: 衛生化学, 33(3), 185-190, 1987.

409 福岡県において急性胃腸炎患児糞便より電顕的に検出されたウイルス様小型粒子
大津隆一, 福吉成典, 高橋克巳, 橋爪広好^{*176}: 臨床とウイルス, 15(4), 570-571, 1987.

410 大気汚染測定車等による大気汚染データ解析システムの開発
岩本眞二, 田辺敏久: 福岡県衛生公害センター年報, 14, 71-77, 1987.

411 福岡県におけるつつがむし病の疫学的調査 I 野そ寄生つつがむし相及びその寄生消長
山崎正敏: 臨床とウイルス, 15(3), 373-382, 1987.

412 CMB 法と結合した浮遊粒子状物質拡散手法の検討
岩本眞二, 宇都宮彬, 下原孝章, 武藤博昭, 加来秀典^{*176}: 大気汚染学会誌, 22(4), 260-268, 1987.

413 微生物を利用した水環境の評価方法に関する研究 - 河川水中の細菌のフローラ解析 -
高田智, 徳永隆司, 大石興弘, 久富啓次, 小河章: 昭和61年度環境保全研究成果集 (II), 103-39-103-41, 1988; Environmental Research in Japan, 1986, 223, 1987.

414 福岡県におけるつつがむし病の疫学的調査 II
つつがむし病患者の初発生について
福吉成典：臨床とウイルス，15(3)，383-390，1987.

415 Simultaneous measurements of ozone by UV lidar and
chemical ozonsonde
Takashi Shibata^{*85}，Mitsuo Maeda^{*85}，Akira Utsunomiya，
Tsuguo Mizoguchi^{*30}：Journal of the Meteorological Society
of Japan，65，999-1003，1987.

416 インフルエンザの逐域伝播に関する調査
大久保彰人，福吉成典，高橋克巳，角典子^{*166}，松尾礼
三^{*167}，渡辺邦昭^{*168}，小野哲郎^{*169}，河野喜美子^{*170}，御供
田陸代^{*171}：感染症学雑誌，61(5)，574-580，1987.

417 微粉炭燃焼により発生するサブミクロンフライ
アッシュの生成機構に関する研究
下原孝章，安藤隆^{*85}，持田勲^{*85}：燃料協会誌，66(12)，
1020-1030，1987.

418 河川における界面活性剤の生分解能に対する影
響因子の研究 - LAS を用いて -
桜木建治，大石興弘，徳永隆司，中村又善：全国公害
研会誌，12(3)，129-134，1987.

419 福岡県における日本脳炎(日脳)流行要因の統計
解析
大久保彰人，福吉成典，多田俊助，千々和勝己，高橋
克巳：福岡県衛生公害センター年報，14，16-70，
1987.

420 A food-poisoning incident caused by *clostridium*
botulinum toxin A in Japan
T. Otofujii，H. Tokiwa，K. Takahashi：Epidem. Inf.，99，
167-172，1987.

421 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水
質判定法の検討 -水質判定のためのユスリカ幼虫サ
ンプリングの基礎的研究,河川底におけるユスリカ幼
虫の分布(つづき)-
杉泰昭，山崎正敏，山本英穂：昭和61年度環境保全成
果集(II)，103-37-103-38，1988；Environmental
Research in Japan，1986，225-226，1987.

422 Tumorigenicity Test of 1,3- and 1,8-Dinitropyrene
in BALB/c mice

Takeshi Otofujii，Kazumi Horikawa，Toshihara Maeda，
Nobuya Sano，Keisuke Izui，Hisashi Otsuka，Hiroshi
Tokiwa：J.Natl.Cancer Inst.，79，185-188，1987.

423 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水
質判定法の検討 -ユスリカ幼虫の分布と水域環境と
の関係の河川間の比較-
山本英穂，山崎正敏，杉泰昭，徳永隆司，村田敦子，
小河章：昭和61年度環境保全成果集(II)，103-34-
103-36，1988；Environmental Research in Japan，1986，
224-225，1987.

424 The nature of the mutagenicity and carcinogenicity of
nitrated aromatic compounds in the environment
Hiroshi Tokiwa，Reiko Nakagawa，Kazumi Horikawa，
Akito Ohkubo：Environmental Health Perspectives，73，
191-199，1987.

425 Dinitrofluoranthene: Induction, identification and gene
mutation
Reiko Nakagawa，Kazumi Horikawa，Nobuyuki Sera，
Yasushi Koderia^{*104}，Hiroshi Tokiwa：Mutation Research，
191，85-91，1987.

426 Induction of subcutaneous tumors in rats by 3,7-and
3,9-Dinitrofluoranthene
Hiroshi Tokiwa，Takeshi Otofujii，Kazumi Horikawa，
Nobuyuki Sera，Reiko Nakagawa，Toshiharu Maeda^{*84}，
Nobuya Sano^{*84}，Keisuke Izumi^{*84}，Hisashi Otsuka^{*84}：
Carcinogenesis，8，1919-1922，1987.

427 Levels of polychlorinated quaterphenyl congeners in
the adipose tissue of normal subjects
Shigeyuki Takenaka，Takao Iida，Kazumi Fukamachi，
Akira Mori，Reiko Nakagawa，Katsumi Takahashi，
Masakazu Asahi^{*85}：Chemosphere，16(7)，1419-1424，
1987.

428 走査-分析型電子顕微鏡によるスパイクタイヤ
粉じんの分析-
下原孝章，宇都宮彬，岩本眞二，今武純^{*34}，武藤博昭
：大気汚染学会誌，22(4)，269-277，1987.

429 FIA による亜硝酸分析
毛利隆美，深町和美：FIA 研究会会誌，11(2)，130，
1987.

430 ヒトにおける血中 PCB パターンと皮下脂肪中 PCQ 骨格異性体の関連性

竹中重幸, 飯田隆雄, 中川礼子, 深町和美, 森彬, 高橋克巳, 旭正一^{*85}: 福岡医学雑誌, 78(5), 314-319, 1987.

431 Ingestion of parsley inhibits the mutagenicity of male human urine following consumption of fried salmon

Shiro Ohyama^{*85}, Seiji Kitamori, Hiromi Kawano^{*85}, Teruki Yamada^{*85}, Takeo Inamasu^{*85}, Minoru Ishizawa^{*85}, Noburu Ishinishi^{*85}: Mutation Research, 192, 7-10, 1987.

432 蛍光検出高速液体クロマトグラフィーによる豚肉, 牛肉及び鶏肉中のバージニアマイシンの定量

永瀬誠, 深町和美: 分析化学, 36(5), 297-300, 1987.

433 着生地衣・藓苔植生による福岡県内都市地域の環境汚染指標(3) 一久留米及び行橋・苅田地区における大気清浄度指数一

村田敦子: 全国公害研会誌, 12(1), 25-30, 1987.

434 福岡県内の水道原水の水質(1)一水源別による比較一

北森成治, 古賀けい子^{*44}, 松家繁: 水道協会雑誌, 56(12), 2-10, 1987.

435 正常者の血液中ポリ塩化クアテルフェニル濃度
飯田隆雄, 竹中重幸, 中川礼子, 深町和美, 高橋克巳, 旭正一^{*85}: 福岡医学雑誌, 78(5), 305-308, 1987.

436 ヒト血液と皮下脂肪における PCB 濃度とガスクロマトグラム類似性

中川礼子, 飯田隆雄, 竹中重幸, 深町和美, 森彬, 高橋克巳, 旭正一^{*85}: 福岡医学雑誌, 78(5), 309-313, 1987.

437 Mutagenicity of chlorine-substituted furanones and their inactivation by reaction with nucleophiles

Yasuhisa Ishiguro, Robert T. Lalonde^{*66}, Joseph Santodonato^{*66}, Carlton W. Dence^{*66}: Environ. Toxi. Chem., 6, 935-946, 1987.

438 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ法による水中臭素イオンの微量分析

崎崎幸範, 久富啓次, 松浦聰朗: 衛生化学, 33, 158-164, 1987.

439 Polychlorinated quaterphenyl congeners and polychlorinated biphenyl congeners in the blood and adipose tissue of "Yusho" patients and normal subjects

Shigeyuki Takenaka, Kazumi Fukamachi, Reiko Nakagawa, Takao Iida, Katsumi Takahashi: Chemosphere, 17(2), 319-330, 1988.

440 通気蒸留法/イオンクロマトグラフィーによる食品中の亜硫酸塩の定量

永瀬誠: 分析化学, 37(1), 30-34, 1988.

441 福岡県における水道水の水質

北森成治, 松家繁, 古賀けい子^{*44}: 用水と廃水, 30(3), 215-221, 1988.

442 地域別の食物繊維および脂質摂取量と大腸がん死亡率との関連

森田邦正: 九州薬学会会報, 42, 239-245, 1988.

443 福岡県における最近のエンテロウイルス分離の動向と今後の予測

千々和勝己, 梶原淳睦, 多田俊助^{*44}, 福吉成典, 高橋克巳: 臨床とウイルス, 16, 514-518, 1988.

444 電子捕獲型検出器を用いるガスクロマトグラフィーによる環境水及び工場排水中の o-, m-及び p-アミノフェノールの定量

大崎靖彦, 松枝隆彦: 分析化学, 37, 253-258, 1988.

445 血中 PCB パターンが BC タイプを示す症例についての考察

中川礼子, 飯田隆雄, 竹中重幸, 深町和美, 高橋克巳, 旭正一^{*107}: 食品衛生学雑誌, 29, 385-389, 1988.

446 微生物による水環境の評価方法に関する研究 一汚濁指標細菌の生理学的特徴及び薬剤耐性試験について一

高田智, 徳永隆司, 後藤義輝, 小河章: 昭和62年度環境保全研究成果集(II), 102-32-102-34, 1988; Environmental Research in Japan, 1987, 219-220, 1988.

447 飲料水中の化学物質の迅速分析法

松枝隆彦, 黒川陽一, 大崎靖彦: 水処理技術, 29, 299-307, 1988.

448 ランドサット MMS データ植生解析への応用 — 福岡県北西部の例 —
奥田敏統, 中根周歩^{*82}: 日本生態学会誌, 38, 85-97, 1988.

449 ユスリカ(双翅目, ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 — 河川におけるユスリカ幼虫の分布と一般大型底生動物の分布と対応 —
山本英穂, 山崎正敏, 杉泰昭: 昭和62年度環境保全研究成果集(Ⅱ), 102-27-102-29, 1988; Environmental Research in Japan, 1987, 216-217, 1988.

450 ユスリカ(双翅目, ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 — サンプルング回数の検討 —
杉泰昭, 山崎正敏, 山本英穂: 昭和62年度環境保全研究成果集(Ⅱ), 102-30-102-31, 1988; Environmental Research in Japan, 1987, 218, 1988.

451 陰イオン界面活性剤がオオカナダモの光合成及び呼吸能に与える影響
徳永隆司: 水草研究会会報, 10周年記念号, 52-55, 1988.

452 ポリ塩化クアテルフェニルのキャピラリーガスクロマトグラフによる定量
飯田隆雄, 竹中重幸, 中川礼子, 深町和美, 高橋克巳: 分析化学, 37, 230-235, 1988.

453 Mutagenicity in Chinese-hamster V79 cells and induction of micronuclei in mice by nitrated fluoranthenes
Hiroshi Tokiwa, Kazumi Horikawa, Hirohisa Omura^{*85}, Yukiaki Kuroda^{*91}: Exp. Oncol. (Life Science Adv.), 7, 33-37, 1988.

454 Mutagenic potency of chlorofuranones and related compounds in Salmonella
Yasuhisa Ishiguro, J. Santodonato^{*66}, M. W. Neal^{*66}: Environmental and Molecular Mutagenesis, 11, 225-234, 1988.

459 メッシュ区分法による福岡県筑豊地域のがん死亡解析
片岡恭一郎, 大久保彰人, 篠原志郎: 厚生指標, 36(1), 22-31, 1989.

460 福岡県におけるウイルス性下痢症と small round

virus(SRV)

大津隆一, 大久保彰人, 福吉成典, 高橋克巳: 病原微生物検出情報, 10, 50, 1989.

461 Determination of methyl yellow, sudan I and sudan II in water by high-performance liquid chromatography
Makoto Nagase, Yasuhiko Osaki, Takahiko Matueda: Journal of Chromatography, 465, 434-437, 1989.

462 Identification of mutagens in Japanese pickles
Shigeyuki Takenaka, Nobuyuki Sera, Hiroshi Tokiwa, Itsuyo Hirohata^{*110}, Tomio Hirohata^{*85}: Mutation Research, 223, 35-40, 1989.

463 Binding of PCBs, PCDFs and PCDDs to rice bran fiber
Shigeyuki Takenaka, Kunimasa Morita, Hironori Hirakawa, Hiroshi Tokiwa, Katsumi Takahashi: 衛生化学, 35, 33, 1989.

464 メラミン樹脂製食品からのホルムアルデヒドの溶出
檜崎幸範, 平川博仙, 大津隆一, 深町和美: 食品衛生学雑誌, 30, 59-68, 1989.

465 力丸ダム湖の富栄養化(Ⅰ) — 植物プランクトンの季節消長 —
村田敦子, 永淵修: 全国公害研会誌, 14, 12-16, 1989.

466 TW41型ウェルシュ菌食中毒
堀川和美, 世良暢之, 小河章, 常盤寛: 食品衛生研究, 39(9), 66-71, 1989.

467 微生物による水環境の評価方法に関する研究 — 生化学的性状試験及び新しい細菌の分類法による汚濁指標細菌の検索 —
高田智, 徳永隆司, 後藤義輝, 小河章: 昭和63年度環境保全研究成果集(Ⅱ), 96-23-96-25, 1990; Environmental Research in Japan, 1988, 215-217, 1989.

468 福岡県为非細菌性急性胃腸炎患者から検出された Small Round Virus
大津隆一, 福吉成典, 高橋克巳: 感染症学雑誌, 63(8), 816-821, 1989.

469 福岡県におけるエコー11型ウイルスの流行状況
(1989年4月－8月)

梶原淳睦, 千々和勝己, 福吉成典, 高橋克巳: 病原微生物検出情報, 10, 204-205, 1989.

470 Conversion of arsenite and arsenate to methylarsenic and dimethylarsenic compounds by homogenates prepared from livers and kidneys of rats and mice

Miyuki Hirata^{*85}, Takami Mohri, Akira Hisanaga^{*85}, Noburu Ishinishi^{*85}: Applied Organometallic Chemistry, 3, 335-341, 1989.

471 Determination of sudan III, sudan IV and sudan red 7B in water by high performance liquid chromatography after mixing extraction

Makoto Nagase, Takahiko Matsueda, Yasuhiko Osaki: Analytical sciences, 5, 157-160, 1989.

472 全国油症患者追跡検診の情報処理システムと昭和61年度検診結果について

片岡恭一郎, 大久保彰人, 篠原志郎, 廣田良夫^{*85}, 廣畑富雄^{*85}: 福岡医学雑誌, 80(5), 331-341, 1989.

473 走査－分析型電子顕微鏡を用いた発生源粉じんの指標化および環境粉じん評価の試み－

下原孝章, 宇都宮彬, 岩本眞二: 大気汚染学会誌, 24(2), 100-111, 1989.

474 判別関数値を用いる血中 PCB パターン解析

中川礼子, 篠原志郎, 飯田隆雄, 竹中重幸, 深町和美, 高橋克巳: 福岡医学雑誌, 80(5), 287-290, 1989.

475 大量通気－検知管法による悪臭試料中アンモニアの簡易測定法－

柳川正男, 大崎真紗子, 池浦太荘, 黒川陽一, 武藤博昭: 大気汚染学会誌, 24(4), 290-297, 1989.

476 油症患者及び健常者の皮下脂肪組織中の Polychlorinated dibenzofurans (PCDFs)

飯田隆雄, 中川礼子, 竹中重幸, 深町和美, 高橋克巳: 福岡医学雑誌, 80(5), 296-301, 1989.

477 蛍光光度法による大気中オゾン濃度測定

池浦太荘: 大気汚染学会誌, 24(2), 160-162, 1989.

478 油症患者及び健常者の皮下脂肪組織中の

Polychlorinated dibenzo-p-dioxins (PCDDs)

飯田隆雄, 中川礼子, 深町和美, 高橋克巳: 福岡医学雑誌, 80(5), 302-306, 1989.

479 環境水に関する変異原性の評価－機械すきと紙製造工場排水の影響－

北森成治, 中村又善, 松尾宏: 用水と廃水, 31(11), 992-997, 1989.

480 みかん缶詰工場排水中のトリハロメタン前駆物質の検討

永淵義孝, 松尾宏, 中村又善, 三成滋夫^{*44}, 近藤紘之: 水道協会雑誌, 58(8), 2-8, 1989.

481 環境水及び事業場排水中の有機ハロゲン化合物
中村又善, 北森成治, 石黒靖尚, 松尾宏, 大野健治, 近藤紘之: 全国公害研会誌, 14(1), 25-30, 1989.

482 生活雑排水処理施設の機能

永淵義孝, 中村又善, 松尾宏, 三成滋夫^{*44}, 近藤紘之, 小河章: 全国公害研会誌, 14(2), 33-39, 1989.

483 環境水中全有機ハロゲン化合物の分析法に関する二, 三の検討

石黒靖尚, 中村又善, 北森成治, 大野健治, 松尾宏, 近藤紘之: 水道協会雑誌, 58(7), 2-7, 1989.

484 食料品製造業排水のトリハロメタン生成能

永淵義孝, 松尾宏, 中村又善, 三成滋夫^{*44}, 近藤紘之, 松浦聰朗, 高橋克巳: 用水と廃水, 31(6), 32-38, 1989.

485 事業場排水中のトリハロメタン前駆物質の検討－みかん缶詰工場排水中のフラパノン類－

松尾宏, 永淵義孝, 中村又善, 三成滋夫^{*44}, 近藤紘之: 水質汚濁研究, 12(9), 582-588, 1989.

486 石英繊維濾紙を用いた水中の懸濁物質(SS), 強熱減量(IL), 懸濁態有機炭素(POC)および懸濁態有機窒素(PON)の連続測定

永淵修: 水処理技術, 30(5), 283-290, 1989.

487 力丸ダム湖の富栄養化－藻類量と COD の関係－
永淵修, 村田敦子: 水質汚濁研究, 12(11), 707-714, 1989.

488 蛍光検出器を用いる高速液体クロマトグラフィーによる環境水及び工場廃水中のアセトアルデヒド、アクロレイン、プロピオンアルデヒド及びクロトンアルデヒドの定量

大崎靖彦，永瀬誠，松枝隆彦：分析化学，38(5)，239-244，1989.

489 河川水中蛍光増白剤の迅速分析法及び県下主要河川水中濃度について

黒川陽一：福岡県衛生公害センター年報，16，55-58，1989.

490 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討ーユスリカ幼虫群集による河川有機汚濁の評価ー

山本英穂，山崎正敏，杉泰昭：昭和63年度環境保全研究成果集(Ⅱ)，96-18ー96-21，1990；Environmental Research in Japan, 1988，211-212，1989.

491 水質判定のためのユスリカ幼虫サンプリングの基礎的研究ー方形枠最小面積の検討及び総括ー

杉泰昭，山崎正敏，山本英穂：昭和63年度環境保全研究成果集(Ⅱ)，96-21ー96-22，1990；Environmental Research in Japan，1988，213-214，1989.

492 分析電子顕微鏡による環境中のアスベストに関する研究 第1報ー商業地域についてー

高尾真一，田上四郎，櫻井利彦：大気汚染学会誌，24(3)，214-226，1989.

493 分析型電子顕微鏡による環境中のアスベストに関する研究 第2報ー幹線道路沿線地域についてー

高尾真一，櫻井利彦，田上四郎：公害と対策，25(15)，1513-1518，1989.

494 分析型電子顕微鏡による建材中の鉱物繊維の同定

田上四郎，櫻井利彦，高尾真一：公害と対策，25(10)，10-14，1989.

495 福岡県における環境大気中アスベスト濃度について

櫻井利彦，田上四郎，高尾真一：全国公害研会誌，14(3)，149-154，1989.

496 エコーウイルス18型感染症 北九州市1988年の15症例の臨床像

河野基子^{*176}，藤野時彦^{*176}，稲光信二^{*176}，梶原淳睦，植田浩司^{*85}：感染症学雑誌，64(1)，132-135，1990.

497 都市およびその周辺における浮遊じんの挙動

岩本眞二，宇都宮彬，大石興弘，下原孝章：大気汚染学会誌，25(2)，170-179，1990.

498 CMB 法による浮遊粒子状物質発生源寄与の推定と評価

岩本眞二：公害と対策，25(14)，1415-1420，1990.

499 Induction of nitroarenes in cigarette smoke condensate treated with nitrate

Nobuyuki Sera, Hiroshi Tokiwa , Tomio Hirohata^{*85}：Toxicology Letters，50，289-298，1990.

500 生物試料による今後の水質管理

近藤紘之：水質汚濁研究，13(1)，10，1990.

501 寿命損失年数からみた福岡県の死亡状況

片岡恭一郎，松本源生，篠原志郎：福岡県衛生公害センター年報，17，60-63，1990.

502 吹き付けアスベスト建材の除去等の対策工事におけるアスベスト環境濃度

田上四郎，櫻井利彦，高尾真一：福岡県衛生公害センター年報，17，81-87，1990.

503 Cancer and other causes of death among koreans in Fukuoka, Japan, 1976ー1986

Shiro Shinohara, Suminori Kono^{*114}, Yoon-Ok Ahn^{*61}, Takao Shigematsu^{*104}：Japanese Journal of Cancer Research，81，866-870，1990.

504 福岡県の非細菌性集団急性胃腸炎患者より検出されたC群ロタウイルス

大津隆一，石橋哲也，福吉成典，高橋克巳：感染症学雑誌，64(9)，1244-1246，1990.

505 The role of nitroarenes in the mutagenicity of airborne particulates indoors and outdoors

Hiroshi Tokiwa, Nobuyuki Sera, Mamiko Kai, Kazumi Horikawa, Yoshinari Ohnishi^{*84}：Genetic Toxicology of Complex Mixtures Plenum Press, New York，165-170，1990.

506 福岡県におけるエンテロウイルス71型による手足口病の流行
梶原淳睦，松本源生：病原微生物検出情報，11，161，1990.

507 福岡県における感染性疾患からのウイルス分離成績(1989年)
梶原淳睦，石橋哲也，千々和勝己，福吉成典，高橋克巳：福岡県衛生公害センター年報，17，56-59，1990.

508 高感度オゾン簡易測定器 — オゾン簡易測定器の開発とその実測例 —
池浦太荘：環境技術，19(4)，20-25，1990.

509 九州地区におけるエコーウイルス18型の流行
飯塚眞^{*167}，熊正昭^{*167}，梶原淳睦，福吉成典，船津丸貞幸^{*166}，福岡逸朗^{*166}，中島龍一^{*168}，甲木和子^{*168}，小野哲郎^{*169}，永田告治^{*171}，平川浩資^{*171}，下原悦子^{*174}，杉島伸祿^{*174}：臨床とウイルス，18(2)，254-258，1990.

510 再生油，廃油及び石炭中の硫黄分定量法の検討
池浦太荘：福岡県衛生公害センター年報，17，72-75，1990.

511 Arsenic intake and excretion by Japanese adults — 7-day duplicate diet study —
Takami Mohri, Akira Hisanaga^{*85}，Noburu Ishinishi^{*85}：Food and Chemical Toxicology，28(7)，521-529，1990.

512 事業場排水水から揮散する悪臭物質
柳川正男，近藤紘之，大崎真紗子，武藤博昭：全国公害研会誌，15(2)，44-50，1990.

513 周防灘西部海域堆積物中多環芳香族炭化水素の分布
永淵修，黒川陽一，桜木建治，松尾宏，徳永隆司，永淵義孝，岸川昭夫^{*44}，杉原真司^{*85}：水質汚濁研究，13(6)，367-373，1990.

514 Carcinogenicity of dinitroarenes in rat lung
Hiroshi Tokiwa, Kazumi Horikawa, Nobuyuki Sera, Keisuke Izumi^{*84}，Masanori Iwagawa^{*84}，Hisashi Otsuka^{*84}，Yoshinari Ohnishi^{*84}，Akio Nakashima^{*176}，Koichi Nakashima^{*69}：Nitroarenes, Plenum Press, New York，29-37，1990.

515 ゴルフ場の農業による水質汚染調査(Ⅰ)
石黒靖尚，大野健治，北森成治：全国公害研会誌，15(4)，145-148，1990.

516 タバコ煙からのホルムアルデヒド生成と室内汚染
檜崎幸範：福岡県衛生公害センター年報，17，64-66，1990.

517 公共用水域における開放系使用化学物質の動態及び安全性等に関する研究
高橋克巳，近藤紘之，北森成治，石黒靖尚，大野健治，鳥羽峰樹：平成元年度環境保全研究成果集(Ⅰ)，19-1-9-22，1990.

518 事業場排水中のトリハロメタン前駆物質の検討 — 豆腐・油揚げ製造業排水中のイソフラボン類 —
松尾宏，永淵義孝，中村又善：用水と廃水，32(5)，399-404，1990.

519 テトラクロロエチレンによる地下水汚染
鳥羽峰樹，北森成治，角敬之^{*44}，南里元木^{*44}，近藤紘之：福岡県衛生公害センター年報，17，76-80，1990.

520 Structure of an Anhydride related to a mutagenic component of drinking water, 3-Chloro-4-(dichloromethyl)-5-hydroxy-2(5H)-furanone
R.T.Lalonde^{*66}，Y.Ishiguro，J.Clardy^{*64}，L.Brinen^{*64}：Chem.Res.Toxicol.，3(5)，404-405，1990.

521 河川水中における芳香族ニトロ化合物の生分解性について
黒川陽一，松枝隆彦，大崎靖彦，小河章，高田智：福岡県衛生公害センター年報，17，67-71，1990.

522 Gas chromatographic determination of Diand Tributyltin compounds in seawater using simultaneous hydride-formation and extraction
Makoto Nagase：Analytical Sciences，6，851-855，1990.

523 大型底生動物による河川生態系評価手法の確立に関する研究
小川剛^{*149}，北野肇一^{*139}，藤沢明子^{*139}，小坂恵^{*139}，野崎隆夫^{*132}，石綿進一^{*132}，山本英穂，山崎正敏，杉泰昭，高田智：平成元年度環境保全成果集(Ⅱ)，97-1-97-7，1991；Environmental Research in Japan，1989，205-206，1990.

524 河川水中の従属栄養細菌の LAS に対する耐性及び分解性

徳永隆司, 大石興弘, 小河章, 高田智: 衛生化学, 36(4), 290-298, 1990.

525 環境騒音の実態と近隣騒音の意識調査 一久留米市善導寺地区の場合一

木本行雄, 八尋正幹, 田口憲^{*44}: 全国公害研会誌, 15(3), 119-124, 1990.

526 市街地を貫流する小河川の水生生物相

山崎正敏, 杉泰昭, 笹尾敦子, 緒方健, 須田隆一, 宮崎俊太郎^{*44}: 福岡県衛生公害センター年報, 17, 88-93, 1990.

527 Detection of 3,6-dinitrobenzo(a)pyrene in airborne particulates

Nobuyuki Sera, Mamiko Kai, Kazumi Horikawa, Kiyoshi Fukuhara^{*25}, Naoki, Miyata^{*25}, Hiroshi Tokiwa: Mutation Research, 263, 27-32, 1991.

528 福岡県都市部における土地被覆分類図の作成 一福岡県環境データバンクシステムにおける適用例一

大久保彰人, 安岡善文^{*30}, 奥田敏統^{*30}, 東公一^{*44}, 森賢三^{*176}: 日本リモートセンシング学会誌, 11(4), 77-81, 1991.

529 Pulmonary carcinogenicity of 3,9- and 3,7-dinitrofluoranthene, 3-nitrofluoranthene and benzo(a)pyrene in F344 rats

Kazumi Horikawa, Nobuyuki Sera, Takeshi Otofujii, Koichi Murakami, Hiroshi Tokiwa, Masanori Iwagawa^{*84}, Keisuke Izumi^{*84}, Hisashi Otsuka^{*84}: Carcinogenesis, 12, 1003-1007, 1991.

530 Application of secondary ion mass spectrometry (SIMS) for the analysis of asbestos fibers

H. Seyama^{*30}, Y. Soma^{*30}, M. Soma^{*30}, S. Takao, T. Sakurai, S. Tagami: Fresenius' Journal of Analytical Chemistry, 341, 619-624, 1991.

531 大気中のがん原物質

常盤寛: 大気汚染学会誌, 27(1), A8-A15, 1991.

532 高感度オゾン簡易測定器

池浦太荘, 溝口次夫^{*30}: 日本化学会誌, 6, 811-815,

1991.

533 大気中の変異原物質とその測定法

常盤寛: 大気汚染学会誌, 26(6), A111-A123, 1991.

534 大気汚染物質の簡易測定法とその評価

溝口次夫^{*30}, 松本光弘^{*150}, 池浦太荘: 大気汚染学会誌, 26(4), 191-203, 1991.

535 原子吸光法によるヨウ化物イオンの間接定量

松枝隆彦: 福岡県衛生公害センター年報, 18, 78-81, 1991.

536 油症患者の血中 PCB 濃度と自他覚症状の関連一全国油症患者追跡検診結果の比較研究一

廣田良夫^{*85}, 廣畑富雄^{*85}, 片岡恭一郎, 篠原志郎, 高橋克巳: 福岡医学雑誌, 82(5), 355-341, 1991.

537 小規模事業場の汚濁負荷一豆腐製造業一

永淵義孝, 中村又善, 松尾宏, 永淵修, 鳥羽峰樹, 角敬之^{*44}, 福永正俊^{*44}, 宮崎俊太郎^{*44}: 福岡県衛生公害センター年報, 18, 52-56, 1991.

538 油症患者及び対照者の皮下脂肪組織中の Coplanar PCBs, PCDFs 及び PCDDs

平川博仙, 松枝隆彦, 飯田隆雄, 深町和美, 高橋克巳, 長山淳哉^{*85}, 永田武明^{*85}: 福岡医学雑誌, 82(5), 274-279, 1991.

539 PCB 及びその関連化合物体内残留濃度の油症診断への適用に関する研究一

中川礼子, 高橋克巳: 福岡医学雑誌, 82(5), 280-294, 1991.

540 コレステラミン投与による油症原因物質の糞便中への排泄促進の試み

飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 中川礼子, 竹中重幸, 森田邦正, 檜崎幸範, 深町和美, 常盤寛, 高橋克巳, 吉村英敏^{*85}: 福岡医学雑誌, 82(5), 317-325, 1991.

541 周防灘西部海域海底堆積物中の多環芳香族炭化水素の起源の推定と評価

永淵修, 中村又善, 黒川陽一, 松尾宏, 桜木建治, 徳永隆司, 永淵義孝, 杉原真司^{*85}: 日本化学会誌, 6, 845-851, 1991.

542 力丸ダム湖の水質

永淵修, 笹尾敦子, 松尾宏, 中村又善, 永淵義孝: 福岡県衛生公害センター年報, 18, 57-62, 1991.

543 米ぬか繊維及びコレステラミン投与ラットにおける消化管内 PCBs の濃度推移

檜崎幸範, 森田邦正, 深町和美, 常盤寛, 高橋克巳: 福岡医学雑誌, 82(5), 305-309, 1991.

544 Enhancement of fecal excretion of polychlorinated biphenyls by the addition of rice bran fiber to the diet in rats

Shigeyuki Takenaka, Katsumi Takahashi: Chemosphere, 22, 375-381, 1991.

545 福岡県内のダム湖における修正 Carlson 指標の適用

永淵修: 福岡県衛生公害センター年報, 18, 63-68, 1991.

546 Effects of rice bran fibre and cholestyramine on the faecal excretion of Kanechlor600(PCB) in rats

Shigeyuki Takenaka, Kunimasa Morita, Hiroshi Tokiwa, Katsumi Takahashi: Xenobiotica, 21, 351-357, 1991.

547 米ぬかファイバーおよびコレステラミンを用いたラット糞便中への PCB 排泄促進

竹中重幸, 森田邦正, 高橋克巳: 福岡医学雑誌, 82(5), 310-316, 1991.

548 The Microbial Degradability of Aniline in River Water and Attempt to Use The Level of the Biodegradability as an Indicator of Water Pollution

Yasuhiko Osaki, Takahiko Matsueda, Makoto Nagase, Akira Ogo, Katsumi Takahashi: 衛生化学, 37(5), 411-417, 1991.

549 有機塩素系化合物の米ヌカ繊維への invitro 吸着について

森田邦正, 竹中重幸, 檜崎幸範, 深町和美, 常盤寛, 高橋克巳: 九州薬学会会報, 45, 31-35, 1991.

550 梅雨時における茶畑周辺の溜池帯の植物プランクトン相

笹尾敦子, 松尾宏, 重江伸也^{*44}: 福岡県衛生公害センター年報, 18, 82-86, 1991.

551 御笠川の細菌群集の薬剤耐性

馬場義輝, 徳永隆司, 高田智: 福岡県衛生公害センター年報, 18, 74-77, 1991.

552 大型底生動物による河川生態系評価手法調査について

山崎正敏: 生物指標ネットワーク, 6, 1-3, 1991.

553 公共用水域における開放系使用化学物質の動態及び安全性等に関する研究

高橋克巳, 近藤紘之, 北森成治, 石黒靖尚, 大野健治, 鳥羽峰樹, 田中義人: 平成2年度環境保全研究成果集(I), 9-1-9-19, 1991.

554 環境及び生物試料中のピリジン及びキノリンの分析法

大崎靖彦: 環境化学, 1(3), 529-534, 1991.

555 大型底生動物による河川生態系評価手法の確立に関する研究

北野肇一^{*139}, 藤沢明子^{*139}, 小坂恵^{*139}, 野崎隆夫^{*132}, 石綿進一^{*132}, 小川剛^{*149}, 山崎正敏, 杉泰昭, 緒方健, 高田智: 平成2年度環境保全成果集(II), 87-1-87-7, 1992; Environmental Research in Japan, 1990, 193-194, 1991.

556 水中からの低沸点有機塩素系化合物の除去

田中義人, 鳥羽峰樹, 近藤紘之: 福岡県衛生公害センター年報, 18, 69-73, 1991.

557 ヒトリンパ球の姉妹染色分体交換誘発性に対する有機塩素系化学物質の作用

長山淳哉^{*85}, 長山真弓^{*85}, 和田健一^{*85}, 飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 増田義人^{*103}: 福岡医学雑誌, 82(5), 221-227, 1991.

558 Influence of the microsomal inducer and the incubation system on mutagenicity of complex mixtures

Hiroshi Tokiwa, Kazumi Horikawa, Nobuyuki Sera: Mutation Research, 276, 139-144, 1992.

559 Correlation between heterotrophic bacterial populations and water quality variables in stream waters

Satoshi Takada, Akira Ogo, Okihito Oishi, Takashi Tokunaga: Eisei Kagaku, 38(1), 28-37, 1992.

560 芳香族炭化水素ニトロ誘導体の変異原性，発がん性とその危険度

常盤寛：大気汚染学会誌，27(2)，73-84，1992.

561 Results of the IPCS collaborative study on complex mixtures

L. D. Claxton^{*17}， J. Creason^{*17}， B. Leroux^{*1}， E. Agurell^{*62}， S. Bagley^{*65}， D. W. Bryant^{*55}， Y. A. Courtois^{*21}， G. Douglas^{*1}， C. B. Clare^{*176}， S. Goto^{*31}， H. Tokiwa， P. Quillardet^{*176}， D. R. Jagannath^{*18}， K. Kataoka^{*84}， G. Mohn^{*15}， P. A. Nielsen^{*12}， T. Ong^{*19}， T. C. Pederson^{*176}， H. Shimizu^{*93}， L. Nylund^{*13}， H. G. J. Vink^{*16}， Y. W. ang^{*20}， D. Warshawsky^{*67}： Mutation Research， 276， 23-32， 1992.

562 Collaborative study using the preincubation Salmonella typhimurium mutation assay for airborne particulate matter in Japan. A trial to minimize interlaboratory variation

Hidetsuru Matsushita^{*31}， Osamu Endo^{*31}， Sumio Goto^{*31}， Hidesuke Shimizu^{*93}， Hiroshi Matsumoto^{*116}， Katsumi Tamakawa^{*121}， Tatsuichi Endo^{*130}， Yoshio Sakabe^{*143}， Hiroshi Tokiwa， Mitsuru Ahdo^{*30}： Mutation Research， 271， 1-12， 1992.

563 茶畑を集水域とする溜池の酸性化現象について
松尾宏，笹尾敦子，重江伸也^{*44}，永淵修，桜木建治：
用水と廃水，34(2)，120-125，1992.

564 Various factors associated with the manifestation of influenza-like illness

Yoshio Hirota^{*85}， Setuko Takeshita^{*112}， Sabro Ide^{*85}， Kyoichiro Kataoka， Akito Ohkubo， Shigenori Fukuyoshi， Katumi Takahashi， Tomio Hirohata^{*85}， Masaro Kaji^{*102}： International Journal of Epidemiology， 21， 574-582， 1992.

565 喫煙に伴う室内空気中のダイオキシン及びダイベンゾフラン濃度の変化

松枝隆彦，黒川陽一，大崎靖彦，平川博仙，飯田隆雄：
環境化学，2(4)，791-799，1992.

566 清浄地域における浮遊粉じん濃度に及ぼす稲わら焼きと火山の影響—福岡県における事例解析—
岩本眞二，宇都宮彬，大石興弘，下原孝章，石橋龍吾：
大気汚染学会誌，27(3)，142-152，1992.

567 Hemicellulose in rice bran fibre reduces thymus atrophy in rats treated with bis(tri-n-butyltin) oxide

Shigeyuki Takenaka： Chemosphere， 25(3)， 327-334， 1992.

568 汎用コンピュータシステムを用いた公害常時監視システムの運用と効果

田辺敏久，大久保彰人，今村由貴子：全国公害研会誌，17(3)，147-153，1992.

569 福岡県における二酸化硫黄高濃度現象について
今村由貴子，宇都宮彬，大石興弘，岩本眞二，大久保彰人，田辺敏久，松浦聰朗：福岡県保健環境研究所年報，第19号，55-59，1992.

570 大気中変異原物質の汚染と評価

常盤寛：環境研究，87，24-31，1992.

571 大気降下物中のダイオキシン類

黒川陽一，松枝隆彦，大崎靖彦，柳川正男：環境化学，2(4)，849-855，1992.

572 1-and 3-Nitro -6-azabenz(a)pyrenes and their N-oxides: Highly mutagenic nitrated azaarenes

Kiyosi Fukuhara^{*25}， Atsushi Miyata^{*25}， Nobuyuki Sera， Hiroshi Tokiwa， Naoki Miyata^{*25}： American Chemical Society， 5， 149-153， 1992.

573 道路近傍の大気環境に及ぼす自動車の寄与

濱村研吾，下原孝章，大石興弘，宇都宮彬，石橋龍吾：
福岡県保健環境研究所年報，第19号，64-68，1992.

574 Mutagenicity of nitro-azabenz(a)pyrene and its related compounds

Nobuyuki Sera， Kiyoshi Fukuhara^{*25}， Naoki Miyata^{*25}， Kazumi Horikawa， Hiroshi Tokiwa： Mutation Research， 280， 81-85， 1992.

575 福岡県における降水成分の季節変動

大石興弘，宇都宮彬，石橋龍吾：福岡県保健環境研究所年報，第19号，69-73，1992.

576 福岡県における百日咳菌の分離，血清型別及び薬剤感受性

堀川和美，石橋哲也，世良暢之，村上光一，小河章，岡田賢司^{*85}，植田浩司^{*85}：福岡県保健環境研究所年報，第19号，60-63，1992.

577 乾性降下物の特性と環境に及ぼす影響について
下原孝章：PPM, 23(7), 37-43, 1992.

578 コイの筋肉及び胆嚢中におけるジプリノールサルフェート及び胆汁酸類のキャピラリーガスクロマトグラフィーによる定量
田中義人, 毛利隆美, 深町和美, 高橋克巳, 安元健^{*71} : 食品衛生学雑誌, 33(2), 176-182, 1992.

579 土壤中のダイオキシン類の濃度レベル
大崎靖彦, 松枝隆彦, 黒川陽一：環境化学, 2(3), 523-531, 1992.

580 農薬の水環境における分解に及ぼす物理化学的・生物学的因子の影響
北森成治, 石黒靖尚, 大野健治, 鳥羽峰樹, 田中義人, 近藤紘之：用水と廃水, 34(6), 477-484, 1992.

581 福岡県におけるつつがむし病－疫学調査と患者発生状況－
福吉成典, 山崎正敏：福岡県獣医師会報, 20(1), 120-124, 1992.

582 九州北東部河川での水中細菌の有機汚濁指標性
徳永隆司, 大石興弘, 馬場義輝, 高田智：水環境学会誌, 15(5), 327-335, 1992.

583 Levels of polychlorinated biphenyls and polychlorinated dibenzofurans in the blood, subcutaneous adipose tissue and stool of Yusho patients and normal subjects

Takao Iida, Hironori Hirakawa, Takahiro Matsueda, Reiko Nakagawa, Shigeyuki Takenaka, Kunimasa Morita, Yukinori Narazaki, Kazumi Fukamachi, Katsumi Takahashi : Toxicological and Environmental Chemistry, 35, 17-24, 1992.

584 コイの水溶性中毒成分としてのシプリノールについて
毛利隆美, 田中義人, 深町和美, 堀川和美, 高橋克巳, 稲田義和^{*44}, 安元健^{*71} : 日本食品衛生学会誌, 33(2), 133-143, 1992.

585 住宅団地合併浄化槽におけるトリハロメタン生成能の実態
永淵義孝, 松尾宏, 中村又善, 永淵修, 近藤紘之：福

岡県保健環境研究所年報, 第19号, 74-78, 1992.

586 公共用水域における開放系使用化学物質の動態及び安全性等に関する研究
常盤寛, 近藤紘之, 石黒靖尚, 中川礼子, 大野健治, 鳥羽峰樹, 田中義人：平成3年度環境保全成果集(I), 12-1-12-30, 1992.

587 生活騒音と住宅生活騒音対策モデル事業
木本行雄：公衆衛生, 56(5), 330-334, 1992.

588 蛇紋岩地域における環境大気中の石綿濃度について
櫻井利彦, 田上四郎, 中村又善, 北森成治, 高尾真一：福岡県保健環境研究所年報, 第19号, 79-84, 1992.

589 分析電子顕微鏡によるアスベスト繊維の定量分析における X 線の吸収効果
高尾真一, 櫻井利彦, 中村又善：日本化学会誌, 12, 1470-1478, 1992.

590 福岡県下の河川における大型底生動物相
緒方健, 山崎正敏, 杉泰昭：福岡県保健環境研究所年報, 第19号, 90-96, 1992.

591 宝満山（福岡県）モミ自然林の衰退に関する調査
須田隆一, 宇都宮彬, 大石興弘, 濱村研吾, 石橋龍吾, 杉泰昭, 山崎正敏, 緒方健, 溝口次夫^{*31}, 清水英幸^{*30} : 環境と測定技術, 19(5), 49-58, 1992.

592 福岡県の山地部5地域における森林枯損状況
須田隆一, 笹尾敦子, 杉泰昭, 重江伸也^{*44}, 松木孝史^{*44}, 小路清勝^{*44} : 福岡県保健環境研究所年報, 第19号, 85-89, 1992.

593 宝満山（福岡県）におけるモミ枯損の現況
須田隆一, 杉泰昭, 宇都宮彬, 大石興弘, 濱村研吾 : 資源環境対策, 28, 1344-1348, 1992.

594 大型底生動物による河川生態系評価手法の確立に関する研究
山崎正敏, 杉泰昭, 緒方健, 高田智, 野崎隆夫^{*132}, 石綿進一^{*132}, 北野肇一^{*139}, 藤沢明子^{*139}, 小坂恵^{*139}, 小川剛^{*149} : 平成3年度環境保全成果集(II), 84-1-84-10, 1993 ; Environmental Research in Japan, 1991, 190-192, 1992.

595 Rice bran hemicellulose increases the peripheral blood lymphocytes in rats

Shigeyuki Takenaka, Yasuto Itoyama^{*71}: Life Sciences, 52(1), 9-12, 1993.

596 Chromosomal aberrations induced in vivo by 3,7- and 3,9- dinitrofluoranthene

Atsuko Matsuoka^{*25}, Kazumi Horikawa, Naomi Yamasaki^{*25}, Nobuyuki Sera, Toshio Sofuni^{*25}, Hiroshi Tokiwa: Mutation Research, 298, 255-259, 1993.

597 九州北部における SO₂ の高濃度現象と気象
大石興弘, 今村由貴子, 宇都宮彬, 石橋龍吾: 全国公害研究会誌, 18(1), 2-7, 1993.

598 行橋市における硫黄酸化物汚染の調査
池浦太莊: 大気汚染学会誌, 28(2), 114-123, 1993.

599 Association between blood polychlorinated biphenyl concentration and serum triglyceride level in chronic "Yusho" (polychlorinated biphenyl poisoning) patients
Yoshio Hirota^{*85}, Kyoichiro Kataoka, Shoji Tokunaga^{*85}, Tomio Hirohata^{*85}, Shiro Shihohara, Hiroshi Tokiwa: International Archives of Occupational Environmental Health, 65, 221-225, 1993.

600 浮遊粒子状物質と気象
岩本眞二: 気象利用研究, 6, 4-7, 1993.

601 Toxic evaluation of PCDDs, PCDFs and coplanar PCBs in breast-fed babies of Yusho and healthy mothers
Takahiko Matsueda, Takao Iida, Hironori Hirakawa, Kazumi Fukamachi, Hiroshi Tokiwa, Jyunya Nagayama^{*85}: Chemosphere, 27(1-3), 187-194, 1993.

602 地下水質管理システムの構築
岩本眞二, 鳥羽峰樹, 高橋洋子^{*44}: 全国公害研究会誌, 18(3), 135-140, 1993.

603 浮遊粒子状物質の高濃度における気象要因との関係 —福岡県内3都市の比較から—
岩本眞二, 下原孝章: 大気汚染学会誌, 28(6), 330-340, 1993.

604 油症患者及び対照者の母乳中の PCDDs, PCDFs 及び coplanar PCBs 濃度の比較

松枝隆彦, 飯田隆雄, 平川博仙, 深町和美, 常盤寛, 長山淳哉^{*85}: 福岡医学雑誌, 84(5), 263-272, 1993.

605 Genetic toxicology and carcinogenicity of mono- and dinitrofluoranthenes

Hiroshi Tokiwa, Kazumi Horikawa, Yoshinari Ohnishi^{*84}: Mutation Research, 297, 181-195, 1993.

606 Carcinogenicity of dinitrobenzo(a) pyrenes and dinitrofluoranthenes in F344 rats

Kazumi Horikawa, Nobuyuki Sera, Kohichi Murakami, Takeshi Otofujii, Hiroshi Tokiwa, Keisuke Izumi^{*84}, Hisashi Otsuka^{*84}: Recent Advances of chemistry and Molecular Biology in Cancer Research, 319-325, 1993.

607 大気中の火山噴出成分の動態と沈着評価(1) —薄膜法による火山噴出成分の沈着評価—
下原孝章, 大石興弘, 右田譲^{*172}, 宝来俊一^{*172}: 大気汚染学会誌, 28(5), 295-307, 1993.

608 山岳地域自然林の土壌特性と酸性降下物
宇都宮彬, 大石興弘, 浜村研吾, 須田隆一, 石橋龍吾, 溝口次夫^{*31}: 大気汚染学会誌, 28(3), 159-167, 1993.

609 福岡県における大気降下物の地域特性
大石興弘, 吉開勝也^{*44}, 肥山俊一朗^{*44}, 中村哲郎^{*44}, 野村博^{*44}, 西国巧宏^{*44}: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 58-64, 1993.

610 地域における HIV 疫学調査 本邦における各地域の状況: 福岡
千々和勝己, 福吉成典: 臨床とウイルス, 21(5), 313-315, 1993.

611 The presence of mutagen/carcinogen in the excised lung and analysis of lung cancer induction
Hiroshi Tokiwa^{*101}, Nobuyuki Sera, Kazumi Horikawa, Yoichi Nakanishi^{*101}, Nobuaki Shigematsu^{*85}: Carcinogenesis, 14, 1933-1938, 1993.

612 福岡県において1982年—1991年の10年間に手足口病、ヘルパンギーナ、不明発疹症から分離されたウイルスの血清型別
梶原淳睦, 石橋哲也, 松本源生, 福吉成典: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 53-57, 1993.

613 河川水におけるトリハロメタン生成能の予測指標
永淵義孝, 松尾宏: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 65-69, 1993.

614 急速に富栄養化が進行したダム湖の水質
松尾宏, 笹尾敦子, 大久保彰人: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 70-75, 1993.

615 樹水中の溶解成分による大気環境評価の試み
永淵修, 田上四郎, 石橋哲也, 村上光一, 須田隆一: 地球化学, 27(2), 65-72, 1993.

616 長距離移流物質による大気汚染の解析 — 樹水に含まれる酸性物質の起源 —
永淵修, 須田隆一, 石橋哲也, 村上光一, 下原孝章: 日本化学会誌, 6, 788-791, 1993.

617 ラットにおける食物繊維の PCDF 及び PCDD 排泄促進効果
森田邦正, 平川博仙, 松枝隆彦, 飯田隆雄, 常盤寛^{*101}: 福岡医学雑誌, 84(5), 273-281, 1993.

618 油症患者における米ぬか繊維とコレステラミンの併用投与による Polychlorinated Dibenzofuran (PCDF) の糞便中への排泄促進の試み
飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 中川礼子, 森田邦正, 常盤寛: 福岡医学雑誌, 84(5), 85-90, 1993.

619 農薬の塩素処理によるクロロホルム生成と農薬の分解特性について
中川礼子, 石黒靖尚, 大野健治, 鳥羽峰樹, 田中義人, 近藤紘之: 水道協会雑誌, 62(10), 39-45, 1993.

620 Nitrates and Nitrites
Takami Mohri: Encyclopaedia of Food Science, Food Technology and Nutrition, Academic Press, London, 5, 3240-3244, 1993.

621 Levels of microcystins in Japanese lakes
Yoshito Tanaka, Shigeyuki Takenaka, Hiroshi Matsuo, Shigeji Kitamori, Hiroshi Tokiwa^{*101}: Toxicological and Environmental Chemistry, 39, 21-27, 1993.

622 Determination of tributyltin and triphenyltin compounds in fish by gas chromatography with flame photometric detection

Makoto Nagase, Kiyoshi Hasebe^{*70}: Analytical Sciences, 9, 517-522, 1993.

623 利水過程における農薬等化学物質の動態及び分解生成物に関する研究
近藤紘之, 石黒靖尚, 大野健治, 永瀬誠, 鳥羽峰樹: 平成4年度環境保全研究成果集(Ⅰ), 21-2-21-25, 1993.

624 福岡県下の河川における大型底生動物相 — 1. 岩岳川 —
杉泰昭, 緒方健, 山崎正敏: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 82-90, 1993.

625 福岡県下の河川における大型底生動物相 — 2. 彦山川・中元寺川 —
山崎正敏, 緒方健, 杉泰昭: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 91-102, 1993.

626 福岡県下の河川における大型底生動物相 — 3. 大牟田川・堂面川・釣川 —
緒方健, 杉泰昭, 山崎正敏: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 103-110, 1993.

627 富栄養化が進行したダム湖における植物プランクトンの季節消長
笹尾敦子, 松尾宏: 福岡県保健環境研究所年報, 第20号, 76-81, 1993.

628 大気中のコプラナー PCB の濃度と特性
黒川陽一, 松枝隆彦, 大崎靖彦, 中村又善, 高田智, 深町和美: 環境化学, 4(1), 29-38, 1994.

629 福岡県地理環境情報システムの機能と衛生リモートセンシング情報の活用
大久保彰人, 東公一^{*44}, 前浜三四郎^{*176}, 安岡善文^{*30}: GIS — 理論と応用 —, 2, 151-157, 1994.

630 GC/MS による環境試料中のネライストキシン及びピオシクロラムの定量
松枝隆彦, 高田智, 中村又善, 黒川陽一, 久富啓次, 深町和美: 環境化学, 4(1), 19-27, 1994.

631 行政検査における遺伝子診断法の導入
堀川和美: 福岡県獣医師会報, 第22号, 10-13, 1994.

632 簡易気体暴露法による揮発性化合物の変異原性
検出の試み—テトラクロロエチレンを用いて—
村上光一, 鳥羽峰樹, 松枝隆彦, 世良暢之, 堀川和美
：水環境学会誌, 17, 197-202, 1994.

633 行橋市における降下ばいじんの調査
池浦太莊：大気汚染学会誌, 29(1), 32-40, 1994.

634 Detection of nitro-azabenz(a)pyrene derivatives in
the semivolatile phase originating from airborne
particulate matter, diesel and gasoline vehicles
Nobuyuki Sera, Kiyoshi Fukuhara^{*25}, Naoki Miyata^{*25},
Hiroshi Tokiwa^{*101}：Mutagenesis, 9, 47-52, 1994.

635 Levels, features and a source of nonorthocoplanar
polychlorinated biphenyls in soil
Yasuhiko Ohsaki, Takahiko Matsueda：Chemosphere, 28,
47-56, 1994.

636 飲料水中の各種化学物質の健康影響評価 (III 農
薬) —健康に関する勧告集—
近藤紘之：日本水道協会, 518-561, 1994.

637 福岡県のテトラクロロエチレン等による地下水
汚染
鳥羽峰樹, 北森成治, 石黒靖尚, 近藤紘之：全国公害
研会誌, 19(1), 40-44, 1994.

638 生活騒音に関する住民意識調査 —一戸建て住
宅団地と集合住宅団地の比較—
木本行雄, 坂本靖^{*44}, 小野秀人^{*44}, 藤本信治^{*44}：全国
公害研会誌, 19(1), 50-54, 1994.

639 宝満山, 大山のモミ枯れ
須田隆一：酸性雨の科学と対策 (溝口次夫編, 日本環境
測定分析協会), 44-61, 1994.

640 福岡県における大気環境管理システムの構築
岩本眞二, 小村知子, 佐伯芳^{*176}：資源環境対策, 30
(8), 729-735, 1994.

641 Flavobacterium YAl as a pollution index bacterium
of Domestic waste in stream water
Satoshi Takada, Ryuichi Ohtsu, Akira Ogo, Yoshiteru
Baba, Takashi Tokunaga：Eisei Kagaku, 40, 422-432,
1994.

642 Mutagenic and carcinogenic significance and the
possible induction of lung cancer by nitroaromatic
hydrocarbons in particulate pollutants
Hiroshi Tokiwa^{*101}, Nobuyuki Sera, Akio Nakashima^{*101},
Koichi Nakashima^{*176}, Youichi Nakanishi^{*85}, Nobuaki
shigematu^{*85}：Environmental Health Perspectives, 102,
107-110, 1994.

643 非汚染地域山間部におけるオゾン濃度変化
宇都宮彬, 土井妙子^{*30}, 溝口次夫^{*31}：大気汚染学会誌,
29, 323-339, 1994.

644 宝満山自然林におけるモミ, ブナ, アカガシ林内雨
宇都宮彬, 大石興弘, 濱村研吾, 須田隆一：全国公害
研会誌, 19, 17-22, 1994.

645 Effects of highly toxic organochlorine compounds
retained in human body on induction of sister chromatid
exchanges in cultured human lymphocytes
Junya Nagayama^{*85}, Mayumi Nagayama^{*85}, Takao Iida,
Hironori Hirakawa, Takahiko Matsueda, Yoshito Masuda^{*103}
：Chemosphere, 29, 2349-2354, 1994.

646 水田におけるメタンフラックス
大石興弘, 濱村研吾, 宇都宮彬, 村野健太郎^{*30}, 坂東
博^{*91}：大気汚染学会誌, 29(3), 145-150, 1994.

647 九州北部地域における降雨・降雪の成分濃度及
び組成と気象との関係
大石興弘, 宇都宮彬：福岡県保健環境研究所年報, 第
21号, 56-61, 1994.

648 薬用植物栽培と品質評価 Part3
飯田修^{*25}, 池永敏彦^{*88}, 海老塚豊^{*73}, 岡田稔^{*176}, 香月
茂樹^{*25}, 川西史明^{*176}, 河原純一^{*38}, 川原信夫^{*25}, 神田
博史^{*82}, 小林淳一^{*70}, 坂井至道^{*141}, 坂本征則^{*43}, 佐竹
元吉^{*25}, 柴田俊郎^{*25}, 清水虎雄^{*37}, 城尚信^{*41}, 正山征洋^{*85},
鈴木正一^{*90}, 永井吉澄^{*176}, 西孝三郎^{*25}, 野口衛^{*25}, 秦
壽孝^{*42}, 畠山好雄^{*25}, 三好紀行^{*40}, 毛利隆美, 山下善
樹^{*42}, 吉崎正男^{*90}, 米田該典^{*78}：薬事日報社, 東京, 3,
1-59, 1994.

649 河川水中の尿素の分解に関する微生物学的検討
徳永隆司, 馬場義輝, 高田智：水環境学会誌, 17(10),
687-693, 1994.

650 テトラクロロエチレン分解菌の分離と諸特性
徳永隆司, 永淵義孝, 田上四郎, 世良暢之, 北森成治
：水環境学会誌, 17(10), 679-686, 1994.

651 木炭を利用した河川浄化
桜木建治, 篠原啓児^{*44}：福岡県保健環境研究所年報,
第21号, 62-65, 1994.

652 水道水及び排水中の3-chloro-4-(dichloromethyl)-
5-hydroxy-2(5H)-furanone(MX)の定量
石黒靖尚, 大野健治, 松枝隆彦：水道協会雑誌, 63
(5), 15-21, 1994.

653 河川環境からのフロック形成細菌の分離とその
性質
馬場義輝, 徳永隆司, 大津隆一, 高田智：日本水処理
生物学会誌, 30(1), 9-14, 1994.

654 生活排水対策による調理排水負荷の削減効果
馬場義輝, 桜木建治, 永淵義孝, 北森成治, 高橋洋子^{*44},
仙波佳宣^{*44}：福岡県保健環境研究所年報, 第21号, 66
-69, 1994.

655 ゴルフ場使用農薬の流出実態調査
大野健治, 石黒靖尚, 鳥羽峰樹, 田中義人, 北森成治
：福岡県保健環境研究所年報, 第21号, 70-75, 1994.

656 福岡都市圏における光化学反応シミュレーション
松本源生, 宇都宮彬：福岡県保健環境研究所年報, 第
21号, 76-81, 1994.

657 福岡県下の河川における大型底生動物相 —4.那
珂川・御笠川—
杉泰昭, 緒方健, 山崎正敏：福岡県保健環境研究所年
報, 第21号, 82-94, 1994.

658 福岡県下の河川における大型底生動物相 —5.祓
川・遠賀川—
山崎正敏, 緒方健, 杉泰昭：福岡県保健環境研究所年
報, 第21号, 95-107, 1994.

659 福岡県下の河川における大型底生動物相 —6.矢
部川—
緒方健, 杉泰昭, 山崎正敏：福岡県保健環境研究所年
報, 第21号, 109-116, 1994.

660 Mutagenic and carcinogenic significance and the
possible induction of lung cancer by nitro aromatic
hydrocarbons in particulate pollutants
Hiroshi Tokiwa^{*101}, Nobuyuki Sera, Akio Nakashima^{*101},
Kouichi Nakashima^{*101}, Yoichi Nakanishi^{*85}, Nobuaki
Shigematsu^{*85}：Environmental Health Perspectives, 102,
107-110, 1994.

661 Zoonosis サルモネラ
堀川和美：福岡県獣医師会報, 23, 82-86, 1995.

662 Moderate inhibition of mutagenicity and
carcinogenicity of benzo(a)pyrene, 1,6-dinitropyrene and 3,
9-dinitrofluoranthene by Chinese medicinal herbs
Kazumi Horikawa, Takami Mohri, Yoshito Tanaka,
Hiroshi Tokiwa^{*101}：Mutagenesis, 9, 523-526, 1995.

663 Decomposition of cyanobacterial microcystins by iron
(III)chloride
Shigeyuki Takenaka, Yoshito Tanaka：Chemosphere, 30,
1-8, 1995.

664 台湾 Yu-Cheng 患者における PCDDs, PCDFs 及び
CoplanarPCBs の血液中濃度及び糞便中排泄量
飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 中川礼子, 森田邦正,
濱村研吾, 中山樹一郎^{*85}, 堀嘉昭^{*85}, 郭育良^{*60}, 張峰
鳴^{*11}, 蕭博文^{*11}, 林克紹^{*11}, 余梅琳^{*60}, 賴徳仁^{*60}, 陳信
昭^{*60}, 徐澄清^{*60}：福岡医学雑誌, 86, 234-240, 1995.

665 Clinical trial of a combination of rice bran fiber and
cholestyramine for promotion of fecal excretion of
polychlorinated dibenzofurans and polychlorinated biphenyls
in Yu-Cheng patients
Takao Iida, Hironori Hirakawa, Takahiko Matsueda,
Kunimasa Morita, Kengo Hamamura, Reiko Nakagawa,
Juichiro Nakayama^{*85}, Yoshiaki Hori^{*85}, Yu-Liang Leon
Guo^{*60}, Fong-Ming Chang^{*11}, Pe-Wun Hsiao^{*11}, Ko-
Chow Lin^{*11}, Mei-Lin Yu^{*60}, Te-Jen Lai^{*60}, Shin-Jaw
Chen^{*60}, Chen-Ch：Fukuoka Acta Medica, 86, 22-233,
1995.

666 森林地域に沈着する二次生成粒子の化学形態評
価
下原孝章, 大石興弘, 村野健太郎^{*30}：大気環境学会誌,
30(3), 169-179, 1995.

667 食物繊維のPCB吸着作用— in vivoとin vitroの比較—

森田邦正, 濱村研吾, 飯田隆雄: 福岡医学雑誌, 86(5), 212-217, 1995.

668 PCDFの糞中排泄および肝臓分布に対する食物繊維の効果

森田邦正, 松枝隆彦, 飯田隆雄: 福岡医学雑誌, 86(5), 218-225, 1995.

669 Levels and source of non-ortho coplanar polychlorinated biphenyls, polychlorinated dibenzo-p-dioxins and polychlorinated dibenzofurans in pond sediments and paddy field soil

Yasuhiko Ohsaki, Takahiko Matsueda, Kenji Ohno: Water Research, 29, 1379-1385, 1995.

670 Levels of Coplanar PCBs, PCDDs and PCDFs in fly ashes and pond sediments

Y. Ohsaki, T. Matsueda, K. Ohno: Intern. J. Environ. Anal. Chem., 59, 25-32, 1995.

671 Runoff pattern of pesticides from paddy fields in the catchment area of Rikimaru reservoir, Japan

O. Nagafuchi, T. Inoue, S. Ebise: Water Science and Technology, 30(7), 137-144, 1995.

672 除草剤クロルニトロフェン(CNP)とその分解生成物の変異原性について

北森成治, 田中義人, 石黒靖尚, 近藤紘之: 産業衛生学雑誌, 37(2), 143-144, 1995.

673 Determination of tributyltin and triphenyltin compounds in hair and fish using hydrolysis technique and gas chromatography with flame photometric detection

Makoto Nagase, Hiroyuki Kondo, Kiyoshi Hasebe^{*70}: Analyst, 120, 517-522, 1995.

674 底生動物による河川環境評価の季節的変動

緒方健, 山崎正敏, 杉泰昭: 全国公害研会誌, 20(1), 17-20, 1995.

675 浮遊粒子状物質の汚染予測手法と動態に関する研究

岩本眞二: 環境研究, 99, 42-51, 1995.

676 福岡県における百日咳の流行: 分離状況およびMIC分布(1990-1993)

堀川和美, 岡田賢司^{*85}, 石橋哲也, 村上光一, 大淵典子^{*176}, 植田浩司^{*85}: 感染症学雑誌, 69, 878-883, 1995.

677 難分解性物質を分解する白色腐朽菌

高田智: 日本化学会エコケミストリー研究会ニュースレター, 16, 3-4, 1995.

678 Behavior of microcystins and its decomposition product in water treatment process

Shigeyuki Takenaka, Yoshito Tanaka: Chemosphere, 30, 1-8, 1995.

679 森林地域における強い腐食現象の出現とその誘発要因について

下原孝章: 環境管理, 24, 38-51, 1995.

680 行橋市における降下ばいじん水溶性成分の調査
池浦太荘: 大気環境学会誌, 30(5), 337-343, 1995.

681 The induction of micronuclei in mice hepatocytes and reticulocytes by tetrachloroethylene

Koichi Murakami, Kazumi Horikawa: Chemosphere, 31, 3733-3739, 1995.

682 都市近郊森林地域における酸性・酸化性物質のスギ林への影響

大石興弘, 宇都宮彬, 下原孝章, 久富啓次, 松浦聡朗: 福岡県保健環境研究所年報, 第22号, 59-66, 1995.

683 福岡県における降下物汚濁負荷量の変動特性

松尾宏, 桜木建治, 永淵修, 田上四郎, 永淵義孝, 佐々木重行^{*44}: 用水と廃水, 37(12), 965-970, 1995.

684 テトラクロロエチレン分解菌の分離と利用

徳永隆司: 地下水・土壌汚染の現状と対策, 環境技術研究協会, 大阪, 191-200, 1995.

685 九州・沖縄地方におけるインフルエンザ流行の経時的移行(1994年4月-1995年3月)

梶原淳睦, 石橋哲也, 濱崎光宏, 船津丸貞幸^{*166}, 上田竜生^{*167}, 西村浩一^{*168}, 小野哲郎^{*169}, 吉野修司^{*170}, 山本正悟^{*170}, 山之内成子^{*171}, 蔵本強^{*171}, 大野惇^{*173}, 徳村勝昌^{*173}, 中村悦子^{*174}, 仮屋園弘志^{*174}, 下原悦子^{*174}, 梶原一人^{*175}: 感染症学雑誌, 69(11), 1244-1250, 1995.

- 686** Analysis of Long-Range Transported Acid Aerosol in Rime Found at Kyushu Mountainous Regions, Japan
O. Nagafuchi, R. Suda, H. Mukai^{*30}, M. Koga^{*92}, Y. Kodama^{*107}: Water, Air and Soil Pollution, 85, 2351-2356, 1995.
- 687** Estimation of 1992-1993 dietary intake of organochlorine pesticides and organophosphorus pesticides in Fukuoka, Japan
Reiko Nakagawa, Hironori Hirakawa, Tsuguhide Hori: Journal of AOAC International, 78(4), 921-929, 1995.
- 688** 福岡県下の河川における大型底生動物相 -7. 紫川・竹馬川-
杉泰昭, 緒方健, 山崎正敏: 福岡県保健環境研究所年報, 第22号, 66-76, 1995.
- 689** 福岡県下の河川における大型底生動物相 -8. 雷山川-
山崎正敏, 緒方健, 杉泰昭: 福岡県保健環境研究所年報, 第22号, 77-86, 1995.
- 690** 福岡県下の河川における大型底生動物相-9. 犬鳴川・小石原川-
緒方健, 杉泰昭, 山崎正敏: 福岡県保健環境研究所年報, 第22号, 87-98, 1995.
- 691** Characteristics of dust-storm particles and the air long-range transport from China to Japan - case studies in April 1993-
M. Zhou^{*3}, K. Okada^{*26}, F. Qian, P.-M. Wu^{*26}, L. Su, B.E. Casareto^{*176}, T. Shimohara: Atmospheric Research, 40, 19-31, 1995.
- 692** Characterization of non-ortho coplanar PCBs, PCDDs and PCDFs in the atmosphere
Yoichi Kurokawa, Takahiko Matsueda, Matayoshi Nakamura, Satoshi Takada, Kazumi Fukamachi: Chemosphere, 32, 491-500, 1996.
- 693** Mutagenicity of nitrophenanthrene derivatives of Salmonella typhimurium: effects of nitroreductase and acetyltransferase
Nobuyuki Sera, Kiyoshi Fukuhara^{*25}, Naoki Miyata^{*25}, Hiroshi Tokiwa^{*101}: Mutation Research, 349, 137-144, 1996.
- 694** Evaluation of mutagenicity of complex mixture of nitroarenes using mouse micronuclei test
Koichi Murakami, Nobuyuki Sera, Kazumi Hotikawa: Toxicological and Environmental Chemistry, 54, 161-165, 1996.
- 695** SRSV 胃腸炎における RT-PCR 法と EM 法との比較検討
大津隆一: 病原微生物検出情報, 17, 25-26, 1996.
- 696** 福岡県県南地域の地下水中のヒ素の形態
石黒靖尚, 大野健治, 鳥羽峰樹, 永瀬誠, 近藤紘之: 水環境学会誌, 19(3), 243-246, 1996.
- 697** 河川の生物学的な水域環境基準の設定に関する研究 -全国公害研協議会環境生物部会共同研究成果報告-
山崎正敏, 野崎隆夫^{*132}, 藤澤明子^{*139}, 小川剛^{*149}: 全国公害研会誌, 21(3), 114-145, 1996.
- 698** Chapter8: Annual health examination of Yusho patients
Yosio Hirota^{*85}, Kyoichiro Kataoka, Tomio Hirohata^{*85}: Yusho, Fukuoka, Kyushu University Press, 247-266, 1996.
- 699** 土地利用図との比較による土地被覆の経年変化解析について -衛星データと地理情報との実用的利用-
大久保彰人, 安岡善文^{*30}: 日本リモートセンシング学会誌, 16(3), 65-76, 1996.
- 700** 細菌感染症の遺伝子診断と分子疫学
堀川和美: 福岡県医報, 1244, 40-41, 1996.
- 701** 看護婦予防衣の MRSA 汚染に関する研究
川野不二子^{*44}, 光田智寿子^{*44}, 井上恵子^{*44}, 佐藤ひろみ^{*44}, 堀江順子^{*44}, 都菊子^{*44}, 山下律子^{*44}, 堀川和美, 村上光一, 大津隆一: 看護技術, 42(12), 102-107, 1996.
- 702** Degradation of polychlorinated dibenzo-p-dioxins and polychlorinated dibenzofurans by the white rot fungus Phanerochaete sordida YK-624
Satoshi Takada, Matayoshi Nakamura, Takahiko Matsueda, Ryuichiro Kondo^{*85}, Kokki Sakai^{*85}: Appl. Environ. Microbiol., 62(12), 4323-4328, 1996.

703 X-GAI-MUG 法による水の大腸菌群検査法の有用性－MMO-MUG 法及び LB-BGLB 法との比較－
中山宏^{*44}，堀川和美，牛尾剛士^{*44}，松永建興^{*44}，矢入政俊^{*44}，竹中重幸，大津隆一：日本食品微生物学会誌，13(2)，63-67，1996.

704 高感度オゾン簡易捕集器の性能試験
池浦太莊，溝口次夫^{*98}：日本化学会誌，9，819-824，1996.

705 Microcystins in natural environment
Mariyo F.Watanabe^{*129}，Shigeyuki Takenaka，Ho-Dong Park^{*75}：Harmful and Toxic Algal Blooms，Intergovernmental Oceanographic Commission of UNESCO，553-554，1996.

706 Levels of coplanar PCBs in pond sediments and fly ashes and a source of coplanar PCBs in pond sediments
Yasuhiko Ohsaki，Takahiko Matsueda，Kenji Ohno：Intern.J.Environmental Studies，50，125-132，1996.

707 細菌を利用したテトラクロロエチレンの分解
世良暢之，徳永隆司，陶山明子^{*176}，古賀謙介^{*85}：資源環境対策，32(13)，1237-1242，1996.

708 九州・沖縄地域のエアロゾル濃度の変化と地域特性
宇都宮彬，宝来俊一^{*176}，山下敬則^{*176}，穴井功一^{*176}，森崎澄江^{*176}，今村修^{*176}，川井田哲郎^{*176}，金城義勝^{*176}，大和康博^{*176}，大石興弘，畠山史郎^{*30}，村野健太郎^{*30}：大気環境学会誌，31，132-140，1996.

709 市販ミネラルウォーターの生物由来異物実態調査
世良暢之，村上光一，竹中重幸，堀川和美，大津隆一，井手修^{*44}，国代準士^{*44}，佐野正紀^{*44}，玉井恒典^{*44}：福岡県保健環境研究所年報，第23号，56-58，1996.

710 Temperature and humidity dependence on aerosol composition in the Northern Kyushu, Japan
Utsunomiya Akira，Wakamatsu Shinji^{*30}：Atmospheric Environment，30，2379-2386，1996.

711 Seasonal Variation in Atmospheric Aerosols Concentration Covering Northern Kyushu, Japan and Seoul, Korea

Wakamatsu Shinji^{*30}，Utsunomiya Akira，Jin-Suk Han^{*14}，Mori Atsuko^{*167}，Uno Itsushi^{*30}：Atmospheric Environment，30，2343-2354，1996.

712 大気中発癌物質の肺内沈着と DNA 付加体解析
常盤寛^{*101}，世良暢之：呼吸，15(3)，306-313，1996.

713 福岡県におけるコクサッキーウイルス A16変異株による手足口病の流行
濱崎光宏，梶原淳睦，石橋哲也，千々和勝己，福吉成典：臨床とウイルス，24(5)，371-374，1996.

714 Biodegradation of herbicide chloronitrofen (CNP) and mutagenicity of its degradation products
Yoshito Tanaka，Hiroko Iwasaki，Shigeji Kitamori：Wat. Sci.Tech.，34(7-8)，15-20，1996.

715 Clinical experiments on accelerating the excretion of PCBs and PCDFs
飯田隆雄：Yusho (A Human Disaster Caused by PCBs and related Compounds)，283-307，1996.

716 福岡県内河川水中のイオン濃度
馬場義輝，中村融子：福岡県保健環境研究所年報，第23号，64-67，1996.

717 残留農薬分析におけるゲル浸透クロマトグラフィーの適用－非塩素系溶出液による予備的検討－
堀就英，中川礼子，飯田隆雄：福岡県保健環境研究所年報，第23号，59-63，1996.

718 Antimony in the aquatic environment in North Kyushu District of Japan
Yuko Nakamura，Takashi Tokunaga：Water Science and Technology，34(7-8)，133-136，1996.

719 9都道府県の河川における陰イオン系界面活性剤 (MBAS) の分布と高濃度出現特性
古武家善成^{*149}，天野耕二^{*99}，荻野泰夫^{*156}，五位邦宏^{*36}，桜木建治，高田秀重^{*74}：水環境学会誌，19(9)，732-740，1996.

720 誘導結合プラズマ (ICP) 発光分析法による工場排水中の金属類の実態把握
中村融子，松尾宏：福岡県保健環境研究所年報，第23号，68-73，1996.

721 テトラクロロエチレン分解菌による還元的脱塩素反応における有機物および排水の電子供与体としての利用

永淵義孝, 徳永隆司, 田上四郎, 世良暢之, 北森成治 : 用水と廃水, 38(12), 13-19, 1996.

722 除草剤クロルニトロフェン(CNP)の生物学的分解性とその分解生成物の変異原性に関する研究

北森成治 : 福岡医学雑誌, 87, 142-150, 1996.

723 天然放射性核種⁷Beの樹種間別放射能特性

檜崎幸範, 加留部善晴 : 九州薬学会会報, 50, 31-39, 1996.

724 福岡県下の河川における大型底生動物相 — 10. 室見川 —

杉泰昭, 緒方健, 山崎正敏 : 福岡県保健環境研究所年報, 第23号, 74-83, 1996.

725 福岡県下の河川における大型底生動物相 — 11. 筑後川・宝満川 —

山崎正敏, 緒方健, 杉泰昭 : 福岡県保健環境研究所年報, 第23号, 84-94, 1996.

726 大型底生動物による河川水域環境評価のための調査マニュアル(案)」の精度に関する検討

牧野和夫^{*30}, 山崎正敏, 石綿進一^{*132}, 野崎隆夫^{*132} : 全国公害研会誌, 21(3), 147-154, 1996.

727 福岡県下の河川における大型底生動物相 — 12. 割子川・穂波川 —

緒方健, 杉泰昭, 山崎正敏 : 福岡県保健環境研究所年報, 第23号, 95-105, 1996.

728 Mutagenicity of fullerene C₆₀ generated singlet oxygen dependent formation of lipid peroxidation

N. Sera, H. Tokiwa^{*101}, N. Miyata^{*25} : Carcinogenesis, 17(10), 2163-2169, 1996.

729 icrocystin LR degradation by *Pseudomonas aeruginosa* alkaline protease

Shigeyuki Takenaka, Mariyo F. Watanabe^{*129} : Chemosphere, 34, 749-757, 1997.

730 Acid deposition in the Kyushu-Okinawa region of Japan

Akira Utsunomiya, Okihito Oishi, Kentaro Murano^{*30} : Proceedings of the International Workshop on Unification of Monitoring Protocol of Acid Deposition and Standardization of Emission Inventory, 84-97, 1997.

731 β -drenoreceptor antagonistic actions and mutagenicities of r(+) and s(-)-enantiomers of

N-desisopropylpropranolol and its N-acetyl conjugate

Yoko Ono^{*85}, Hidetada Wu^{*85}, Atsuko Noda^{*85}, Koji Noda^{*107}, Futoshi Takeo^{*95}, Yoshihisa Nasa^{*95}, Yoko Sayama^{*95}, Michiko Imai^{*95}, Nobuyuki Sera : Biol. Pharm. Bull., 20(1), 61-65, 1997.

732 ラットにおける Polychlorinated Dibenzo-p-dioxins の糞中排泄に対するクロレラ、スピルリナ及びクロロフィリンの効果

森田邦正, 松枝隆彦, 飯田隆雄 : 衛生化学, 42-47, 1997.

733 ラットにおける Polychlorinated Dibenzo-p-dioxins の糞中排泄に対する食物繊維の効果

森田邦正, 松枝隆彦, 飯田隆雄 : 衛生化学, 35-41, 1997.

734 ゴルフ場農薬の土壌中における流出挙動

鳥羽峰樹, 石黒靖尚, 大野健治, 近藤紘之 : 環境化学, 7(1), 47-52, 1997.

735 ダイオキシンを分解する白色腐朽菌

高田智 : BIO INDUSTRY, 14(10), 5-12, 1997.

736 ベリリウム-7の樹種別捕捉特性

檜崎幸範, 加留部善晴^{*104} : 保健物理, 32, 25-31, 1997.

737 キノコがダイオキシンを分解する?

高田智 : 化学, 52(10), 24-25, 1997.

738 Vero 毒素産生性(腸管出血性)大腸菌 O157感染症の診断

諸岡達也^{*104}, 山口覚^{*104}, 堀川和美, 又野浩美^{*104}, 広田修^{*104}, 井上修一郎^{*104}, 田中美紀^{*104} : 感染症学雑誌, 71(9), 924-927, 1997.

739 福岡県における食中毒原因物質の推移について
堀川和美, 村上光一, 世良暢之, 竹中重幸, 大津隆一 : 福岡県保健環境研究所年報, 第24号, 52-56, 1997.

740 Possible role of indoor environment and coal combustion in lung carcinogenesis in Fuyuan County, China
Y. Nakanishi^{*85}, S. Chen^{*10}, S. Inutsuka^{*85}, Y. Ma^{*10}, X. Jiang^{*10}, N. Hara^{*85}, N. Sera, H. Tokiwa^{*101}: Neoplasma, 44(1), 69-72, 1997.

741 食品中のサルモネラ検出法の比較

村上光一, 世良暢之, 竹中重幸, 堀川和美, 大津隆一:
福岡県保健環境研究所年報, 第24号, 57-63, 1997.

742 学校給食を原因とする大規模サルモネラ食中毒事例

村上光一, 世良暢之, 竹中重幸, 堀川和美, 大津隆一, 福吉成典, 坂本慎二^{*44}, 石井修^{*44}, 藤野恒夫^{*44}, 古賀洋一^{*44}, 岩本治也^{*44}, 畑田一憲^{*44}, 梅崎誠治^{*44}, 末永勇^{*44}:
病原微生物検出情報, 18, 133-134, 1997.

743 1996年福岡県において分離されたアデノウイルス7型の遺伝子解析と住民の抗体調査

梶原淳睦, 濱崎光宏, 石橋哲也, 千々和勝己, 福吉成典, 森良一: 感染症学雑誌, 71(9), 895-898, 1997.

744 Antibody efficacy as a keen index to evaluate influenza vaccine effectiveness

Yoshio Hirota^{*85}, Masaro Kaji^{*102}, Saburo Ide^{*85}, Jumboku Kajiwarra, Kyoichiro Kataoka, Shuro Goto^{*176}, Tetsuya Oka^{*176}: Vaccine, 15(9), 962-967, 1997.

745 油症患者83名の血液中 PCDDs, PCDFs 及び Coplanar PCBs 濃度

飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 中川礼子: 福岡医学雑誌, 88(5), 169-17, 1997.

746 油症患者の皮脂及び血液中 PCDDs, PCDFs 及び Coplanar PCBs 濃度

飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 堀就英, 中尾知子^{*85}, 中山樹一郎^{*85}: 福岡医学雑誌, 88(5), 177-188, 1997.

747 セラミックサンドバスによるヒトの皮脂からの PCDDs, PCDFs 及び Coplanar PCBs の体外への排泄促進
飯田隆雄, 平川博仙, 松枝隆彦, 中村又善, 堀就英: 福岡医学雑誌, 88(5), 186-192, 1997.

748 ラットにおける PCB, PCDF 及び PCDD の消化管吸収に及ぼす抹茶の効果

森田邦正, 松枝隆彦, 飯田隆雄: 福岡医学雑誌, 88

(5), 162-168, 1997.

749 Evaluation of factors which increased corrosion around a mountain summit

Takaaki Shimohara, Kentaro Murano^{*30}: The Science of the Total Environment, 198, 287-298, 1997.

750 代理表面(溶液面)を用いた乾性沈着機構の研究
(1) 一乾, 湿面への乾性沈着量と揮散及び化学的変質の影響一

下原孝章, 大石興弘, 村野健太郎^{*30}, 植田洋匡^{*85}: 大気環境学会誌, 32, 253-266, 1997.

751 固定発生源からの温室効果ガスの排出

濱村研吾, 宇都宮彬, 大石興弘, 下原孝章, 久富啓次:
福岡県保健環境研究所年報, 第24号, 64-70, 1997.

752 東アジアスケールの長距離物質輸送・変質過程の数値解析

鶴野伊津志^{*30}, 大原利真^{*176}, 森淳子^{*167}, 宇都宮彬, 若松伸司^{*30}, 村野健太郎^{*30}: 大気汚染学会誌, 32(4), 267-285, 1997.

753 Distribution of Polychlorinated Dibenzo- p- dioxins, Polychlorinated Dibenzofurans and Nonortho Coplanar Polychlorinated Biphenyls in River and Offshore Sediments.
Yasuhiko Ohsaki, Takahiko Matsueda, Youichi Kurokawa:
Environmental Pollution, 96, 79-88, 1997.

754 ダム湖集水域における水田からの殺菌剤の流出量と流出特性

永淵修, 井上隆信^{*30}, 海老瀬潜一^{*106}, 浮田正夫^{*83}: 土木学会論文集, 566(VII-3), 49-60, 1997.

755 茶畑施肥に由来する硝酸性窒素と周辺表流水に及ぼす影響

井伊博行^{*79}, 平田健正^{*79}, 松尾宏, 田瀬則雄^{*72}, 西川雅高^{*30}: 水工学論文集, 41, 575-580, 1997.

756 Surface water chemistry, particularly concentrations of NO₃⁻ and DO and δ¹⁵N values, near a tea plantation in Kyushu, Japan

Hiroiyuki Ii^{*79}, Tatemasa Hirata^{*79}, Hiroshi Matsuo, Masataka Nishikawa^{*30}, Norio Tase^{*72}: Journal of Hydrology, 202, 341-352, 1997.

757 土壌地下水におけるテトラクロロエチレンの塩化ビニルおよびエチレン化

徳永隆司, 永淵義孝, 世良暢之, 田上四郎, 北森成治, 松藤康司^{*104}, 花嶋正孝^{*104}: 廃棄物学会誌, 8(4), 121-128, 1997.

758 Determination of organic components in leachates from hazardous waste disposal sites in Japan by gaschromatography-mass spectrometry

Akio Yasuhara^{*30}, Hiroaki Shiraishi^{*30}, Masataka Nishikawa^{*30}, Takashi Yamamoto^{*30}, Takashi Uehiro^{*30}, Osami Nakasugi^{*30}, Tameo Okumura^{*147}, Katashi Kenmotsu^{*156}, Hiroshi Fukui^{*132}, Makoto Nagase, Yusaku Ono^{*126}, Yasunori Kawagoshi^{*152}, Kenzo Baba^{*174}, Yukio Noma^{*157}: Journal of Chromatography A, 774, 321-332, 1997.

759 福岡県県南地域地下水のヒ素汚染の概況

近藤紘之: 水環境学会誌, 20(7), 438-442, 1997.

760 福岡県における全ベータ放射能調査(1965年度-1994年度)

檜崎幸範: 保健物理, 32(2), 193-197, 1997.

761 小規模ダム湖における植物プランクトンの消長及びアオコ発生の環境変化

笹尾敦子, 松尾宏: 福岡県保健環境研究所年報, 第24号, 71-76, 1997.

762 福岡県における都市域及びその周辺の照葉樹林の植物 1.河頭山

須田隆一, 笹尾敦子: 福岡県保健環境研究所年報, 第24号, 77-85, 1997.

763 腸管出血性大腸菌の試験検査法と地域モニタリングに関する研究

森良一: 食品衛生研究, 48(1), 43-46, 1998.

764 廃棄物関連試料のダイオキシン類の分析

松枝隆彦: 資源と素材, 113, 1039-1042, 1998.

765 福岡県における食中毒病因物質の変遷

堀川和美, 村上光一, 世良暢之, 竹中重幸, 大津隆一: 福岡県獣医師会報, 26, 55-61, 1998.

766 乾性沈着の評価法と沈着機構に関する研究

下原孝章: 大気環境学会誌, 33, 61-72, 1998.

767 ダム貯水池内に流入した水田散布農薬の濃度鉛直分布からの定量評価

永淵修, 浮田正夫^{*83}, 海老瀬潜一^{*106}, 井上隆信^{*30}: 土木学会論文集, 587(VII-6), 97-107, 1998.

768 Biodechlorination of tetrachloroethylene by cell cultures of anaerobic bacteria isolated from contaminated and uncontaminated soils

Takashi Tokunaga, Shigeji Kitamori, Nobuyuki Sera, Masataka Hanashima^{*104}, Kouji Matsufuji^{*104}: Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology, 60, 88-95, 1998.

769 福岡県における流域水質予測システムの構築

岩本眞二, 田上四郎, 田中義人, 塚谷裕子, 江里耕一^{*44}, 木船一晶^{*176}: 用水と廃水, 40(6), 34-39, 1998.

770 Distribution of polychlorinated dibenzo- p-dioxins and dibenzofurans in various sizes of airborne particles

Yoichi Kurokawa, Matsueda Takahiko, Nakamura Matayoshi, Takada Satoshi, Fukamachi Kazumi: Chemosphere, 37(9-12), 2161-2171, 1998.

771 キノコでダイオキシンを分解!

高田智: 別冊化学 環境ホルモン&ダイオキシン, 話題の化学物質を正しく理解する, 150-153, 1998.

772 第29章: 白色腐朽菌による分解!

高田智: ダイオキシン類の対策技術-生成抑制技術と除去・分解・分析技術-, 296-302, 1998.

773 Heterogeneity in expression of lipopolysaccharide and major outer-membrane proteins by strains of Escherichia coli O157 with different H-serotypes

S. Fujimoto^{*85}, Y. Meno^{*109}, K. Horikawa: Microbiol. Immunol, 42(8), 527-531, 1998.

774 Comparative tumorigenicity of 1-and 3-nitro benzo [a]pyrenes, and 3,6-and 1,6-dinitrobenzo[a]pyrenes in F344/DuCrj rats

K. Horikawa, N. Sera, K. Murakami, N. Sano^{*84}, K. Izumi^{*84}, H. Tokumura^{*101}: Toxicology Letters, 98, 51-58, 1998.

775 食物繊維による体内ダイオキシン類の排出促進

森田邦正: 生活と環境, 43(12), 39-44, 1998.

776 光照射下における C60 の生物作用

宮田直樹^{*25}, 山越葉子^{*25}, 末吉祥子^{*25}, 世良暢之, 常磐寛^{*101}: 磁気共鳴と医学, 8, 189-192, 1998.

777 ニトロアレーンの構造・変異活性相関及びヒト暴露の実態

世良暢之: 日本環境変異原学会誌, 20, 97-105, 1998.

778 福岡県における無菌性髄膜炎の流行

濱崎光宏, 梶原淳睦, 石橋哲也, 千々和勝己, 大津隆一: 病原微生物検出情報, 19(5), 9-10, 1998.

779 夏と冬の無菌性髄膜炎の流行

濱崎光宏, 梶原淳睦, 石橋哲也, 千々和勝己, 大津隆一: ラビーム, 10(6), 9-10, 1998.

780 Formation of 3-amino-2,6,8-trimethyl-10-phenyldeca-4E,6E-dienoic acid from microcystin LR by the treatment with various proteases and its detection in mouse liver

Shigeyuki Takenaka: Chemosphere, 36(10), 2277-2282, 1998.

781 淡水性ラン藻が産生する発がんプロモーター, マイクロシスチンの環境中濃度及びその分解

竹中重幸: 九州山口薬学会報, 52, 99-105, 1998.

782 Toxicity of the microcystins degradation product and its inhibition activity for protein phosphatase 2A

Shigeyuki Takenaka, Ryuichi Otsu: Journal of Toxicological Sciences, 23, 401, 1998.

783 Stability and toxicity of microcystin LR conjugated with L-cysteine

Shigeyuki Takenaka, Ryuichi Otsu, Sanae Furusho^{*176}: Journal of Toxicological Sciences, 23(4), 340, 1998.

784 Postnatal exposure to chlorinated Dioxins and related chemicals on lymphocyte subsets in Japanese breast-fed infants

Junya Nagayama^{*85}, Hiroshi Tsuji^{*85}, Takao Iida, Hironori Himkawa, Takahiko Matsueda, Ken Okamura^{*85}, Mayumi Hasegawa^{*85}, Kayo Sato^{*85}, Hsing-Yi MA^{*85}, Takashi Yanagawa^{*85}, Hisaji Igarashi^{*85}, Jun'ichiro Fukushima^{*85}, Tadayoshi Watanabe^{*176}: Chemosphere, 37(9-12), 1781-1787, 1998.

785 Postnatal exposure to chlorinated Dioxins and related chemicals on Thyroid Hormone Status in Japanese breast-fed infants

Junya Nagayama^{*85}, Ken Okamura^{*85}, Takao Iida, Hironori Hirakawa, Takahiko Matsueda, Hiroshi Tsuji^{*85}, Mayumi Hasegawa^{*85}, Kayo Sato^{*85}, Hsing-Yi MA^{*85}, Takashi Yanagawa^{*85}, Hisaji Igarashi^{*85}, Jun'ichiro Fukushima^{*85}, Tadayoshi Watanabe^{*176}: Chemosphere, 37(9-12), 1789-1793, 1998.

786 代理表面法および濃度法による乾性沈着フラックスの比較

大石興弘, 下原孝章, 宇都宮彬, 向井人史^{*30}, 畠山史郎^{*30}, 村野健太郎^{*30}: 大気環境学会誌, 33, 273-283, 1998.

787 筑後川水系河川水中の一酸化二窒素濃度

馬場義輝, 濱村研吾, 中村融子, 大久保彰人, 徳永隆司, 松尾宏: 全国公害研会誌, 23, 17-22, 1998.

788 テトラクロロエチレン汚染土壌の生物処理実験

徳永隆司, 花嶋正孝^{*104}, 松藤康司^{*104}, 世良暢之, 永淵義孝, 北森成治, 古川謙介^{*85}: 廃棄物学会論文誌, 9(5), 198-207, 1998.

789 Monitoring of nitrogen compounds on Yakushima Island, a world natural heritage site

K. Satake^{*30}, T. Inoue^{*30}, K. Kasasaku^{*172}, O. Nagafuchi, T. Nakano^{*72}: Environmental Pollution, 102, S1, 107-113, 1998.

790 最近10年における瀬戸内海底質の変動評価

永淵修, 東義仁^{*147}, 清水徹^{*157}, 駒井幸雄^{*149}, 村上和仁^{*156}, 小山武信^{*151}: 水環境学会誌, 21, 797-804, 1998.

791 水道水源水域及び利水過程における親水性利水障害物質の適正管理に関する研究

近藤紘之, 緒方健, 石黒靖尚, 大野健治, 鳥羽峰樹: 平成9年度環境庁「環境保全研究成果集」, 1998.

792 Determination of dibutyltin compounds in softpolyurethane foam by gas chromatography with flame photometric detection

Makoto Nagase, Mineki Toba, Hiroyuki Kondo, Kiyoshi Hasebe^{*70}: Analyst, 123, 1091-1094, 1998.

- 793** 低沸点有機化合物の煮沸による除去
鳥羽峰樹, 田中義人, 石黒靖尚, 近藤紘之: 福岡県保健環境研究所年報, 第25号, 51-54, 1998.
- 794** 福岡県における都市域及びその周辺の照葉樹林の植物 2. 鎮国寺
須田隆一, 笹尾敦子: 福岡県保健環境研究所年報, 第25号, 77-85, 1998.
- 795** Analysis of environmental carcinogens associated with the incidence of lung cancer
Hiroshi Tokiwa^{*101}, Nakanishi Yoichi^{*85}, Nobuyuki Sera, Nobuyuki Hara^{*85}, Satoru Ohtsuka^{*85}: Toxicology Letters, 99, 33-41, 1998.
- 796** Wet deposition of ammonium and atmospheric distribution of ammonia and particulate ammonium in Japan
Kentarō Murano^{*30}, Hitoshi Mukai^{*30}, Shiro Hatakeyama^{*30}, Okihiro Oishi, Akira Utsunomiya, Takaaki Shimohara: Environmental Pollution, 102, 321-326, 1998.
- 797** 最近10年間における瀬戸内海底質の変動評価
永淵修, 東義仁^{*147}, 清木徹^{*157}, 駒井幸雄^{*149}, 村上和仁^{*156}, 小山武信^{*151}: 水環境学会誌, 21, 797-804, 1998.
- 798** 瀬戸内海における環形動物(Annelida)の生育状況と底質環境の関係
村上和仁^{*156}, 今富幸也^{*158}, 駒井幸雄^{*149}, 永淵修, 清木徹^{*157}, 小山武信^{*151}: 水環境学会誌, 21, 757-764, 1998.
- 799** 衛星データと同期調査による広域土壌水分の推定
大久保彰人, 高木潤治^{*44}, 黒柳直彦^{*44}, 波多江直之^{*44}, 田村正行^{*30}: 日本リモートセンシング学会誌, 19(1), 30-44, 1999.
- 800** Genotypic characterization of human and environmental isolates of salmonella coleraesuis subspecies choleraesuis serovar infantis by pulsed-field gel electrophoresis
Koichi Murakami, Kazumi Horikawa, Koichi Otsuki^{*80}: Microbiol. Immunol, 43, 239-296, 1999.
- 801** Epidemiological Analysis of Salmonella enteritidis from Human Outbreaks by Pulsed-field Gel Electrophoresis
Koichi Murakami, Kazumi Horikawa, Koichi Otsuki^{*80}: J. Vet. Med. Sci., 61, 439-442, 1999.
- 802** 1997年4月から1998年8月にかけて福岡県において流行した無菌性髄膜炎について
濱崎光宏, 梶原淳睦, 石橋哲也, 千々和勝己, 大津隆一: 感染症学雑誌, 73(2), 138-143, 1999.
- 803** The Distribution of HIV-1 subtypes in Fukuoka, Japan
Katsumi Chijiwa, Tetsuya Ishibashi, Seizaburo Kashiwagi^{*85}, Ryoichi Mori: Microbiol. Immunol, 43(3), 271-278, 1999.
- 804** 日本における食事経路の PCDDs, PCDFs 及び Coplanar PCBs の摂取量
豊田正武^{*25}, 内部博泰^{*176}, 柳俊彦^{*176}, 河野洋一^{*176}, 堀就英, 飯田隆雄: 食品衛生学雑誌, 40(1), 98-110, 1999.
- 805** 日本における市販食品中の PCODs, PCDFs 及び Coplanar PCBs 含有量
豊田正武^{*25}, 飯田隆雄, 堀就英, 柳俊彦^{*176}, 河野洋一^{*176}, 内部博泰^{*176}: 食品衛生学雑誌, 40(1), 111-121, 1999.
- 806** Recent Trend of polychlorinated dibenzo-p-dioxins and their related compounds in the blood and sebum of Yusho and Yu-Cheng patients
Takao Iida, Hironori Hirakawa, Takahiko Matsueda, Shigeyuki Takenaka, Mei-Lin Yu^{*60}, Yue-Liang Leon Guo^{*60}: Chemosphere, 38(5), 981-993, 1999.
- 807** Polychlorinated dibenzo-p-dioxins and related compounds in breast milk of Japanese primiparas and multiparas
Takao Iida, Hironori Hirakawa, Takahiko Matsueda, Shigeyuki Takenaka, Junya Nagayama^{*85}: Chemosphere, 38(11), 2461-2466, 1999.
- 808** 油症患者の臨床検査値と血中 PCB 濃度の関連
徳永章二^{*85}, 廣田良夫^{*85}, 片岡恭一郎: 福岡医学雑誌, 90(5), 157-161, 1999.
- 809** 九州地域における酸性沈着物量分布
松本源生, 宇都宮彬, 大石興弘: 大気環境学会誌, 34, 1-16, 1999.
- 810** ダイオキシン類の微生物分解
高田智: 環境管理, 35(6), 50-55, 1999.

811 福岡県保健環境研究所におけるダイオキシン類分析

松枝隆彦, 飯田隆雄: 全国公害研会誌, 24(3), 126-132, 1999.

812 Polychlorinated dibenzo-p-dioxins and related compounds: Correlations of levels in human tissues and in blood

Takao Iida, Hironori Hirakawa, Takahiko Matsueda, Junya Nagayama^{*85}, Takeaki Nagata^{*85}: Chemosphere, Vol. 38, No.12, 2767-2774, 1999.

813 自治体での利用をめざした地域レベルのリモートセンシングー自治体研究機関の研究および自治体パイロットプロジェクトー

大久保彰人, 山崎正敏, 武末保彦^{*44}, 原政直^{*176}, 関口芳浩^{*176}, 寺田弘慈^{*176}: 日本リモートセンシング学会誌, 19(4), 71-76, 1999.

814 腸管出血性大腸菌 O111の L-ソルボース非分解性を指標とした分離培地に関する検討

田中博^{*163}, 八柳潤^{*118}, 内村真佐子^{*127}, 齋藤眞^{*142}, 小林一寛^{*146}, 堀川和美, 森良一: 日本臨床微生物学雑誌, 9(1), 48-50, 1999.

815 腸管出血性大腸菌 O26の生化学的性状及びその選択分離培地に関する検討

平松礼司^{*142}, 松本昌門^{*142}, 三輪良雄^{*142}, 齋藤眞^{*142}, 八柳潤^{*118}, 内村真佐子^{*127}, 小林一寛^{*146}, 田中博^{*163}, 堀川和美, 森良一: 感染症学雑誌, 73(5), 407-413, 1999.

816 過去10年間の食品収去検査成績から見た食品の細菌汚染実態

世良暢之, 中山宏, 村上光一, 堀川和美, 高田智, 牧草由起夫^{*44}, 原田雅一^{*44}, 西原研士^{*44}, 林田公夫^{*44}, 古賀政利^{*44}: 福岡県保健環境研究所年報, 第26号, 51-57, 1999.

817 フラーレンを分解する微生物はいるのか

世良暢之: 化学総説「炭素第三の同素体, フラーレンの化学」, 43, 9, 1999.

818 Detection and identification of adenovirus from ophthalmological specimens by virus isolation and PCR

Jumboku Kajiwar, Mitsuhiro Hamasaki, Ryouichi Mori, Shinobu Oniki^{*176}: Japanese Journal of Infectious Disease,

52, 18-19, 1999.

819 Polychlorinated dibenzo-p-dioxins and related compounds: The blood levels of young Japanese women

Takao Iida, Hironori Hirakawa, Takahiko Matsueda, Shigeyuki Takenaka, Junya Nagayama^{*85}: Chemosphere, 38(15), 3497-3502, 1999.

820 ラットにおけるPCDD及びPCDFの消化管吸収に及ぼす緑色野菜の効果

森田邦正, 松枝隆彦, 飯田隆雄: 福岡医学雑誌, 90(5), 171-183, 1999.

821 Chlorella accelerates dioxin excretion in rats

Kunimasa Morita, Takahiko Matsueda, Takao Iida, Takashi Hasegawa^{*176}: Journal of Nutrition, 129, 1731-1736, 1999.

822 ラットにおけるダイオキシン類の消化管吸収に及ぼすプロトポルフィリンの効果

森田邦正, 松枝隆彦, 飯田隆雄: 福岡医学雑誌, 90(5), 162-170, 1999.

823 Maternal body burden of organochlorine pesticides and dioxins

Reiko Nakagawa, Hironori Hirakawa, Takao Iida, Takahiko Matsueda, Junya Nagayama^{*85}: Journal of AOAC International, 129, 1731-1736, 1999.

824 福岡県下流通の健康茶に含まれる医薬品セナ及びその成分について

毛利隆美, 森田邦正, 平川博仙: 福岡県保健環境研究所年報, 第26号, 58-62, 1999.

825 キャピラリーカラム GC/MS による油症患者及び健常者血液中 PCB 分析ーパックドカラム ECD/GC 従来法との比較ー

中川礼子, 中村又善, 平川博仙, 堀就英, 飯田隆雄: 福岡医学雑誌, 90(5), 184-191, 1999.

826 油症(PCBs中毒)と周産期

飯田隆雄: 周産期医学, 29(4), 438-442, 1999.

827 ダイオキシンと油症

飯田隆雄: 日本油化学会誌, 48(5), 439-448, 1999.

828 Effect of L-cysteine and reduced glutathione on the toxicities of microcystin LR: The effect for acute liver failure and inhibition of protein phosphatase 2 A activity
Shigeyuki Takenaka, Ryuichi Otsu^{*108}: Aquatic Toxicology, 48, 65-68, 1999.

829 Decreased daily intake of PCDDs, PCDFs and Co-PCBs from foods in Japan from 1977 to 1998
Masatake Toyoda^{*25}, Hiroyasu Uchibe^{*176}, Toshihiko Yanagi^{*176}, Youichi Kono^{*176}, Tsuguhide Hori, Takao Iida: Journal of the Food Hygienic Society of Japan, 40(6), 494-499, 1999.

830 大気境界層中の乾性沈着—特集「エアロゾルの沈着」—
植田洋匡^{*77}, 王自発^{*77}, 下原孝章: エアロゾル研究, 14, 309-316, 1999.

831 下水道の普及と水質モニタリング結果の経年変化
徳永隆司: 福岡県保健環境研究所年報, 第26号, 63-66, 1999.

832 流入水の窒素: リン比が高い小規模ダム湖におけるアオコ発生要因
松尾宏, 笹尾敦子, 大久保彰人, 佐々木重行^{*44}: 用水と廃水, 41(6), 35-41, 1999.

833 瀬戸内海の底質汚染および水質汚濁の現況について
小山武信^{*151}, 永淵修, 清木徹^{*157}, 駒井幸雄^{*149}, 村上和仁^{*156}, 東義仁^{*147}, 今富幸也^{*158}, 牛川努^{*159}, 日野康良^{*161}, 高松公子^{*162}, 蛸灰谷喬^{*169}: 全国公害研会誌, 24, 37-56, 1999.

834 シュロガヤツリによる池の水質浄化と水生昆虫の定着
中村融子, 緒方健, 志水信弘, 徳永隆司: (社)水環境

学会誌, 12, 1010-1015, 1999.

835 浄水器による硝酸性窒素の除去事例
中村融子, 松尾宏, 馬場義輝, 徳永隆司, 北森成治, 大霜公美^{*44}, 松尾義之^{*44}: 福岡県保健環境研究所年報, 第26号, 67-71, 1999.

836 Organic components in leachates from hazardous waste disposal sites
Akio Yasuhara^{*30}, Hiroaki Shiraishi^{*30}, Masataka Nishikawa^{*30}, Takashi Yamamoto^{*30}, Osami Nakasugi^{*30}, Tameo Okumura^{*147}, Katashi Kenmotsu^{*156}, Hiroshi Fukui^{*123}, Makoto Nagase, Yasunori Kawagoshi^{*152}: Waste Management & Research, 17, 186-197, 1999.

837 Naturally occurring arsenic in the groundwaters in the southern region of Fukuoka prefecture, Japan
Hiroyuki Kondo, Yasuhisa Ishiguro, Kenji Ohno, Makoto Nagase, Mineki Toba, Makoto Takagi^{*85}: Wat.Res., 33(8), 1967-1972, 1999.

838 A study on the insertion loss of a noise barrier for a directional sound source
Gensei Matsumoto, Kyoji Fujiwara^{*86}, Akira Omoto^{*86}: J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 20(4), 325-328, 1999.

839 福岡県における都市域及びその周辺の照葉樹林の植物 3. 春日神社
須田隆一, 笹尾敦子: 福岡県保健環境研究所年報, 第26号, 72-78, 1999.

840 酸性雨研究と環境試料分析, 第4章 樹水の調査と試料分析
永淵修: 酸性雨研究と環境試料分析—環境試料の採取・前処理・分析の実際—, 51-66, 2000.

報告書等

1 九州地方に於けるブルセラ症の分布調査

大塚悟：国際ブルセロージスセンター,ブルセラ研究委員会,昭和31年度調査概要, 23, 1957.

2 パラ-ローザニリン法による大気中の亜硫酸ガス測定法の検討 第1報 est 法の検討

真子憲治, 松本久男：福岡県における大気汚染, 1, 92-99, 1962.

3 パラ-ローザニリン法による大気中の亜硫酸ガス測定法の検討 第2報 肉眼比色法による測定について

真子憲治, 松本久男：福岡県における大気汚染, 1, 99-101, 1962.

4 パラ-ローザニリン法による大気中の亜硫酸ガス測定法の検討 第3報, 定色機構について

真子憲治, 松本久男：福岡県における大気汚染, 1, 101-103, 1962.

5 水質自動測定法検討試験(全窒素自動分析法の検討)

松浦聰朗, 徳永隆司, 岸川昭夫, 森本昌宏：昭和53年度環境庁委託業務結果報告書, 8-19, 1978.

6 複合汚染下における変異原の形成

常盤寛：昭和53年度環境庁委託研究報告書, 大気複合汚染の生体に及ぼす影響に関する研究, 61-73, 1979.

7 航空写真による細街路自動車交通量算定手法について

田辺敏久, 武藤直彦, 松家繁, 黒木重則：自動車交通量算定手法調査報告書(福岡県衛生公害センター編), 126, 1979.

8 2-アミノ-5-クロロ-4-メチルベンゼンスルホン酸の分析法

田上四郎：昭和54年度化学物質分析法開発調査報告書, 142-145, 1980.

9 2-アミノ-5-メチルベンゼンスルホン酸の分析法

岸川昭夫, 深町和美：昭和54年度化学物質分析法開発調査報告書, 146-149, 1980.

10 2-(2-ヒドロキシ-3,5-ジ-tert-ブチルフェニル)-5-クロロベンゾトリアゾールの分析法

松浦聰朗：昭和54年度化学物質分析法開発調査報告書, 150-154, 1980.

11 エチレンオキシド及びプロピレンオキシドの分析法

近藤紘之, 永瀬誠：昭和54年度化学物質分析法開発調査報告書, 155-160, 1980.

12 β-ナフタレンスルホン酸ホルマリン縮合物のナトリウム塩の分析法

田上四郎, 武藤博昭, 大崎真紗子：昭和54年度化学物質分析法開発調査報告書, 161-164, 1980.

13 1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸の分析法

大石興弘：昭和54年度化学物質分析法開発調査報告書, 165-168, 1980.

14 日本工業規格(JIS)の改正に伴う水質測定方法の検討試験

森本昌宏, 高尾真一, 永淵義孝, 徳永隆司, 宇都宮彬, 桜木建治：昭和54年度環境庁委託業務結果報告書, 1-30, 1980.

15 筋萎縮性側索硬化症患者の血中シアン価

黒岩義五郎^{*85}, 酒井徹雄^{*85}, 飛松省三^{*85}, 辻貞俊^{*85}, 柴崎浩^{*85}, 後藤幾生^{*85}, 中川礼子：厚生省特定疾患変性性神経疾患調査研究班1980年度研究報告書, 357-359, 1981.

16 石炭利用施設ばい煙等排出状況調査結果報告書

岩本眞二, 石橋龍吾, 近藤紘之, 柳川正男, 永瀬誠：昭和55年度環境庁委託業務結果報告書, 1-75, 1981.

17 非特定重大障害物質発生源等対策調査

近藤紘之, 森彬, 石橋龍吾, 柳川正男, 永瀬誠, 岩本眞二：ホルムアルデヒド発生源等調査結果報告書, 1-21, 1981.

18 m-アミノベンゼンスルホン酸の分析法

重江伸也：昭和55年度化学物質分析法開発調査報告書, 208-212, 1981.

19 2-4-,2-6-,3-4-ジクロロトルエンの分析法

毛利隆美：昭和55年度化学物質分析法開発調査報告書，203-207，1981.

20 モノブチルナフタレンスルホン酸ナトリウム〔アルキル(C1-14)ナフタレンスルホン酸ナトリウム〕の分析法

深町和美：昭和55年度化学物質分析法開発調査報告書，213-216，1981.

21 ピロールの分析法

大崎靖彦：昭和55年度化学物質分析法開発調査報告書，217-221，1981.

22 水質分析方法検討試験(COD 測定方法の検討)

森彬，高尾真一，永淵義孝，徳永隆司，宇都宮彬，桜木建治：昭和55年度環境庁委託業務結果報告書，1-50，1981.

23 難病患者実態調査

篠原志郎，片岡恭一郎，大久保彰人，高橋克巳：福岡県難病患者実態調査報告書，1-40，1982.

24 非特定重大障害物質発生源等対策調査

永瀬誠，森彬，大崎真紗子，石橋龍吾，近藤紘之，柳川正男，岩本真二：昭和56年度環境庁委託業務結果報告書，1-21，1982.

25 大気中クロロメタン，クロロエタン及びジクロロメタンの活性炭による気固吸着

近藤紘之：昭和56年度化学物質分析法開発調査報告書，1982.

26 テレフタル酸ジメチルの分析法

森田邦正：昭和56年度化学物質分析法開発調査報告書，14-19，1982.

27 2,3-ジクロロ-1,4-ナフトキノンの分析法

森木弘樹：昭和56年度化学物質分析法開発調査報告書，8-13，1982.

28 エンドサルファンの分析法

中村又善：昭和56年度化学物質分析法開発調査報告書，1-7，1982.

29 1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジリウムジクロラ

イトの分析法

深町和美：昭和56年度化学物質分析法開発調査報告書，20-23，1982.

30 大気中クロロエタン及びジクロロメタンの分析法の開発

近藤紘之，柳川正男：昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書，56-65，1983.

31 3-ニトロフルオランテンの分析法

深町和美，石黒靖尚，松枝隆彦：昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書，227-232，1983.

32 1-ニトロピレンの分析法

松枝隆彦，石黒靖尚，深町和美：昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書，233-238，1983.

33 エンドサルファンサルフェートの分析法

桜木建治：昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書，239-244，1983.

34 ジベンジルエーテルの分析法

徳永隆司：昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書，245-250，1983.

35 水質分析方法検討試験ーノルマルヘキサン抽出物質含有量検定方法の検討ー

松浦聰朗，大崎靖彦，中村又善，大石興弘，黒川陽一：昭和57年度環境庁委託業務結果報告書，4-14，1983.

36 2-ニトロ-p-クレゾール,3-ニトロ-p-クレゾール,4-ニトロ-m-クレゾール,5-ニトロ-o-クレゾールの分析法

松枝隆彦，石黒靖尚，高田智：昭和58年度化学物質分析法開発調査報告書，239-246，1984.

37 5-ニトロアセナフテン,3-ニトロアセナフテンの分析法

石黒靖尚，松枝隆彦，高田智，深町和美：昭和58年度化学物質分析法開発調査報告書，247-253，1984.

38 2,4-ジニトロフェノール,4,6-ジニトロクレゾールの分析法

高田智，松枝隆彦，石黒靖尚：昭和58年度化学物質分析法開発調査報告書，233-238，1984.

39 5-ニトロベンツイミダゾールの分析法

松枝隆彦，石黒靖尚，高田智：昭和58年度化学物質分析法開発調査報告書，228-232，1984.

40 水質分析方法検討試験－ノルマルヘキサン抽出物質含有量検定方法の検討－

中村又善，桜木建治，古賀けい子，大石興弘，松浦聰朗：昭和58年度環境庁委託業務結果報告書，32-64，1984.

41 瀬戸内海環境情報基本調査 周防灘の文献総説

松浦聰朗，徳永隆司，永淵義孝：昭和58年度環境庁委託業務結果報告書，37-51，1984.

42 瀬戸内海環境情報基本調査一周防灘の底質調査の解析－

松浦聰朗，永淵義孝，徳永隆司，松尾宏，永淵修，黒川陽一：昭和58年度環境庁委託業務結果報告書，15-30，1984.

43 赤潮対策調査 一周防灘－

松浦聰朗，永淵義孝，徳永隆司，永淵修，大石興弘，山本英穂，村田敦子(他1機関)：昭和59年度環境庁委託業務結果報告書，52-84，1985.

44 瀬戸内海環境情報基本調査 一響灘の底質調査の解析－

松浦聰朗，徳永隆司，松尾宏，永淵修：昭和59年度環境庁委託業務結果報告書，27-36，1985.

45 1,5-ジニトロナフタレン・1,8ジニトロナフタレンの分析法

高田智，石黒靖尚，黒川陽一，松枝隆彦：昭和59年度化学物質分析法開発報告書，139-144，1985.

46 瀬戸内海環境情報基本調査 一響灘の文献総説－

松浦聰朗，徳永隆司，永淵義孝：昭和59年度環境庁委託業務結果報告書，24-30，1985.

47 4-メチル-2-ニトロアニリン・2-メチル-4-ニトロアニリンの分析法

松枝隆彦，石黒靖尚，黒川陽一，高田智：昭和59年度化学物質分析法開発報告書，145-150，1985.

48 1,3-プロパンサルTONの分析法の検討

田上四郎：昭和59年度化学物質分析法開発報告書，

151，1985.

49 ベンゾトリクロライド，o-クロロベンゾトリクロライド及び p-クロロベンゾトリクロライドの分析法の検討

田上四郎，松枝隆彦，石黒靖尚，高田智：昭和59年度化学物質分析法開発報告書，152，1985.

50 福岡県における日常食品からの汚染物摂取量調査

毛利隆美，森田邦正，大野健治，深町和美，飯田隆雄，竹中重幸，高田智，芥野岑男^{*44}，北直子^{*44}，森木弘樹^{*44}，上和田幸子^{*44}，大崎靖彦，中村周三，中村幸男，森彬，高橋克巳，栗原羊一^{*44}，岡澤孝夫^{*44}，松尾國雄^{*44}，古賀正邦^{*44}，有働武文^{*44}，林田公夫^{*44}，北嶋藤孝^{*44}，藤野恒夫^{*44}，田村孝蔵^{*44}，田先弘^{*44}，渡邊亨^{*44}，片山申吾^{*44}：福岡県衛生部発行冊子，1-114，1985.

51 o-アミノフェノール・m-アミノフェノール・p-アミノフェノールの分析法

大崎靖彦，松枝隆彦，黒川陽一：昭和60年度化学物質分析法開発調査報告書，150-156，1986.

52 バイシックバイオレット10の分析法

黒川陽一，大崎靖彦，松枝隆彦：昭和60年度化学物質分析法開発調査報告書，162-166，1986.

53 微生物の代謝能を利用した水環境の評価方法に関する研究 ー MBAS 分解能の指標化ー

高田智，徳永隆司，小河章，大石興弘，古賀けい子，永淵修，桜木建治：昭和60年度環境庁委託業務結果報告書，水生環境把握手法調査，114-136，1986.

54 オーラミンの分析法

松枝隆彦，黒川陽一，大崎靖彦：昭和60年度化学物質分析法開発調査報告書，157-161，1986.

55 福岡県衛生公害センター職員研究実績調査報告書
松家繁，松浦聰朗：福岡県衛生公害センター，1-40，1986.

56 ユスリカ(双翅目，ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ー福岡県那珂川における水域環境とユスリカ幼虫分布との関係ー

山本英穂，山崎正敏，杉泰昭，徳永隆司，村田敦子，小河章：昭和60年度環境庁委託業務結果報告書，水生環境把握手法調査，1-61，1986.

57 付着珪藻による河川水質の評価法の検討

小村精：昭和60年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査, 88-113, 1986.

58 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ―水質判定のためのユスリカ幼虫サンプリングの基礎的研究,河川底におけるユスリカ幼虫の分布―

杉泰昭, 山崎正敏, 山本英穂：昭和60年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査, 62-87, 1986.

59 アセトアルデヒド・プロピオンアルデヒド・クロレイン・クロトンアルデヒドの分析法

大崎靖彦, 永瀬誠, 松枝隆彦：昭和61年度化学物質分析法開発調査報告書, 94-102, 1987.

60 九州地方における非日脳アルボウイルスのヒト及び各種哺乳動物への感染に関する研究

福吉成典, 千々和勝己, 多田俊助, 高橋克巳：第12回(昭和60年度)医学研究助成報告集(財団法人大同生命厚生事業団), 125-126, 1987.

61 微生物による水環境の評価方法に関する研究 ―河川,水中の細菌のフローラ解析―

高田智, 徳永隆司, 小河章, 大石興弘, 久富啓次：昭和61年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査, 99-145, 1987.

62 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ―ユスリカ幼虫の分布と水域環境との関係の河川間の比較―

山本英穂, 山崎正敏, 杉泰昭, 徳永隆司, 村田敦子, 小河章：昭和61年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査, 1-52, 1987.

63 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ―水質判定のためのユスリカ幼虫サンプリングの基礎的研究,河川底におけるユスリカ幼虫の分布―

杉泰昭, 山崎正敏, 山本英穂：昭和61年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査, 53-97, 1987.

64 福岡県感染症サーベイランス事業資料集(昭和56年―昭和61年)

大久保彰人, 布上董^{*85}, 根元康^{*176}, 高橋克巳：福岡県医師会感染症サーベイランス委員会, 1-341, 1987.

65 微生物を利用した水環境の評価方法に関する研究 ―汚濁指標細菌の種レベルの同定及びその選択培地の検討―

高田智, 徳永隆司, 後藤義輝, 久富啓次, 小河章：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書, 47-111, 1988.

66 1-フェニルアゾ-2-ナフトールの分析法

永瀬誠, 大崎靖彦, 松枝隆彦：昭和62年度化学物質分析法開発調査報告書, 201-208, 1988.

67 保健所システムで得られる感染症全国集計情報の活用

大久保彰人, 片岡恭一郎, 篠原志郎：N5200ユーザ通信, 5(2), 9-15, 1988.

68 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ―河川におけるユスリカ幼虫の分布と一般大型底生動物の分布との対応―

山本英穂, 山崎正敏, 杉泰昭：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査, 1-26, 1988.

69 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ―水質判定のためのユスリカ幼虫サンプリングの基礎的研究,サンプリング回数の検討―

杉泰昭, 山崎正敏, 山本英穂：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査, 27-45, 1988.

70 炭素成分の分析法について

宇都宮彬：昭和62年度環境測定分析統一精度管理調査結果報告書, 262-268, 1988.

71 2-tert-ブチルハイドロキノンの分析法

松枝隆彦, 永瀬誠, 大崎靖彦：昭和62年度化学物質分析法開発調査報告書, 181-191, 1988.

72 N-[4 [(2-ヒドロキシ-5-メチルフェニル)アゾ]フェニル]アセトアミド(ディスパースイエロー3)の分析法

大崎靖彦, 松枝隆彦, 永瀬誠：昭和62年度化学物質分析法開発調査報告書, 192-200, 1988.

73 アスベスト発生源精密調査結果報告書

櫻井利彦, 田上四郎, 高尾真一：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書, 1-40, 1988.

74 新幹線鉄道沿線騒音振動対策推進調査

木本行雄，八尋正幹：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書，22-72，1988.

75 走査－分析型電子顕微鏡を用いた黄砂エアロゾルの解析と一般大気エアロゾルへの影響評価－

下原孝章：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書，Ⅱ．乾性降下物成分分析調査(黄砂調査)，78-87，1988.

76 赤潮対策調査 ー総合解析ー

永淵義孝，村田敦子(他7機関)：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書，38-43，72-73，1988.

77 瀬戸内海環境情報基本調査(総合解析)

近藤紘之，高田智，徳永隆司，永淵修：昭和62年度環境庁委託業務結果報告書，16-18，1988.

78 ジクロロナフタレンの分析法

桜木建治：昭和63年度化学物質分析法開発調査報告書，55-62，1989.

79 微生物による水環境の評価方法に関する研究 ー分離株の生化学的性状試験及び総合解析ー

高田智，徳永隆司，後藤義輝，小河章：昭和63年度環境庁委託業務結果報告書，39-61，1989.

80 微生物による水環境の評価方法に関する研究 ー総合解析ー

高田智，徳永隆司，後藤義輝，久富啓次，大石興弘，小河章：昭和60-63年度環境庁委託業務結果総括報告書，133-173，1989.

81 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判走法の検討 ー水質判定のためのユスリカ幼虫サンプリングの基礎的研究,方形枠最少面積の検討ー
杉泰昭，山崎正敏，山本英穂：昭和63年度環境庁委託業務結果報告書,水生生態環境把握手法調査，1-11,1989.

82 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ー総括ー 第1部水質判定のためのユスリカ幼虫のサンプリング法の検討

杉泰昭，山崎正敏，山本英穂：昭和63年度環境庁委託業務総括報告書，水生生態環境把握手法調査，3-13，1989.

83 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水

質判定法の検討 ー総括ー 第2部博多湾流入4河川のユスリカ幼虫相及びユスリカ幼虫群集の流程変化と水質との関係

山本英穂，山崎正敏，杉泰昭：昭和63年度環境庁委託業務総括報告書,水生生態環境把握手法調査，14-50，1989.

84 ユスリカ(双翅目,ユスリカ科)幼虫による河川水質判定法の検討 ー総括ー 第3部ユスリカ幼虫による河川水質評価法の開発

山崎正敏，杉泰昭，山本英穂：昭和63年度環境庁委託業務総括報告書,水生生態環境把握手法調査，51-60，1989.

85 三郡山におけるバックグラウンドオゾンの挙動
宇都宮彬，岩本眞二，溝口次夫^{*30}：国立公害研究所報告，第123号(R123-89)，191-205，1989.

86 アスベスト製品製造工場における排出抑制対策等実態点検調査

櫻井利彦，田上四郎，高尾真一：昭和63年度環境庁委託業務結果報告書，1-62，1989.

87 アスベストに係る汚染実態調査(発生源調査編)
櫻井利彦，田上四郎，高尾真一：昭和63年度福岡県有害物質対策事業報告書(発生源編)，1-34，1989.

88 アスベストに係る汚染実態調査(室内環境編)
田上四郎，櫻井利彦，高尾真一：昭和63年度福岡県有害物質対策事業報告書(室内環境編)，1-8，1989.

89 黄砂エアロゾルに関する調査研究 電子顕微鏡による粒子形状・組成評価
下原孝章：平成元年度環境庁委託業務結果報告書,大気汚染研究協会，86-100，1989.

90 1-ニトロピレン,3-ニトロフルオランテンの分析法

久富啓次，松枝隆彦，永瀬誠，大崎靖彦：平成元年度化学物質分析法開発調査報告書，73-82，1990.

91 大型底生動物による河川生態系評価手法調査
山本英穂，杉泰昭，山崎正敏，高田智(他3機関)：平成元年度環境庁委託業務結果報告書,大型底生動物による河川生態系評価手法調査，1-56，1990.

92 1,3-,1,6-,1,8-ジニトロピレンの分析法

永瀬誠，大崎靖彦，久富啓次，松枝隆彦：平成元年度化学物質分析法開発調査報告書，83-97，1990.

93 大牟田地区におけるオキシダント日最高濃度値の予測について

今村由貴子，重江伸也^{*44}：福岡県衛生公害センター冊子，1-14，1990.

94 悪臭物質の簡易測定法に関する調査

柳川正男，池浦太荘，黒川陽一：平成元年度環境庁委託業務結果報告書，1-30，1990.

95 国設大気測定網のあり方に関する調査研究福岡県における国設大気測定所の現状評価

岩本眞二：平成元年度環境庁委託業務結果報告書，大気汚染研究協会，107-121，1990.

96 九州・沖縄地方酸性雨共同調査

宇都宮彬，大石興弘，石橋龍吾：九州衛生公害技術協議会大気分科会平成元年度九州・沖縄地方酸性雨共同調査報告書，43-66，92-94，1990.

97 福岡・筑紫平野における光化学オキシダント広域濃度分布調査

池浦太荘，柳川正男，黒川陽一：福岡県大気汚染対策協議会調査事業報告書，1-48，1990.

98 環境汚染物質の食物繊維による排泄促進効果(第1報)

竹中重幸，常盤寛，高橋克巳：平成元年度食物繊維の生理作用と所要量に関する研究報告書，56-63，1990.

99 小規模事業場調査(昭和63年度)ー漬物製造業ー
永淵義孝，中村又善，永淵修，松尾宏：福岡県単独事業報告書，1-11，1990.

100 生活排水対策重点地域指定に係る事前調査(平成2年度)ー八木山川流域ー

永淵義孝，田上四郎，桜木建治，永淵修，松尾宏，平古場朗^{*44}，三成滋夫^{*44}，立木喜久生^{*44}：福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書，1-23，1990.

101 石綿の簡易測定法の実用性調査

櫻井利彦，中村又善，高尾真一：平成2年度環境庁委

託業務結果報告書，1-28，1991.

102 ピリジン,キノリン分析法

大崎靖彦，永瀬誠，松枝隆彦，久富啓次：平成2年度年化学物質分析法開発調査報告書，80-92，1991.

103 大型底生動物による河川生態系評価手法調査

山崎正敏，杉泰昭，緒方健，高田智，小川剛^{*149}，北野肇一^{*139}，藤沢明子^{*139}，小坂恵^{*139}，野崎隆夫^{*132}，石綿進一^{*132}：平成2年度環境庁委託業務結果報告書，大型底生動物による河川生態系評価手法調査，1-127，1991.

104 宝満山モミ自然林の衰退に関する調査研究

武藤博昭，杉泰昭，山崎正敏，須田隆一，緒方健，石橋龍吾，宇都宮彬，大石興弘，下原孝章，浜村研吾：平成2年度国立環境研究所委託業務結果報告書 自然植物系に与える酸性・酸化性物質の影響に関する研究，1-65，1991.

105 福岡県結核・感染症サーベイランス事業資料集(平成2年)

松本源生，片岡恭一郎，布上董^{*85}，高橋克巳：福岡県結核・感染症サーベイランス委員会，1-108，1991.

106 簡易測定法の利用・開発状況調査ー海外研修報告ー

池浦太荘：環境研究，83，108-118，1991.

107 地球観測データの利用に関するパイロットスタディー福岡県環境データバンクシステムパイロットスタディー

大久保彰人：平成2年度環境庁補助事業環境資源保全活用推進事業報告書，30-51，1991.

108 生活排水対策重点地域に係る事前調査(平成3年度)ー釣川流域ー

松尾宏，永淵義孝，田上四郎，桜木建治，永淵修，平古場朗^{*44}，三成滋夫^{*44}，立木喜久夫^{*44}：福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書，1-25，1991.

109 生活排水対策モデル事業

桜木建治，永淵義孝，田上四郎，永淵修，松尾宏，平古場朗^{*44}，三成滋夫^{*44}，立木喜久夫^{*44}：福岡県生活排水対策モデル事業報告書，1-21，1991.

110 日向神ダム湖水質及び底質調査報告書－日向神ダム湖の富栄養について－
永淵修：福岡県衛生公害センター冊子，1-18，1991.

111 環境汚染物質の食物繊維による排泄促進
竹中重幸：第17回（平成2年度）医学研究助成報告書（財団法人大同生命厚生事業団），137-138，1991.

112 有機スズ化合物のラット胸腺萎縮に及ぼす米ぬかファイバーの効果－食物繊維の生理作用と所要量に関する研究－
竹中重幸，高橋克巳：平成2年度健康づくり等研究報告書，100-110，1991.

113 大型底生動物による河川生態系評価手法調査
山崎正敏，杉泰昭，緒方健，高田智，小川剛^{*149}，北野肇一^{*139}，藤沢明子^{*139}，野崎隆夫^{*132}，石綿進一^{*132}：平成3年度環境庁委託業務結果報告書，大型底生動物による河川生態系評価手法調査，1-74，1991.

114 九州・沖縄地方酸性雨共同調査
大石興弘，宇都宮彬，石橋龍吾，今村由貴子：九州衛生公害技術協議会大気分科会平成2年度九州・沖縄地方酸性雨共同調査報告書，72-83，106-107，1991.

115 農薬残留対策調査（ゴルフ場使用農薬に係る調査）
石黒靖尚，大野健治，鳥羽峰樹，田中義人，北森成治，近藤紘之：平成2年度環境庁委託業務結果報告書，81-118，1991.

116 生活排水対策重点地域指定に係る事前調査(平成3年度)－西郷川流域－
田上四郎，永淵修，桜木建治，永淵義孝，松尾宏，平古場朗^{*44}，南里元木^{*44}，立木喜久生^{*44}：福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書，1-24，1991.

117 生活排水対策重点地域指定に係る事前調査(平成3年度)－堂面川流域－
永淵修，田上四郎，桜木建治，永淵義孝，松尾宏，平古場朗^{*44}，南里元木^{*44}，立木喜久生^{*44}：福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書，1-21，1991.

118 農薬残留対策調査(ゴルフ場使用農薬に係る調査)

大野健治，石黒靖尚，中川礼子，鳥羽峰樹，田中義人，近藤紘之：平成3年度環境庁委託業務結果報告書，1-44，1992.

119 石綿の簡易測定法の寒用性調査
櫻井利彦，中村又善，北森成治：平成3年度環境庁委託業務結果報告書，1-30，1992.

120 ネズミチフス菌の変異株を用いた発がん物質の短期検索法及び米ぬか食物繊維を用いた除去について
世良暢之，堀川和美，森田邦正，常盤寛：技術交流ハンドブック TOGETHER，2，176-183，1992.

121 米ぬか食物繊維による変異原・癌原物質の排出
世良暢之，森田邦正，堀川和美，常盤寛：平成3年度食物繊維の生理作用と所要量に関する研究，25-39，1992.

122 大型底生動物による河川水域環境評価のための調査マニュアル(案)
石綿進一^{*132}，野崎隆夫^{*132}，北野肇一^{*139}，藤沢明子^{*139}，小川剛^{*149}，山崎正敏，杉泰昭，緒方健：環境庁水質保全局，1-21，1992.

123 カルタップ，チオシクロムの分析方法
久富啓次，松枝隆彦，永瀬誠，大崎靖彦：平成3年度化学物質分析法開発調査報告書，69-82，1992.

124 芳香族ジニトロ化合物の発がん性とヒト暴露に対する危険度評価
堀川和美：地研 NEWS，地方衛生研究所全国協議会，No.77，1992.

125 エイズ医薬品候補スクリーニング研究Ⅲ.1990年度報告
大竹徹^{*146}，森治代^{*146}，森本素子^{*146}，上羽昇^{*146}，國田信治^{*146}，松田良夫^{*153}，松山雅子^{*153}，秋吉京子^{*153}，野呂新一^{*115}，佐藤七七朗^{*115}，桜田教夫^{*115}，藤田宣哉^{*145}，石崎徹^{*145}，神村紀子^{*145}，吉田幸雄^{*145}，小野哲朗^{*169}，大友信也^{*169}，森下高行^{*142}，小林慎一^{*142}，三宅恭司^{*142}，石原佑式^{*142}，磯村思无^{*142}，斉藤隆行^{*131}，小田和正^{*131}，松崎稔^{*131}，関根大正^{*131}，大貫奈穂美^{*129}，貞升健志^{*129}，太田健爾^{*129}，三木隆^{*129}，小林伸好^{*136}，野口有三^{*136}，千々和勝己，甲斐麻美子，高橋克巳，三瀬勝利^{*25}，牛島廣治^{*24}，清水博之^{*24}，運天先和^{*24}，北村敬^{*24}，徳永徹^{*24}：国立衛生試験所報告，第110号，88-91，1992.

126 石綿の簡易測定法開発調査

櫻井利彦，新谷俊二，木本行雄，小河章：平成4年度環境庁委託業務結果報告書，1-29，1993.

127 浮遊粒子状物質の発生源寄与評価に係るリセプターモデル適用の現状と課題

岩本真二：環境庁浮遊粒子状物質削減手法検討会汚染予測手法検討作業部会報告書，93-97,109-117，1993.

128 ネライストキシンの分析法

松枝隆彦，高山智，中村又善，黒川陽一，久富啓次，深町和美：平成4年度化学物質分析法開発調査報告書，132-143，1993.

129 未規制大気汚染物質モニタリング調査

黒川陽一，松枝隆彦，中村又善，高田智，深町和美：未規制大気汚染物質モニタリング調査報告書，1-143，1993.

130 環境発がん物質に対する生葉の抗腫瘍効果に関する研究

堀川和美，毛利隆美，田中義人：第19回(平成4年度)医学研究助成報告集(財団法人大同生命厚生事業団)，15，135-136，1993.

131 福岡県における酸性雨及び森林植生影響に関する調査結果

大石興弘，須田隆一，宇都宮彬，松浦聰朗，石橋龍吾，濱村研吾，山崎正敏，杉泰昭，笹尾敦子：環境保全基金報告書，1-66，1993.

132 エイズ医薬品候補スクリーニング研究IV.1991年度報告

小林伸好^{*136}，野口有三^{*136}，松山雅子^{*153}，秋吉京子^{*153}，野呂新一^{*115}，佐藤七七朗^{*115}，桜田教夫^{*115}，藤田宣哉^{*145}，石崎徹^{*145}，神村紀子^{*145}，吉田幸雄^{*145}，小野哲郎^{*169}，大友信也^{*169}，森下高行^{*142}，小林慎一^{*142}，三宅恭司^{*142}，石原佑弐^{*142}，磯村思无^{*142}，斉藤隆行^{*131}，小田和正^{*131}，松崎稔^{*131}，関根大正^{*129}，大貫奈穂美^{*129}，貞升健志^{*129}，太田健爾^{*129}，三木隆^{*129}，大竹徹^{*146}，森治代^{*146}，森本素子^{*146}，上羽昇^{*146}，千々和勝己，甲斐麻美子，常盤寛，三瀬勝利^{*25}，牛島廣治^{*24}，清水博之^{*24}，国貞孝夫^{*24}，山崎修道^{*24}：国立衛生試験所報告，第111号，100-102，1993.

133 福岡県における HIV 感染の遺伝子血清疫学的研究

千々和勝己，甲斐麻美子，石橋哲也，福吉成典，柏木

征三郎^{*85}：厚生科学研究，HIV の疫学と対策に関する研究，平成4年度研究報告書，211-213，1993.

134 生活排水対策推進計画

田上四郎，岩本真二，永淵修，北森成治：福岡県生活排水対策推進計画書，1-111，1993.

135 堂面川水系生活排水対策推進計画

永淵修，岩本真二，田上四郎，北森成治：大牟田市生活排水対策推進計画書，1-102，1993.

136 農薬残留対策調査(ゴルフ場使用農薬に係る調査)

大野健治，石黒靖尚，鳥羽峰樹，永瀬誠，近藤紘之：平成4年度環境庁委託業務結果報告書，1-48，1993.

137 環境中アスベストの光学顕微鏡法及び電子顕微鏡法の比較

高尾真一，田上四郎，櫻井利彦，瀬山春彦^{*30}，相馬悠子^{*30}，相馬光之^{*30}：国立環境研究所研究報告，131，37-48，1993.

138 クリソタイルアスベストへの蛍光色素吸着とアスベスト分析法への応用

相馬悠子^{*30}，瀬山春彦^{*30}，相馬光之^{*30}，高尾真一，櫻井利彦，田上四郎，中村又善：国立環境研究所研究報告，131，25-35，1993.

139 力丸ダム湖集水域における水田からの農薬の流出特性

永淵修：国立環境研究所研究報告，第133号，67-86，1994.

140 酸性雨調査研究・陸水影響調査 ー陸水モニタリング調査ー

永淵修，北森成治：平成6年度環境庁委託業務結果報告書，1-16，1994.

141 2-メチルピリジン,3-メチルピリジン,4-メチルピリジンの分析法

黒川陽一，中村又善，松枝隆彦，高田智，深町和美：平成5年度化学物質分析法開発調査報告書，132-143，1994.

142 雷山川水系生活排水対策推進計画

田上四郎，岩本真二，北森成治：雷山川水系生活排水対策推進計画書，1-91，1994.

143 福岡県におけるH I V感染の遺伝子血清疫学的研究

千々和勝己, 石橋哲也, 福吉成典, 柏木征三郎^{*85}: 厚生科学研究, HIV の疫学と対策に関する研究, 平成5年度研究報告書, 193-196, 1994.

144 エイズ医薬品候補スクリーニング研究 V.1992年度報告

関根大正^{*129}, 大貫奈穂美^{*129}, 貞升健志^{*129}, 太田健爾^{*129}, 寺山武^{*129}, 小林伸好^{*136}, 野口有三^{*136}, 松山雅子^{*153}, 秋吉京子^{*153}, 野呂新一^{*115}, 佐藤七七朗^{*115}, 桜田教夫^{*115}, 藤田宣哉^{*145}, 石崎徹^{*145}, 神村紀子^{*145}, 吉田幸雄^{*145}, 小野哲郎^{*169}, 大友信也^{*169}, 森下高行^{*142}, 小林慎一^{*142}, 三宅恭司^{*142}, 石原佑式^{*142}, 鈴木亮而^{*142}, 齊藤隆行^{*131}, 衛藤繁雄^{*131}, 大竹徹^{*146}, 森治代^{*146}, 森本素子^{*146}, 上羽昇^{*146}, 千々和勝己, 甲斐麻美子, 常盤寛, 三瀬勝利^{*25}, 牛島廣治^{*24}, 清水博之^{*24}, 国貞孝夫^{*24}, 山崎修道^{*24}: 国立衛生試験所報告, 第112号, 131-133, 1994.

145 未規制大気汚染物質(アスベスト)モニタリング調査

櫻井利彦, 新谷俊二, 檜崎幸範, 木本行雄, 小河章: 平成5年度環境庁委託業務結果報告書, 1-37, 1994.

146 生活排水対策モデル事業調査報告書(平成5年度) 一新吉富村一

桜木建治, 松尾宏, 馬場義輝, 永淵義孝, 北森成治, 高橋洋子^{*44}, 仙波佳宣^{*44}: 平成5年度生活排水対策モデル事業報告書, 1-26, 1994.

147 利水過程における農薬等化学物質の動態および分解生成物の評価に関する研究

近藤紘之, 石黒靖尚, 大野健治, 永瀬誠, 鳥羽峰樹, 緒方健: 平成5年度環境保全研究成果集(Ⅰ), 15-1-15-25, 1994.

148 生活排水対策重点地域指定に係る事前調査(平成5年度) 一辺春川及び白木川流域一

永淵義孝, 馬場義輝, 桜木建治, 北森成治, 岸川昭夫^{*44}: 福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書, 1-19, 1994.

149 生活排水対策モデル事業(平成5年度) 一太宰府市一

永淵義孝, 桜木建治, 馬場義輝, 北森成治, 高橋洋子^{*44}, 仙波佳宣^{*44}: 福岡県生活排水対策モデル事業報告書,

1-12, 1994.

150 福岡県国保医療費問題協議会第一次解析結果要約 廣田良夫^{*85}, 竹下節子^{*112}, 片岡恭一郎, 井出三郎^{*111}, 古賀二男^{*176}: 福岡県国民健康保険団体連合会, 1994.

151 九州・沖縄地域におけるエアロゾル組成調査 宇都宮彬: 九州, 沖縄衛生公害技術協議会大気分科会: 国立環境研究所報告(1992年度航空機・地上調査データ集), 12, 1-132, 1995.

152 福岡県の地域がん登録事業における地方衛生研究所の役割と課題

篠原志郎, 片岡恭一郎, 甲原隆矢: 平成6年度(財)公衆衛生振興会特別研究助成による研究成果報告書, 32-42, 1995.

153 地方衛生研究所における保健情報ネットワークの現状と将来に関する研究

森良一, 篠原志郎: 厚生科学研究費補助金(地域保健対策総合研究事業), 広域保健情報ネットワークの構築とその地域保健サービスにおける有効利用に関する研究, 28-31, 1995.

154 福岡県国保医療費問題協議会第二次解析結果要約 廣田良夫^{*85}, 竹下節子^{*112}, 片岡恭一郎, 井出三郎^{*111}, 古賀二男^{*176}: 福岡県国民健康保険団体連合会, 1995.

155 3,5,5-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-オン(イソホロン)の分析法

深町和美, 黒川陽一, 中村又善, 松枝隆彦, 高田智: 平成6年度化学物質分析法開発調査報告書, 155-171, 1995.

156 生活排水対策モデル事業(平成6年度) 一津屋崎町手光今川流域一

馬場義輝, 永淵義孝, 桜木建治, 中村融子, 北森成治, 服部和孝^{*44}: 福岡県生活排水対策モデル事業報告書, 1-35, 1995.

157 生活排水対策重点地域指定に係る事前調査(平成6年度) 一甘木市一

永淵義孝, 松尾宏, 馬場義輝, 中村融子, 北森成治, 坂本靖^{*44}: 福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書, 1-30, 1995.

158 未規制大気汚染物質モニタリング調査

中村又善，黒川陽一，松枝隆彦，高田智，深町和美：未規制大気汚染物質モニタリング調査報告書，1-79，1995.

159 立花町生活排水対策推進計画

田上四郎，田中義人，岩本眞二，北森成，山崎正敏，杉泰昭，緒方健，須田隆一：立花町生活排水対策推進計画書，1-123，1995.

160 福岡県県南地域のヒ素による地下水汚染原因調査
近藤紘之，石黒靖尚，大野健治，永瀬誠，鳥羽峰樹：福岡県県南地域のヒ素による地下水汚染原因調査報告書，1-62，1995.

161 アスベストを含む建設廃材等を処分している最終処分場におけるアスベスト排出実態調査
櫻井利彦，新谷俊二，檜崎幸範，木本行雄：平成6年度環境庁委託業務結果報告書，1-31，1995.

162 福岡県環境指標の森第2次調査
須田隆一，笹尾敦子：昭和57－平成5年度報告書，1-108，1995.

163 着生地衣・蘚苔植生による福岡県内の環境評価
笹尾敦子，須田隆一：昭和53年度－平成6年度報告書，1-41，1995.

164 最近5年間の食品媒介ウイルス性胃腸炎集団発生全国実態調査
川本尋義^{*141}，宇田川悦子^{*24}，斎藤博之^{*118}，沢田春美^{*115}，関根整治^{*129}，大石功^{*146}，板垣朝夫^{*155}，山西重機^{*160}，大津隆一，木村輝男^{*152}，野田衛^{*165}，井上榮^{*141}：食品媒介ウイルス性胃腸炎集団発生実態調査研究班総合報告書，1995.

165 福岡県における HIV 感染の遺伝子血清疫学的研究
千々和勝己，石橋哲也，福吉成典，森良一，柏木征三郎^{*85}：厚生科学研究，HIV の疫学と対策に関する研究，平成6年度研究報告書，220-222，1995.

166 木炭等需要拡大実証調査
桜木建治：土壌の農薬吸着能に与える炭の添加の影響調査報告書，1-7，1995.

167 生活排水対策重点地域の指定に係る事前調査(平

成7年度)－稲築町－

馬場義輝，中村融子，岩崎裕子，北森成治：福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書，1-36，1995.

168 生活排水対策モデル事業(平成7年度)－立花町－
馬場義輝，中村融子，岩崎裕子，北森成治：福岡県生活排水対策モデル事業報告書，1-24，1995.

169 利水過程における農薬等化学物質の動態及び分解生成物等の評価に関する研究
近藤紘之，石黒靖尚，大野健治，永瀬誠，鳥羽峰樹，緒方健：平成6年度環境保全研究成果集(Ⅰ)，13-1－13-26，1995.

170 衛星画像パネルの作成
大久保彰人：地球観測衛星データ利用事例集(平成7年度・地方自治体編)，213-216，1996.

171 土地被覆の経年変化解析
大久保彰人：地球観測衛星データ利用事例集(平成7年度・地方自治体編)，217-222，1996.

172 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸，メコプロップ，p-t-ブチル安息香酸の分析法
中村又善，黒川陽一，松枝隆彦，高田智，深町和美：平成7年度化学物質分析法開発調査報告書，1996.

173 植物中の突然変異抑制に関する研究
堀川和美：平成7年度福岡県バイオテクノロジー研究会，1996.

174 九州山岳地帯の酸性大気汚染質
永淵修：グリーン・パワー，11，36-37，1996.

175 あわび類種苗大量斃死要因調査－福岡県－
佐々木和之^{*44}，大津隆一：平成7年度地域特産種量生産放流技術開発事業報告集(水産庁中央水産研究所)，1996.

176 広川ダム湖のアオコ発生要因調査
松尾宏，笹尾敦子，北森成治，山崎正敏：平成7年度広川ダム湖水質調査報告書，1-15，1996.

177 英国ロンドン大学環境変遷研究所における研修
永淵修：全国公害研会誌，21(3)，163-168，1996.

178 甘木市生活排水対策推進計画

田上四郎，田中義人，岩本眞二，北森成治，杉泰昭，緒方健，須田隆一，江里耕一^{*44}：甘木市生活排水対策推進計画書，1-86，1996.

179 アスベストを含む建設廃材等を処分している最終処分場におけるアスベスト排出実態調査

櫻井利彦，新谷俊二，木本行雄：平成7年度環境庁委託業務結果報告書，1-33，1996.

180 未規制大気汚染物質(アスベスト)モニタリング調査

新谷俊二，櫻井利彦，木本行雄：平成7年度環境庁委託業務結果報告書，1-38，1996.

181 生き物から見た福岡県の河川 ー生き物で川を診断してみようー

山崎正敏，杉泰昭，緒方健：生き物から見た福岡県の河川，1-42，1996.

182 福岡県国保医療費問題協議会第三次解析結果要約

廣田良夫^{*85}，竹下節子^{*112}，片岡恭一郎，井出三郎^{*111}，緒方健二^{*176}：福岡県国民健康保険団体連合会，1996.

183 福岡県における HIV 感染の遺伝子血清疫学的研究

千々和勝己，石橋哲也，福吉成典，森良一，柏木征三郎^{*85}：厚生科学研究，HIV の疫学と対策に関する研究，平成7年度研究報告書，240-242，1996.

184 生活排水対策モデル事業(平成8年度)ー若宮町ー
中村融子，田上四郎，馬場義輝，北森成治，榎藤敏博^{*44}，川原賢二^{*44}，藤正治^{*44}：生活排水対策モデル事業実施報告書，1-25，1996.

185 水道水源水域及び利水過程における親水性利水障害物質の適正管理に関する研究

近藤紘之，石黒靖尚，大野健治，鳥羽峰樹，緒方健：平成7年度環境保全研究成果集(Ⅰ)，7-1ー7-21，1996.

186 湖沼堆積物中における炭素系粒子および無機系球形粒子の測定と評価 ーロンドン大学環境変遷研究所における研修概要ー

永淵修：環境研究，103，103-109，1996.

187 Analysis of Air Pollution Data

岩本眞二：KITA 環境協力センター大気汚染モニタリングコーステキスト，1-24，1996.

188 有害大気汚染物質モニタリング調査

中村又善，黒川陽一，松枝隆彦，高田智，深町和美：平成8年度有害大気汚染物質モニタリング調査報告書，1-79，1997.

189 あわび類種苗大量へい死要因調査

筑紫康博^{*44}，行武敦^{*44}，大津隆一：平成8年度地域特産種量産放流開発事業報告書，1997.

190 保健所職員検査技術研修事業報告書

福吉成典，千々和勝己，梶原淳陸，石橋哲也，濱崎光宏，大津隆一，堀川和美，竹中重幸，世良暢之，村上光一：平成8年度厚生省地域保健推進特別事業報告書，1997.

191 稲築町生活排水対策推進計画

田上四郎，馬場義輝，中村融子，岩本眞二，北森成治，杉泰昭，緒方健，須田隆一，伊東一洋^{*44}：稲築町生活排水対策推進計画書，1-80，1997.

192 生活排水対策重点地域の指定に係る事前調査(平成8年度)ー金田町ー

馬場義輝，田上四郎，中村融子，伊東一洋^{*44}，北森成治：福岡県生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書，1-29，1997.

193 広川ダム湖のアオコ発生要因調査

松尾宏，笹尾敦子，北森成治，山崎正敏：広川ダム湖の富栄養化防止対策調査研究報告書(平成8年度)，1-23，1997.

194 土壌汚染実態調査

大野健治，石黒靖尚，永瀬誠，鳥羽峰樹，近藤紘之，藤正治^{*44}：平成8年度環境庁委託業務結果報告書，1-59，1997.

195 腸管出血性大腸菌の試験検査法と地域モニタリングの確立に関する研究(地方衛生研究所の機能強化に関する研究事業)

森良一：平成8年度厚生省科学研究費補助金・保健医療福祉地域総合調査研究事業報告書，1997.

196 福岡県における HIV 感染の遺伝子血清疫学的研究－厚生科学研究 HIV の疫学と対策に関する研究－千々和勝己，石橋哲也，森良一，柏木征三郎^{*85}：平成8年度研究報告書，274-277，1997.

197 ダイオキシン類の体外排除－食物繊維と緑黄色野菜が有効－
森田邦正：キューピーニュース，285，2-15，1997.

198 水道水源水域及び利水過程における親水性利水障害物質の適正管理に関する研究
近藤紘之，石黒靖尚，大野健治，鳥羽峰樹，緒方健：平成8年度環境保全研究成果集(Ⅰ)，7-1－7-24，1997.

199 保健所職員食品理化学検査検査技術研修事業報告書
飯田隆雄，中川礼子，堀就英，平川博仙，森田邦正，毛利隆美：平成9年度厚生省地域保健推進特別事業報告書，1998.

200 O157以外の腸管出血性大腸菌のスクリーニング方法に関する研究(地方衛生研究所間の連携によるモデル研究)
森良一，八柳潤^{*118}，内村真佐子^{*127}，西東眞^{*142}，小林一寛^{*146}，田中博^{*163}，堀川和美：平成9年度厚生科学研究費補助金保健医療福祉地域総合調査研究事業報告書，1998.

201 地方衛生研究所の調査研究機能の強化に関する研究研究報告書
森良一：平成9年度厚生科学研究費補助金保健医療福祉地域総合調査研究事業報告書，1998.

202 水文パラメータとしての土壌水分の推定手法に関する研究
大久保彰人，高木潤治^{*44}，黒柳直彦^{*44}，波多江直之^{*44}：自治体パイロットプロジェクト応用化研究報告書，1-220，1998.

203 食事試料中のクロロホルム，四塩化炭素，トリクロロエチレン，テトラクロロエチレンの分析法
中村又善，黒川陽一，松枝隆彦，高田智，深町和美：平成9年度化学物質分析法開発調査報告書，1998.

204 リサイクルにおける環境対策
西山孝^{*77}，松枝隆彦，竹内均^{*176}，日野順三^{*176}，小林満^{*176}

：西日本再資源化技術調査委員会報告書，51-87，1998.

205 臍帯血等のダイオキシン類濃度に関する研究(平成9年度)
森田昌敏^{*30}，多田裕^{*96}，飯田隆雄：厚生省報告書，1998.

206 リモートセンシング専門部会」報告書－「九州地球観測情報センター」の実現をめざして－
新井康平^{*87}，森山雅雄^{*88}，大久保彰人：九州航空宇宙開発推進協議会リモートセンシング部会報告書，1-72(付4-10)，1998.

207 屋久島へ飛来する大陸起源の大気汚染質
永淵修：陸水通信(日本陸水学会会員情報誌)，19，5-8，1998.

208 福岡県における HIV の分子疫学
千々和勝己，石橋哲也，森良一，柏木征三郎^{*85}：厚生科学研究，エイズ対策研究事業，HIV 感染症の疫学研究，平成9年度研究報告書，345-348，1998.

209 食品中のダイオキシン類汚染実態調査研究(平成9年度)
豊田正武^{*25}，内部博泰^{*176}，飯田隆雄，柳俊彦^{*176}，堀就英：厚生省報告書，1998.

210 再生コンクリートを用いた多自然型水草ポットの製作
中村融子：テーマ探索・シーズ発掘事業研究成果報告書(平成9年度)，73-77，1998.

211 ダイオキシン類の排泄促進に関する研究
森田邦正：平成10年度厚生科学研究，研究報告書，1-39，1999.

212 調査研究資料のデータベース化と活用(地方衛生研究所と国立試験研究機関との機能分担・機能連携の在り方に関する研究)
森良一：平成10年度厚生科学研究費補助金・厚生科学特別研究事業研究報告書，1999.

213 福岡県における HIV-1 の分子疫学
千々和勝己，石橋哲也，森良一，柏木征三郎^{*85}：厚生科学研究，エイズ対策研究事業，HIV 感染症の疫学研究，平成10年度研究報告書，348-351，1999.

214 環境ホルモン等化学汚染物質の高度検査における検査データの信頼性確保に関する研究
加藤元博，門上希和夫^{*174}，松原英隆^{*175}，飯田隆雄，中川礼子，竹中重幸，梶原淳睦，飛石和大，上原真一^{*129}：平成11年度厚生科学研究費補助金厚生科学特別研究事業研究報告書－感染症対策を含めた健康危機管理対策における地方衛生研究所の在り方に関する調査研究，90-121，1999.

215 水辺生物による水環境評価
山崎正敏，杉泰昭，笹尾敦子，緒方健：平成10年度水辺生物による水環境評価(福岡県)報告書(環境庁水質保全局水質管理課)，1999.

216 化学物質による生物・環境負荷の総合評価手法の開発に関する研究
世良暢之，志水信弘，塚谷裕子，田中義人，北森成治，内海英雄^{*85}：未来環境創造型基礎研究推進制度平成9年度報告書，1999.

217 化学物質による生物・環境負荷の総合評価手法の開発に関する研究
世良暢之，志水信弘，塚谷裕子，田中義人，北森成治，内海英雄^{*85}：未来環境創造型基礎研究推進制度平成10年度報告書，1999.

218 ディーゼル排気による慢性呼吸器疾患発症機序の解明とリスク評価に関する研究(平成5－9年度)
世良暢之，嵯峨井勝^{*30}，市瀬孝道^{*30}，熊谷嘉人^{*30}，宮原祐一^{*30}，H.B.Lin^{*30}，小林隆弘^{*30}，藤巻秀和^{*30}，古山昭子^{*30}，田村憲治^{*30}，本田靖^{*30}：国立環境研究所特別研究報告，1999.

219 地方衛生研究所の機能の強化に関する総合的研究「調査研究機能の強化に関する研究」
加藤元博，堀川和美，梶原淳睦：平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業研究報告書，1999.

220 食品中のダイオキシン汚染実態調査研究(平成10年度)その1：トータルダイエットからの1日摂取量
豊田正武^{*25}，飯田隆雄，内部博泰^{*176}，柳俊彦^{*176}，河野洋一^{*176}，堀就英：厚生省報告書，1999.

221 食品中のダイオキシン汚染実態調査研究(平成10年度)その2：個別食品中ダイオキシン濃度及び調理加工の影響

豊田正武^{*25}，飯田隆雄，内部博泰^{*176}，柳俊彦^{*176}，河野洋一^{*176}，堀就英：厚生省報告書，1999.

222 行橋市生活排水推進計画
中村融子，田上四郎，緒方健，須田隆一，杉泰昭，山崎正敏，大崎靖彦：行橋市生活排水推進計画書，1-72，1999.

223 福岡県八女市の汚染機構解明調査
松尾宏，馬場義輝，中村融子：硝酸性窒素地下水汚染対策検討調査報告書，1-27，1999.

224 平成11年度環境庁委託業務結果報告書・酸性雨モニタリング調査
永淵修，大崎靖彦：平成11年度環境庁委託業務結果報告書酸性雨モニタリング調査，1-44，1999.

225 有害金属の形態別分析技術の開発と地下水汚染機構解明に関する研究(平成8年度－10年度)
石黒靖尚，大野健治，鳥羽峰樹，近藤紘之：「有害金属の形態別分析技術の開発と地下水汚染機構に関する研究」処理技術研究委員会報告書，1999.

226 ヒ素等有害金属の地下水汚染機構の解明及びその浄化に関する研究
近藤紘之，石黒靖尚，大野健治，鳥羽峰樹：ヒ素等有害金属の地下水汚染機構の解明及びその浄化に関する研究(平成8年度－平成10年度地域密着型環境研究)，1999.

227 廃棄物埋立処分に起因する有害物質暴露量の評価手法に関する研究
森田昌敏^{*30}，白石寛明^{*30}，堀口敏宏^{*30}，吉永淳^{*30}，西川雅高^{*30}，平田健正^{*79}，中杉修身^{*30}，安原昭夫^{*30}，山本貴士^{*30}，白石不二雄^{*30}，植弘崇嗣^{*30}，占部武生^{*37}，大野勝之^{*120}，奥村為夫^{*147}，小野雄作^{*126}，川越保徳^{*152}，川田邦明^{*120}，貴田晶子^{*157}，剣持堅志^{*156}，近藤紘之，佐々木裕子^{*130}，薩摩林光^{*134}，白子定治^{*37}，神和夫^{*115}，中野武^{*149}，永瀬誠，野馬幸生^{*157}，馬場謙三^{*174}，福井博^{*132}，福島実^{*152}，松藤康司^{*104}，森田啓次郎^{*156}，安田憲二^{*132}，大和康博^{*174}：国立環境研究所特別研究報告，1999.

228 平成11年度化学物質環境汚染実態調査結果報告書
飛石和大，黒川陽一，桜木建治，松枝隆彦，深町和美：平成11年度環境庁委託業務結果報告書，2000.

229 保健所の調査企画部門充実のための研修のあり方,体制整備に関する研究

平田輝昭^{*44}, 片岡恭一郎, 甲原隆矢, 篠原志郎: 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業研究報告書, 2000.

230 サルモネラの病原性と疫学に関する研究報告書
村上光一, 中山宏, 世良暢之, 堀川和美, 高田智: 福岡県報告書, 2000.

231 鶏の液卵のサルモネラ検査法解説<培地写真集>
村上光一, 中山宏, 世良暢之, 堀川和美, 高田智: 福岡県報告書, 2000.

232 ダイオキシン類の排泄促進に関する研究
森田邦正, 飛石和大: 平成11年度厚生科学研究, 生活安全総合研究事業, 総括研究報告書, 1-57, 2000.

233 生活排水対策重点地域指定に係る事前調査報告書(平成11年度)ー城島町,大木町及び三潆町ー
中村融子, 永淵義孝: 生活排水対策重点地域指定に係

る事前調査報告書, 1-28, 2000.

234 八女市における浄化システム調査
馬場義輝, 松尾宏, 中村融子, 永淵義孝: 平成11年度硝酸性窒素総合対策推進事業報告書, 1-12, 2000.

235 穂波町生活排水対策推進計画
永淵修, 志水信弘, 緒方健, 須田隆一: 穂波町生活排水対策推進計画, 1-75, 2000.

236 福岡県内ダム湖の水質及び植物プランクトンの推移ー日向神ダム湖,力丸ダム湖,広川ダム湖ー
笹尾敦子: 湖沼環境の変遷と保全に向けた展望(高村典子編)国立環境研究所報告, 第153号, 228-237, 2000.

237 第26回環境保全・公害防止研究発表会特集ー水質 I (水質・底質調査)の発表についてー
近藤紘之: 全国公害研会誌, 25(1), 15, 2000.

共同研究者所属一覧

*1 Department of National Health and Welfare Canada	*32 国立福岡南病院	*74 東京農工大学
*2 チリ環境技術研究所	*33 北海道	*75 信州大学
*3 National Research Center for Marine Environmental Forecasts Beijing	*34 青森県	*76 岐阜大学
*4 貴陽市環境保護局(CHINA)	*35 宮城県	*77 京都大学
*5 慶市環境科学研究所(CHINA)	*36 埼玉県	*78 大阪大学
*6 太原市環境保護局(CHINA)	*37 東京都	*79 和歌山大学
*7 日友好環境保護中心(CHINA)	*38 長野県	*80 鳥取大学
*8 北京市環境保護監視中心(CHINA)	*39 大阪府	*81 岡山大学
*9 国家気候中心(北京)	*40 兵庫県	*82 広島大学
*10 昆明医学院(中国)	*41 奈良県	*83 山口大学
*11 台湾省政府衛生処	*42 和歌山県	*84 徳島大学
*12 Danish National Food Agency Denmark	*43 広島県	*85 九州大学
*13 Insutitute of Occupational Health Finland	*44 福岡県	*86 九州芸術工科大学
*14 韓国国立環境研究院	*45 長崎県	*87 佐賀大学
*15 National Institute of Public Health and Environmental Protection The Netherlands	*46 熊本県	*88 長崎大学
*16 TNO Division of Technology for Society The Netherlands	*47 大阪市	*89 鹿児島大学
*17 Environmental Protection Agency U. S. A.	*48 広島市	*90 富山医科薬科大学
*18 Food and Drug Administration U. S. A.	*49 北九州市	*91 大阪府立大学
*19 National Institute for Occupational Safety and Health U. S. A.	*50 福岡市	*92 熊本県立大学
*20 California State Department of Health Services U. S. A.	*51 大牟田市	*93 東京慈恵会医科大学
*21 Laboratoire d'Hygiene de la Ville de Paris France	*52 田川市	*94 東京農業大学
*22 国立遺伝学研究所	*53 立花町	*95 東京薬科大学
*23 国立がんセンター	*54 熊本市	*96 東邦大学
*24 国立感染症研究所	*55 McMaster University Canada	*97 京都薬科大学
*25 国立医薬品食品衛生研究所	*56 華東理工大学(China)	*98 佛教大学
*26 気象庁気象研究所	*57 慶北大学(China)	*99 立命館大学
*27 陸上自衛隊福岡地区病院	*58 大田大学校(China)	*100 近畿大学
*28 放射線医学総合研究所	*59 中国地質大学(China)	*101 九州女子大学
*29 環境庁	*60 台湾成功大学医学院	*102 久留米大学
*30 国立環境研究所	*61 韓国ソウル大学	*103 第一薬科大学
*31 国立公衆衛生院	*62 Stockholm University Sweden	*104 福岡大学
	*63 University College London	*105 福岡歯科大学
	*64 Cornell University U. S. A.	*106 摂南大学
	*65 Michigan Technological University U. S. A.	*107 産業医科大学
	*66 State university of New York	*108 九州保健福祉大学
	*67 University of Cincinnati U. S. A.	*109 西南女学院大学
	*68 ハーバード大学	*110 久留米信愛女子短期大学
	*69 ロマ・リンダ大学	*111 聖マリア学院短期大学
	*70 北海道大学	*112 東海大学福岡短期大学
	*71 東北大学	*113 茨城高等工業専門学校
	*72 筑波大学	*114 防衛医科大学校
	*73 東京大学	*115 北海道立衛生研究所
		*116 北海道環境科学研究センター

*117 岩手県衛生研究所	*137 富山県衛生研究所	*157 広島県保健環境センター
*118 秋田県衛生科学研究所	*138 富山県環境科学センター	*158 山口県環境保健研究センター
*119 福島県衛生公害研究所	*139 石川県保健環境センター	*159 徳島県保健環境センター
*120 新潟県保健環境科学研究所	*140 福井県原子力環境監視センター	*160 香川県衛生研究所
*121 仙台市衛生研究所	*141 岐阜県保健環境研究所	*161 香川県環境研究センター
*122 茨城県衛生研究所	*142 愛知県衛生研究所	*162 愛媛県環境保全センター
*123 茨城県公害技術センター	*143 名古屋市衛生研究所	*163 愛媛県立衛生環境研究所
*124 栃木県保健環境センター	*144 滋賀県立衛生環境センター	*164 高知県衛生研究所
*125 埼玉県衛生研究所	*145 京都府保健環境研究所	*165 広島市衛生研究所
*126 埼玉県公害センター	*146 大阪府立公衆衛生研究所	*166 佐賀県衛生研究所
*127 千葉県衛生研究所	*147 大阪府公害監視センター	*167 長崎県衛生公害研究所
*128 千葉県環境研究所	*148 兵庫県立衛生研究所	*168 熊本県保健環境科学研究所
*129 東京都立衛生研究所	*149 兵庫県立公害研究所	*169 大分県衛生環境研究センター
*130 東京都環境科学研究所	*150 奈良県衛生研究所	*170 宮崎県衛生環境研究所
*131 神奈川県衛生研究所	*151 和歌山県衛生公害研究センター	*171 鹿児島県衛生研究所
*132 神奈川県環境科学センター	*152 大阪市立環境科学研究所	*172 鹿児島県環境センター
*133 山梨県衛生公害研究所	*153 神戸市環境保健研究所	*173 沖縄県衛生環境研究所
*134 長野県衛生公害研究所	*154 鳥取県衛生研究所	*174 北九州市環境科学研究所
*135 静岡県環境衛生科学研究所	*155 島根県衛生公害研究所	*175 福岡市保健環境研究所
*136 横浜市衛生研究所	*156 岡山県環境保健センター	*176 その他